

ネットワークビデオレコーダー

KB-SRIP04A / KB-SRIP08A / KB-SRIP32A

取扱説明書



お客様へ

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2019.10.21	初版	—

パスワードメモ

本機へのアクセス用のパスワードメモとしてお使いください。

パスワードは、不正アクセス防止のため必ず定期的に変更してください。

また、設定したパスワードは第三者に漏れないよう大切に保管してください。

パスワードの変更方法については、「5.2.6. アカウント > ユーザー -グループ権限・アカウントを追加・削除する-(p.61)」を
ご覧ください。

パスワード	設定日	備考

目次

1.	はじめに	16
1.1	セット内容.....	16
1.2	本機各部の名称とはたらき	17
1.3	外部機器との接続	20
1.3.1	IP カメラを接続する	20
1.3.2	モニターを接続する	22
1.3.3	電源コードを接続する	24
1.3.4	外部センサーや警報機を接続する	25
1.3.5	RS-485 制御機器を接続する	27
1.3.6	音声機器を接続する	28
1.3.7	USB デバイスを接続する	29
1.3.8	ネットワーク機器を接続する	30
2.	本機を起動する	31
3.	起動時の簡単セットアップ	33
3.1	ユーザーアカウント	33
3.2	システム	34
3.3	ネットワーク	35
3.4	時間・日付	36
3.5	簡単セットアップウィザード	37
4.	ライブ画面での操作・見方	38
4.1	映像表示エリアのアイコン一覧	39
4.2	ステータスバーのアイコン一覧	40
4.3	クイックメニューの一覧	41
4.3.1	映像を拡大表示する	42
4.3.2	PTZ コントロール画面のアイコン一覧	43
4.3.3	システムログを確認する	45
4.3.4	録画パラメータを確認する	46
4.3.5	HDD の動作状況を確認する	47
4.3.6	シャットダウンする	48
5.	各種設定	50

5.1	各設定画面での設定変更・保存・初期化するには.....	51
5.2	システム.....	52
5.2.1	システム > システム -表示言語や本機 ID などを変更する-	52
5.2.2	システム > F/W アップデート -FW をアップデートする-	53
5.2.3	日時 > 日時 -日時を変更する-	55
	手動で設定する場合	55
	NTP サーバーと同期する場合	55
5.2.4	日時 > 休日 -休日を設定する-	57
5.2.5	アカウント > ユーザー -グループ権限・アカウントを追加・削除する-	58
	グループ権限を設定・追加・削除する場合	59
	ユーザーアカウントを追加・削除する場合	60
5.2.6	アカウント > ユーザー -パスワードを変更する-	61
5.2.7	設定 > エクスポート/インポート -設定値を USB デバイスに保存する-	62
	USB メモリーからインポートする場合	62
	USB メモリーへエクスポートする場合	63
5.2.8	設定 > 工場出荷設定 -設定値を工場出荷時に戻す-	64
5.3	カメラ.....	65
5.3.1	基本 > 基本 -カメラタイトルを変更する / ライブ映像を非表示にする-	65
5.3.2	基本 > 音声入力/出力 -ライブ音声を出力する / ライブ音声を録音する-	67
5.3.3	詳細設定 > 詳細設定 -カメラ映像を調整する-	69
	映像セットアップの詳細画面	70
	ストリームセットアップの詳細画面	74
	ハイストリームセットアップの詳細画面	75
5.3.4	登録 > 登録 -カメラを登録する-	76
5.4	デバイス.....	80
5.4.1	画面 > 画面 -画面表示を設定する-	80
5.4.2	画面 > OSD -OSD 表示を設定する-	81
5.4.3	画面 > シーケンス -シーケンス表示のレイアウトを設定する-	82
5.4.4	ディスク > 設定 -HDD 情報を確認する / HDD のフォーマットを行う-	84
5.4.5	ディスク > ミラーリング -HDD 情報を確認する / HDD のフォーマットを行う-	85
5.4.6	PTZ > PTZ -PTZ プロトコルを設定する-	87
5.4.7	シリアルデバイス > シリアルデバイス -RS-485 のボーレートを設定する-	89
5.5	録画.....	90
5.5.1	スケジュール > スケジュール -録画スケジュールを設定する-	90
5.5.2	ストリーム > メインストリーム -録画パラメータを設定する-	92
5.6	イベント.....	97
5.6.1	システム/ディスク > システム -システムイベント発生時の通知を設定する-	97
5.6.2	アラーム入力 > 設定/スケジュール -アラーム作動時の動作を設定する-	100
5.6.3	モーション > 設定/スケジュール -モーション検知時の動作を設定する-	105

5.6.4	ビデオロス > 設定 -ビデオロス発生時の動作を設定する-	111
5.6.5	通知 > 定期/スケジュール -定期通知を設定する-	114
5.6.6	通知 > スケジュール -イベント発生時にメールを送信する-	116
5.7	ネットワーク	117
5.7.1	基本 > LAN ポート/PoE ポート -ネットワークアドレスを設定する-	117
5.7.2	DVRNS/DDNS > DVRNS -DVRNS アカウントを登録する-	120
5.7.3	DDNS サービスについて	122
5.7.4	E メール > E メール -メールサーバー情報を設定する / メール送信先を追加する-	123
5.7.5	ワープ > 登録 -ワープを設定する-	125
6.	検索と再生	129
6.1	日時検索	130
6.2	イベント検索	132
6.3	サムネイル検索	134
6.4	スマート検索	135
6.5	再生画面での操作・見方	138
6.5.1	各種アイコンのはたらき	138
6.5.2	再生画面でのクイックメニュー操作	139
7.	バックアップ	140
7.1	バックアップを行う	141
7.2	バックアップデータを再生する	144
7.3	Windows Media Player で再生する	145
7.4	ClipViewer で再生する	146
7.4.1	ClipViewer での操作・見方	147
8.	PC からの遠隔接続	149
8.1	遠隔接続する前に	150
8.2	本機に遠隔接続する	152
8.2.1	ローカル接続をする場合	152
8.2.2	DVRNS ID を使って接続する場合	155
8.3	ライブ画面の操作・見方	157
8.3.1	PTZ コントロールモード	158
8.3.2	デジタルズームモード	159
8.4	検索・再生	160
8.4.1	検索・再生画面の操作・見方	160

8.4.2	タイムサーチを行う.....	162
8.4.3	イベントサーチを行う.....	164
8.5	遠隔接続時のバックアップ.....	167
8.6	バックアップデータを再生する.....	170
8.6.1	VLC Media Player をインストールする.....	170
8.6.2	VLC media player でバックアップデータを再生する.....	172
9.	スマートフォンからの遠隔接続	173
9.1	アプリをインストールする.....	174
9.2	アプリ内の表示言語を変更する.....	174
9.3	レコーダー情報を登録する.....	176
9.4	ライブ画面の操作・見方.....	179
9.5	デジタルズーム.....	180
9.6	PTZ カメラの操作.....	181
9.7	日時検索.....	183
9.8	再生画面の操作・見方.....	184
9.9	イベント検索.....	187
9.10	アプリ内の設定について.....	190
10.	初期設定リスト	191
11.	製品仕様	196
11.1	KB-SRIP04A.....	196
11.2	KB-SRIP08A.....	199
11.3	KB-SRIP32A.....	202
12.	外径寸法図	205
12.1	KB-SRIP04A / KB-SRIP08A.....	205
12.2	KB-SRIP32A.....	205

限定保証

(株)ケービデバイス(以下、当社)は KB-SRIP04A / KB-SRIP08A / KB-SRIP32A(以下、本機)が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

つきましては、当社へ返送していただいたもので、当社が点検した上で材料および仕上げに欠陥があると判断した場合は、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 5 年間かつ日本国内で使用される本機についてのみに有効なものとします。

免責事項

- ① 当社は、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、保証条件以外のものは一切保証いたしません。
- ② いかなる直接的損害、付带的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用により発生した損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。
また、そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。
- ③ お客様は本機の使用、ならびに本機を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。
この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が本機を転売された第三者には適用されません。
- ④ 当社は、第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる要求に関しても責任を負わないものとします。
- ⑤ 下記にあげる項目は、保証の対象外とさせていただきます。
 - 火災、地震、第三者による行為、その他の事故により本機に不具合が発生した場合。
 - お客様が本機に手を加えて改造、修理した場合。
 - 本マニュアルに記載されている内容を守らないことで発生した損害等について。
 - お客様の故意、もしくは過失・誤用が起因して発生した損害等について。

安全にご使用いただくために

- 本機をご使用になる前に、必ず本書をよくお読みになり正しくお使いください。
- ここに記載している注意事項は、安全に関する重大な内容となりますので、必ずお守りください。
- 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- 本機の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。
- 本機は防犯カメラと組み合わせて使用することで、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

注意	禁止記号			強制指示記号		
						
一般注意	禁止	接触禁止	分解禁止	強制	電源プラグを 抜いてください	アース接続を してください



警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水に濡らさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所や水が本機内部に浸水する可能性がある場所への設置・据付はお止めください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する



電源コードは、AC100V(50/60Hz)のアース付きコンセントを使用し、必ずアース接続を行ってください。

アース接続をしない場合、漏電時や落雷により火災および感電の恐れがあります。

● 使用中に異常が発生したとき



以下の場合、直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本機から煙や異臭または異音が発生した場合。
- ・ 本機内部に液体や異物が混入した場合。
- ・ 落下などにより本機または電源コードが損傷・断線した場合。

● 液体や金属片を上に乗かない、挿入しない



本機の上に、液体の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本機内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードや配線を傷つけない



電源コードが損傷すると断線し、火災および感電の恐れがあります。以下をお守りください。

- ・ 電源コードの上に重いものを置かない。
- ・ 電源コードや配線に切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱する等をしない。

● 分解、改造をしない



本機を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。

メンテナンスや検査が必要な場合には、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本機や電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。
落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 誤作動の原因となる場所に設置しない



以下のような場所でのご使用は、誤作動や故障、火災の原因となりますのでお止めください。

- 湿気やほこりが多いところ
- 水平でない場所や振動の激しい場所
- エアコンの前のように温度が急激に変動するところ
- 強い直射日光が当たるところや発熱体の近くなど、温度が高くなる場所
- 密閉させた狭い場所や温度調整機能のない密閉型ハウジングの中
- 引火性溶剤(アルコールやシンナー等)が近くにある場所
- 潮風の当たるところ、温泉地、腐食性ガスの発生する場所
- 電波や磁力が発生している場所(無線受信機や配電盤の近く等)

● 雷サージ対策を行う



本機は、落雷による直撃雷、誘導雷、逆流雷等の影響を受ける可能性があり、誤動作や故障の原因となります。

アース接続や雷サージ用電源タップ等を使用することで、雷サージによる影響を軽減できるため必ず雷サージ対策を行ってください。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本機に外部装置をつなげる場合は、外部装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。

本機およびカメラからの過電流による感電や故障の恐れがあります。

● 定期的に掃除を行う



内部の清掃については、販売店にご相談ください。

内部にほこりやゴミなどがたまったまま放置すると故障や火災の原因となります。

● 法規に準拠した廃棄を行う



本機が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

● 通風口を塞がない



通風口を塞ぐと本機内部に熱がこもり、火災の原因となります。

また、通風口にほこりがたまらないように定期的に掃除してください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 濡れた手で触れない



濡れた手で本機および電源プラグには触れないでください。

感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。

化学薬品やエアゾール等で本機のクリーニングはしないでください。

本機の誤作動や感電の恐れがあります。

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。本機の各パネルおよびリアパネルの各電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● コードを置いたままにしない



電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。

通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

使用上のご注意

<< 本製品は情報通信機器です >>

本製品の配線には、必ずSTPケーブル(Cate5e以上)を使用し、接続する相手側のネットワーク機器(スイッチングHUB等)を適切に設置してください。

UTPケーブルはその性質上、他の伝送ケーブルに比べて誘導雷等の外来ノイズの影響を受けやすく、ノイズが本製品に侵入すると機器が正常に働なくなり、故障の原因となります。

UTPケーブルを使用された場合や接地していないことで発生した故障等については、製品の保証期間内であっても修理対応が有償となる場合があります。

STPケーブルのご使用および適切な接地工事を行っていただくことにより、外来のイズの影響を抑制することができ、映像データ通信の安定化・高速化、落雷による感電・静電気障害の防止が可能となり製品の長期利用だけでなく、人体への悪影響を及ぼす可能性を下げることができます。

また、取扱説明書に記載された範囲外で使用された場合、機器の動作と品質を保証いたしかねますので、絶対にお止めください。

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本機を使用しないでください。
- 通風口にほこりがたまった場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年1回程度を目安に行ってください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、適切に動作しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。
- 本機は、停電に備えて設計されていますが、停電によりHDDが損傷を受ける可能性があります。その場合、使用中のデータ損傷や、記録ができなくなることがあるため、無停電電源装置(UPS)の使用を推奨します。
- 本機はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。
製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本機は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。
しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本機は外部機器(カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直や傾けての使用はできません。

- HDDが故障した場合、当社では記録したデータの復旧はできません。
データ損失を避けるため、定期的にバックアップすることを強く推奨します。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 本機は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本機の破損につながります。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を当社は負うことができません。
あらかじめご了承ください。
- 次の部品は消耗劣化部品です。下記寿命時間を目安に交換してください。
 - ・ HDD : 約 30000 時間 (使用環境温度 25℃)
 - ・ 時計用ボタン電池 : 約 40000 時間 (使用環境温度 25℃)
 - ・ ファン : 約 40000 時間 (使用環境温度 25℃)

※この時間はあくまで目安であり、各部品の寿命時間を保証するものではありません。
特にHDDの寿命は、使用環境により異なりますが、通電時間が20000時間を越えると、書込みエラーが発生しやすくなり、30000時間を越えると、モーター部の劣化などにより寿命となります。(25℃で使用時)
録画データ保護のためにも、本機の周辺温度を25℃程度に保ち、18000時間を目安に交換することを推奨します。
長期間ご使用の際は、あらかじめ販売店にメンテナンスのご相談を推奨します。
- 本機を使用中に、再起動がごく稀に発生することがありますが、機器の故障ではありません。本機は自己診断機能により、本機のシステムが正常に動作しているかチェックをしています。システムエラーを検知すると自動的に再起動をおこない、システムを正常動作に復帰させて、録画動作を継続するようにしています。※再起動中は録画ができません。
- 本機に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
(ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

ネットワークに関する注意事項

本機をネットワークに接続して使用する場合、以下のような被害を受けることが考えられます。

1. 本機を経由した情報漏えいや流出
2. 悪意をもった第三者による本機への不正操作
3. 悪意をもった第三者による本機への妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策を含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PC が接続されているシステムで本機をしようする場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に(1 週間に 1 回程度)行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名、パスワードを初期値から変更しログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報(ユーザー名、パスワード)、アラームメール情報、FTP サーバー情報、DD NS サーバー情報などをネットワーク上に漏洩させないため、ユーザー認証でアクセス制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ず全てのブラウザーを閉じる。
- 本機、ケーブルなどが用意に破壊されるような場所に設置しないこと。

1. はじめに

本機は、IP カメラ入力に対応したネットワークビデオレコーダーです。

IP カメラを最大 4 台 / 8 台 / 32 台まで接続することができます。

超高精細の 4K カメラに対応し、録画には H.264 に加えて、圧縮率の高い H.265 形式を採用することでデータの長期保存が可能です。

また、カメラの自動検索機能により、当社指定の IP カメラであれば本機に接続するだけで設定が完了し、運用を開始できます。

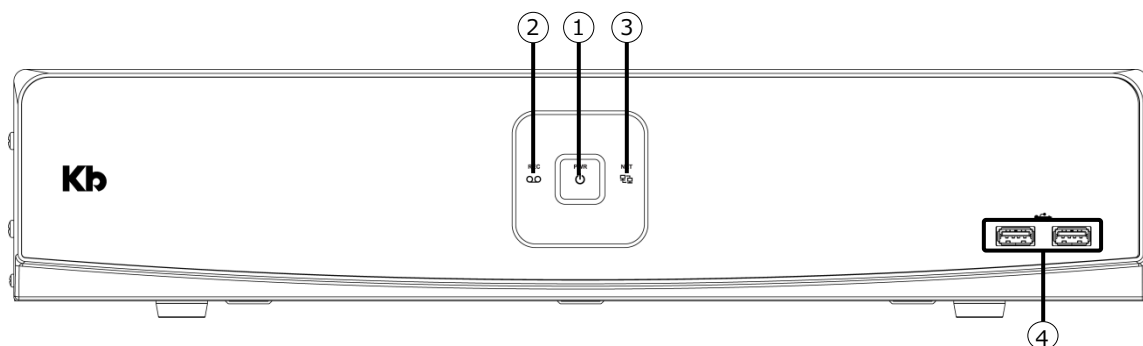
1.1 セット内容

以下のものが入っているかをご確認ください。

レコーダー本機 x1	
マウス x1	
CD-R x1 (取扱説明書)	
取扱説明書(本書) x1 および 簡易取扱説明書 x1	
電源ケーブル x1	
AC アダプター x1 (KB-SRIP04A / KB-SRIP08A のみ同梱)	
5 端子ブロック x2 8 端子ブロック x2 (KB-SRIP32A のみ同梱)	

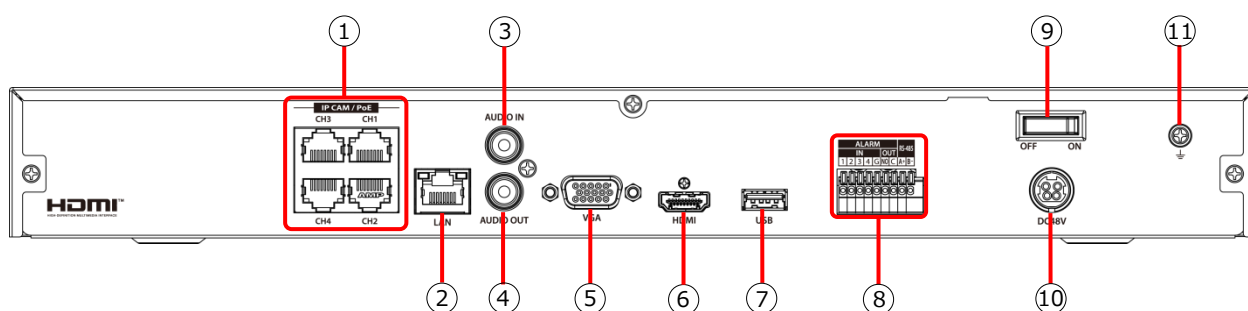
1.2 本機各部の名称とはたらき

【 前面パネル 】

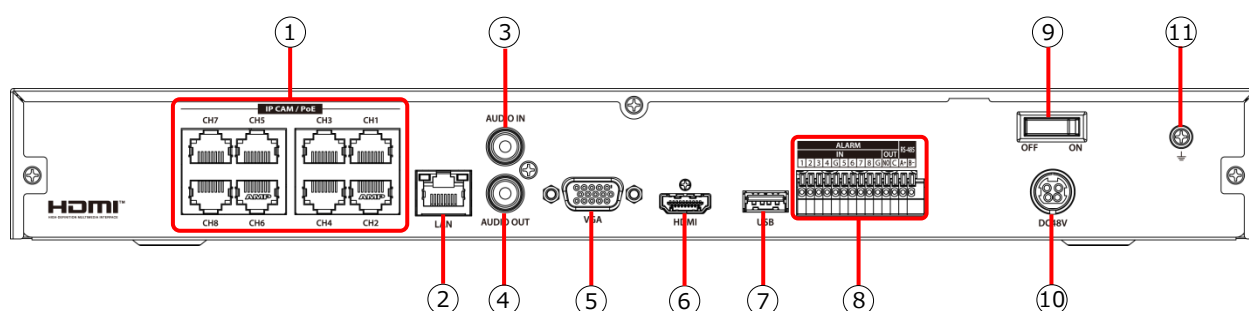


No.	名称	用途
1	電源ランプ	電源が入っている間、点灯します。
2	記録ランプ	カメラ映像を録画中に点灯します。
3	ネットワークランプ	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	USB ポート	USB マウスまたは USB メモリーを接続します。

【 背面パネル(KB-SRIP04A) 】

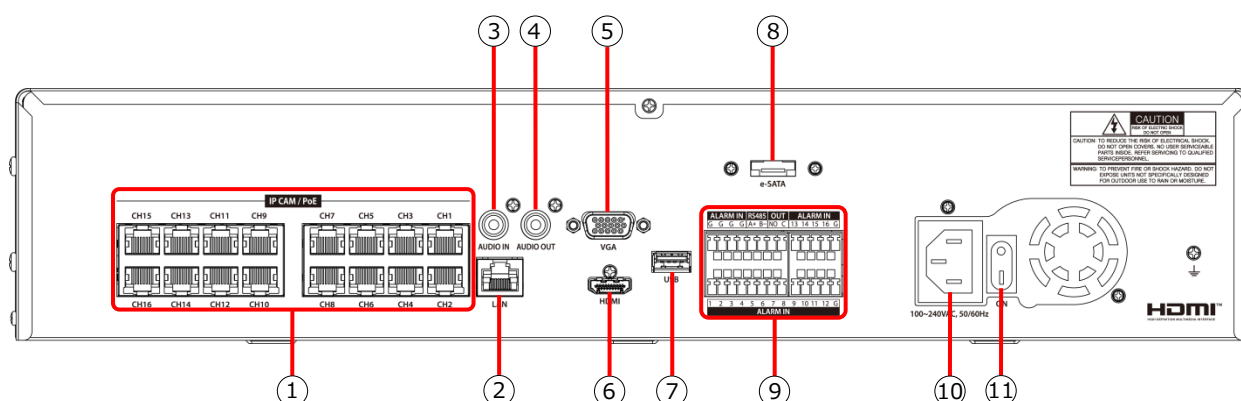


【 背面パネル(KB-SRIP08A) 】



No.	名称	端子名称	用途
1	CH1～CH4(8)	RJ-45	IP カメラのストリーミングおよび電源供給に使用する PoE ポートです。(10/100BASE-T)
2	LAN	RJ-45	ルーターまたはハブなどに接続するポートです。
3	AUDIO IN	RCA ピンジャック	マイクなどを接続する音声入力端子です。
4	AUDIO OUT	RCA ピンジャック	スピーカーなどを接続する音声出力端子です。
5	VGA	D-SUB15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
6	HDMI	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
7	USB	USB3.0	USB マウスや USB メモリーを接続します。
8	ALARM IN/OUT	プッシュロック端子	センサーや警報機を接続するアラーム入出力端子です。
9	電源スイッチ		本機の電源 ON/OFF を切替えるスイッチです。
10	DC48V	Din プラグ	本機電源入力端子です。 付属の AC アダプターを接続します。
11	アース端子		本端子は使用できません。 本機でのアース接続については、「1.3.3. 電源コードを接続する(p.24)」をご覧ください。

【 背面パネル(KB-SRIP32A) 】



No.	名称	端子名称	用途
1	CH1～CH16	RJ-45	IP カメラのストリーミングおよび電源供給に使用する PoE ポートです。
2	LAN	RJ-45	リモート接続用のイーサネットポートです。 LAN ケーブルを使用して PC やルーター、ハブなどを接続します。
3	AUDIO IN	RCA ピンジャック	マイクなどを接続する音声入力端子です。
4	AUDIO OUT	RCA ピンジャック	スピーカーなどを接続する音声出力端子です。
5	VGA	D-SUB15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
6	HDMI	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
7	USB	USB3.0	マウスや USB メモリーを接続します。
8	e-SATA	e-SATA	外付け SATA ストレージ用の接続端子です。
9	ALARM IN/OUT RS-485	プッシュロック端子	センサーや警報機、PTZ カメラやキーボードコントローラーなどを接続する信号入出力端子です。
10	AC100V		本機電源入力端子です。 付属の電源コードを接続します。
11	電源スイッチ		本機の電源 ON/OFF を切り替えるスイッチです。

1.3 外部機器との接続

＜＜ 注意 ＞＞ 下記事項は必ずお守りください。

- 本機は必ず安定した平らな場所に設置してください。
- 本機背面の突出したコネクタやケーブルが、壁に押し付けられないように十分なスペースを確保してください。断線により火災や感電、故障の原因となる場合があります。
- センサーやアラーム機器を接続する場合は、本機の電源を切ってから接続をおこなってください。
- LAN ケーブルは、必ずシールド付きのケーブルを使用し、本機もアース接続を行ったうえでご使用ください。電氣的ノイズにより機器の動作不良や故障につながる恐れがあります。

1.3.1 IP カメラを接続する

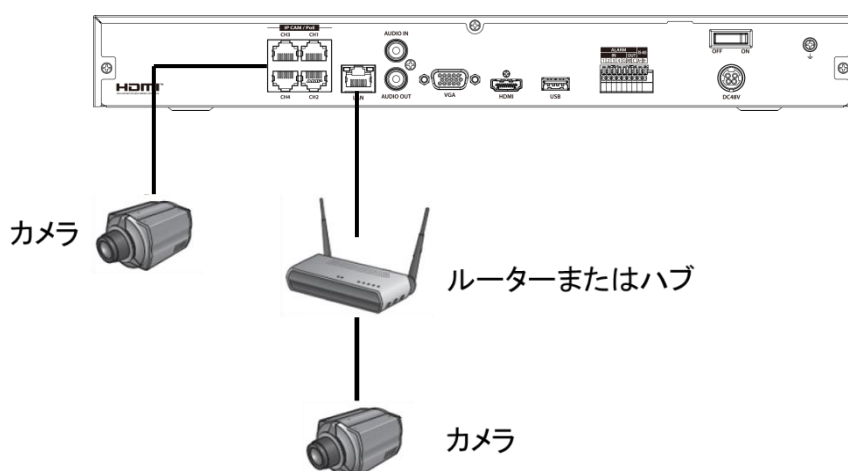
IP カメラは、LAN ケーブルを使用して、本機の PoE ポートまたは LAN ポートに接続します。

＜＜ 注意 ＞＞

- 本機の1つの映像入力端子(IP CAM/PoE)に対して2台以上のネットワークカメラを接続しないでください。
- ネットワークカメラの IP アドレスは、LAN 端子(LAN)の IP アドレスと同一ネットワーク内になるように設定してください。

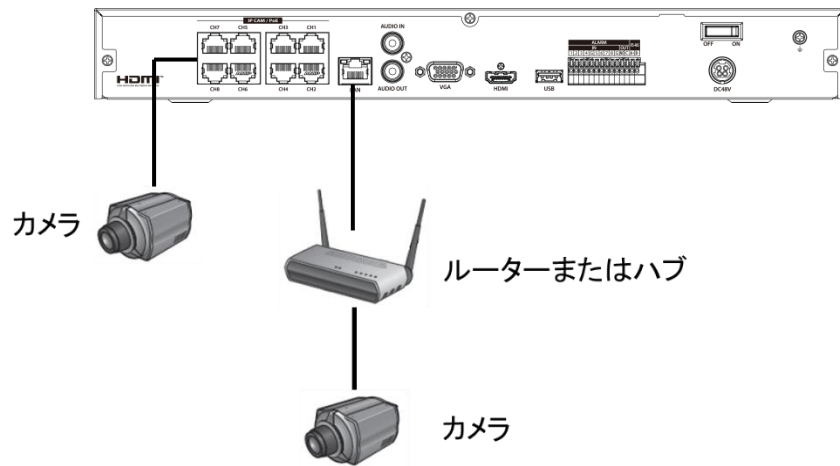
【 KB-SRIP04A の場合 】

下記の図を参照し、IP カメラを接続してください。



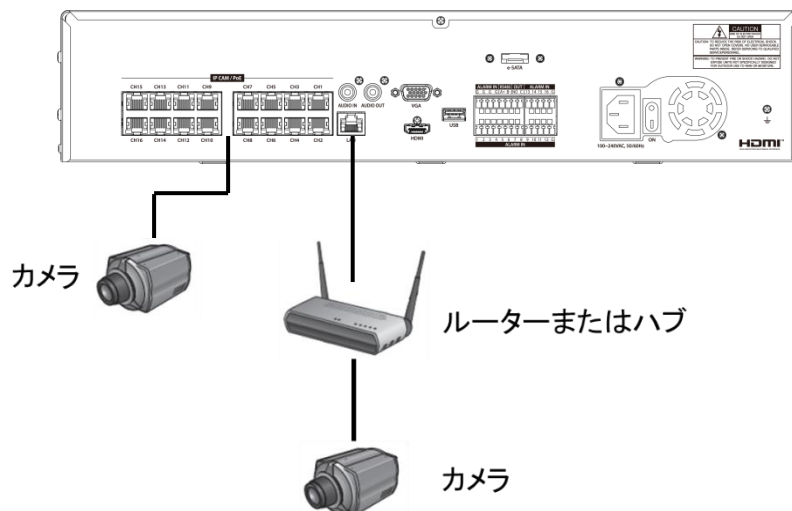
【 KB-SRIP08A の場合 】

下記の図を参照し、IP カメラを接続してください。



【 KB-SRIP32A の場合 】

下記の図を参照し、IP カメラを接続してください。



※KB-SRIP32A にて IP カメラを 17 台以上接続する場合は、当社指定の PoE ハブを LAN ポートに接続してご使用ください。

PoE ハブについては、別途お問い合わせください。

1.3.2 モニターを接続する

モニターへの接続は、HDMI または VGA 端子ケーブルをお使いください。

本機は、HDMI と VGA の同時出力が可能です。

<< 注意 >>

モニターは必ず下記のいずれかの入力解像度に対応したモニターをご使用ください。

- 3840 × 2160 (Quad Full-HD)
- 1920 × 1080 (Full-HD)
- 1280 × 720 (720p)
- 1024 × 768 (XGA)

上記いずれにも対応していないモニターは使用できません。

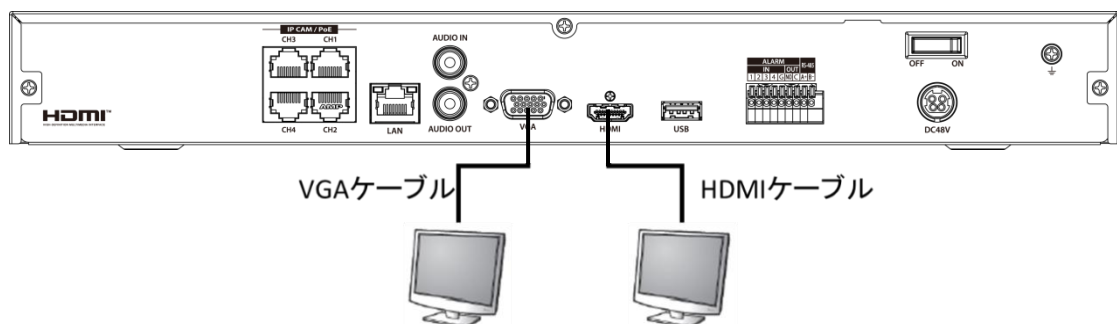
また、VGA ポートからは、3840×2160 を出力することはできません。

対応モニターであっても正常に表示されない場合は、本機設定にて手動で解像度を設定してください。

解像度の設定については、「5.4.1. 画面 > 画面 -画面表示を設定する-(p.80)」をご覧ください。

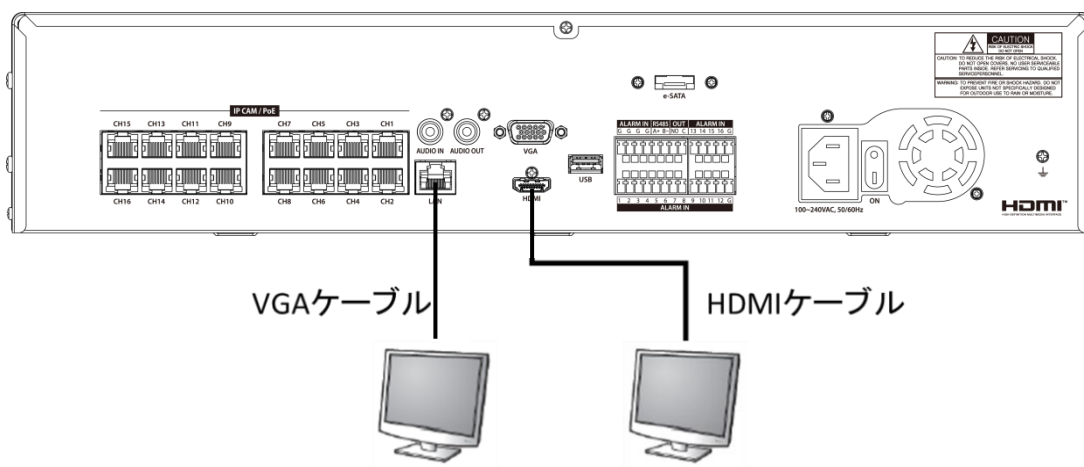
【 KB-SRIP04A / KB-SRIP08A の接続イメージ 】

下記の図を参照し、モニターを接続してください。



【 KB-SRIP32A の接続イメージ 】

下記の図を参照し、モニターを接続してください。



1.3.3 電源コードを接続する

本機に同梱の AC アダプターを電源入力端子に接続してください。

端子の位置については、「1.2. 本機各部の名称とはたらき (p.17)」をご覧ください。

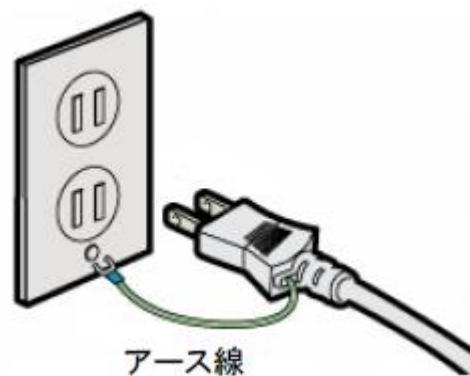
電源コード接続後、スイッチを ON にすると、本機が起動します。

起動後の動作については、「2. 本機を起動する (p.31)」をご覧ください。

<< 注意 >>

下記事項は必ずお守りください。

- 電源コードおよび AC アダプターは必ず同梱品のものをご使用ください。
- 電源を投入する前に必ずアース接地工事または、アース接続を行ってください。
落雷や静電気などにより本機が故障するリスクを低減できます。
- 同梱品の電源ケーブルについているアース線(緑色)をご利用ください。



1.3.4 外部センサーや警報機を接続する

本機は、外部センサーや警報機器と連動し、様々なイベント通知を行うことができます。

KB-SRIP04A および KB-SRIP08A の場合は、プッシュロック端子に信号線を接続してください。

KB-SRIP32A の場合は、付属の端子ブロックに信号線を接続してから本機へ装着してください。

※端子への接続間違いにご注意ください。

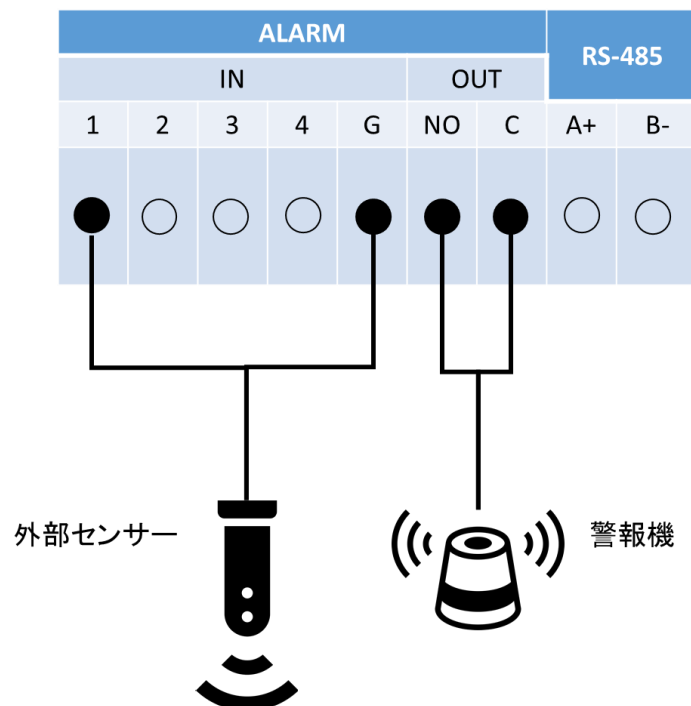
- 外部センサー(アラーム入力信号)を接続するには・・・

- 外部センサーの信号線の＋極を「ALARM IN 1～4/8/16」ポートへ差し込みます。
- 外部センサーの信号線の－極を「G (GRAND)」ポートへ差し込みます。
- 差し込み後、2 本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。

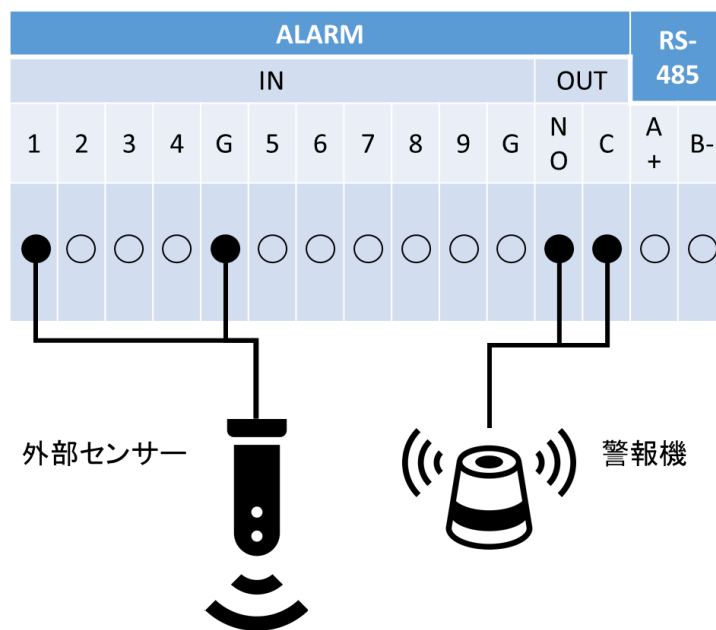
- 警報機(アラーム出力信号)を接続するには・・・

- 警報機の信号線の＋極を「ALARM OUT NO」ポートへ差し込みます。
※接続する警報機の動作(NO/NC)に関わらず、「NO」ポートへ接続してください。
- 警報機の信号線の－極を「ALARM OUT C (COM)」ポートへ差し込みます。
- 差し込み後、2 本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。

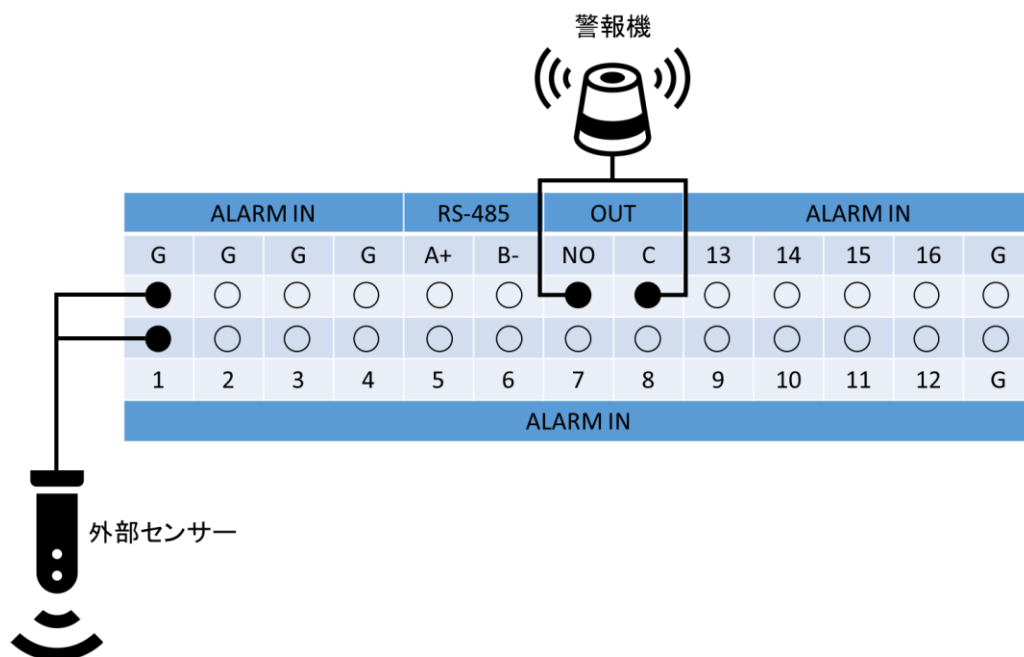
【 KB-SRIP04A の接続イメージ 】



【 KB-SRIP08A の接続イメージ 】



【 KB-SRIP32A の接続イメージ 】



1.3.5 RS-485 制御機器を接続する

PTZ カメラを接続して制御線にて制御する場合は、RS-485 端子に接続します。

KB-SRIP04A および KB-SRIP08A の場合は、プッシュロック端子に接続してください。

KB-SRIP32A の場合は、付属の端子ブロックに信号線を接続してから本機へ装着してください。

※端子の接続間違いにご注意ください。

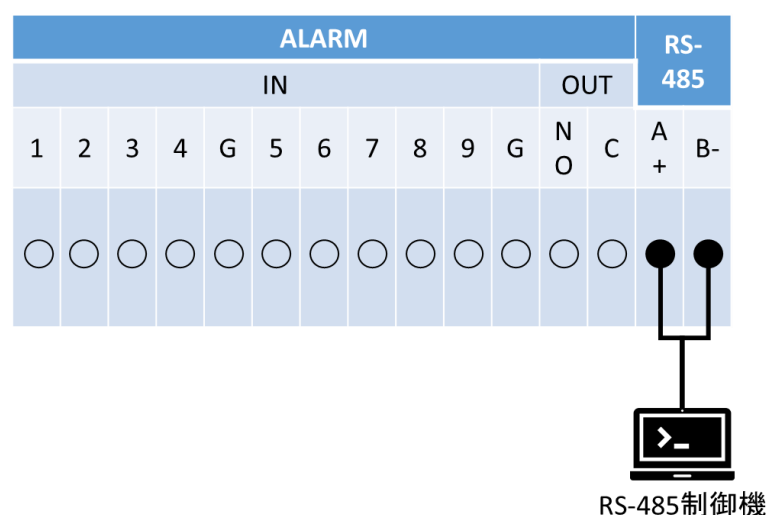
• RS-485 制御機器を接続するには・・・

1. RS-485 制御機器の＋極を「A+」ポートへ差し込みます。

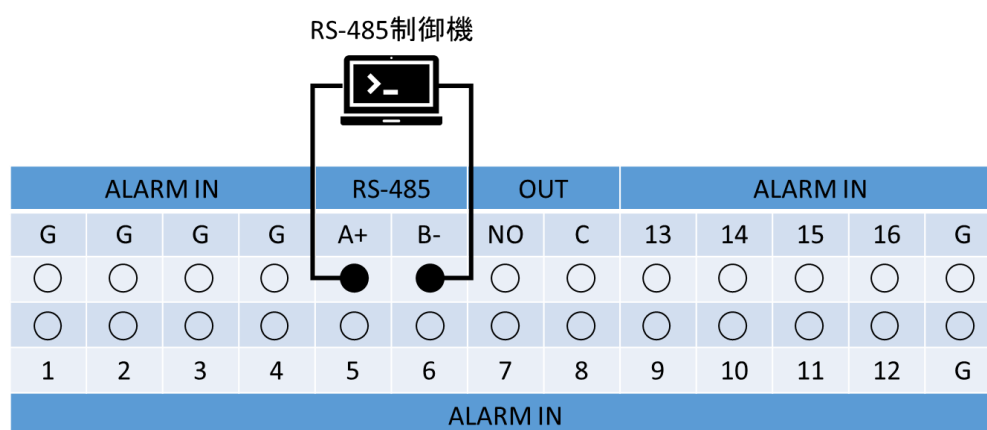
2. RS-485 制御機器の－極を「B-」ポートへ差し込みます。

※制御機器の操作・設定については、お使いの制御機器のマニュアルをご覧ください。

【 KB-SRIP04A / KB-SRIP08A の接続イメージ 】



【 KB-SRIP32A の接続イメージ 】



1.3.6 音声機器を接続する

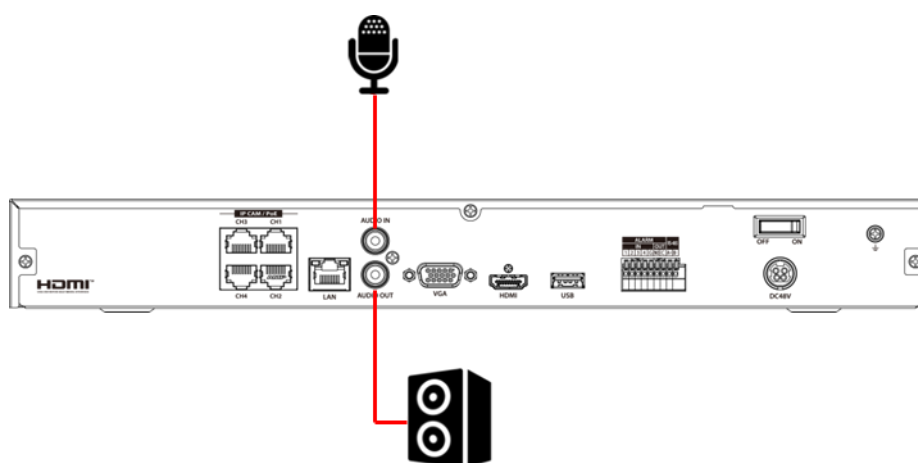
音声機器との接続には、RCA 端子ケーブルを使用してください。

※本機は、ラインレベル入力のみ対応しています。

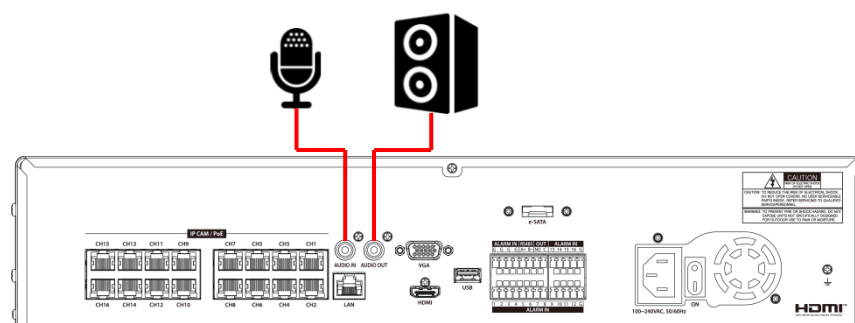
- 音声機器を接続するには・・・

1. マイクなどの音声入力機器は、「AUDIO IN」ポートへ差し込みます。
2. スピーカーなどの音声出力機器は、「AUDIO OUT」ポートへ差し込みます。

【 KB-SRIP04A / KB-SRIP08A の接続イメージ 】



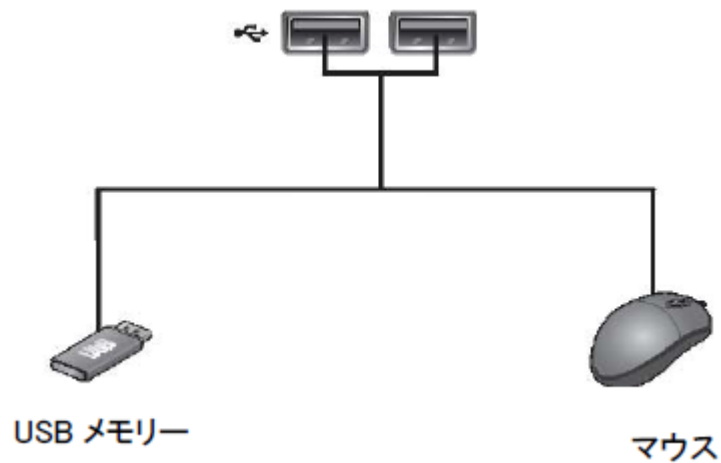
【 KB-SRIP32A の接続イメージ 】



1.3.7 USB デバイスを接続する

付属のマウスや USB メモリーは USB 端子へ接続してください。

USB メモリーを接続すると、録画映像のバックアップやシステム設定の保存（読み込み）、ファームウェアのアップデートを行うことができます。



電力消費の多い外部ストレージを接続する場合は、そのストレージ用に個別の電源を使用することを推奨します。

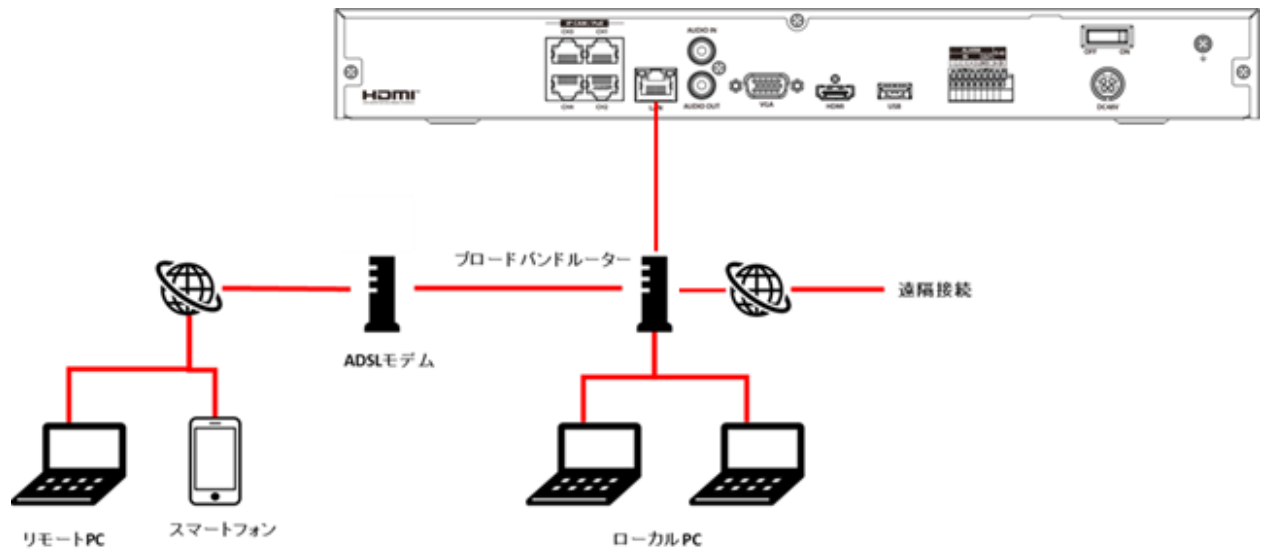
<< 注意 >>

本機に接続する USB メモリーや HDD のファイルシステムは、「FAT32」に設定した上でご使用ください。NTFS などその他のファイルシステムで構築されている場合、本機ではご使用になれません。

1.3.8 ネットワーク機器を接続する

本機をネットワークに接続することで PC またはスマートフォンから遠隔接続することができます。

【 ネットワーク機器の接続イメージ 】



本機のネットワークアドレスの設定については、「5.7.1. 基本 > LAN ポート/PoE ポート -ネットワークアドレスを設定する-(p.117)」をご覧ください。

2. 本機を起動する

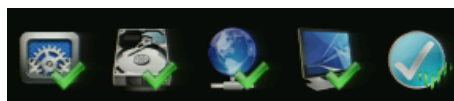
1. モニターを本機に接続します。

本機への接続箇所については、「1.3.2 モニターを接続する(p.22)」をご覧ください。

2. AC アダプターを接続し、電源スイッチを ON にします。



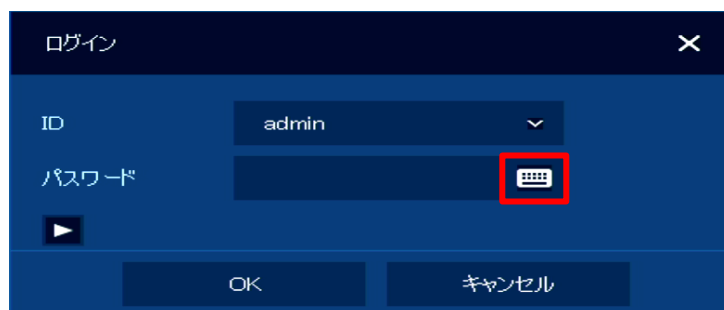
3. ブザー音が鳴り、開始画面が表示されます。



4. ログイン画面が表示されたら、ID とパスワードを入力します。

ログイン ID を複数登録している場合は、プルダウンボタンをクリックして ID を選択してください。

パスワードを入力する場合は、 (キーボードアイコン) をクリックして、バーチャルキーボード上の文字をクリックしてください。



A screenshot of a login dialog box titled 'ログイン' (Login) with a close button (X) in the top right corner. It contains two input fields: 'ID' with the value 'admin' and a dropdown arrow, and 'パスワード' (Password) with masked characters '*****' and a password toggle icon. Below the fields is a play button icon. At the bottom are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). A mouse cursor is pointing at the 'OK' button.

※初期 ID とパスワードは、admin / admin です。

初期パスワードは必ず変更してください。またパスワードは定期的に変更し、設定した値はメモをとるなど忘れないように管理をしてください。

パスワードを変更したい場合は、「5.2.6 アカウント > ユーザー -パスワードを変更する-(p.61)」をご覧ください。

5. ID/パスワード入力後、「OK」をクリックするとログイン完了です。

ライブ画面左下のアイコンが  となっていればログイン状態となります。

ライブ画面の詳しい見方については、「4. ライブ画面での操作・見方 (p.38)」をご覧ください。

3. 起動時の簡単セットアップ

本機の初回起動時に、下記項目のセットアップ画面が表示されます。

※本項目は後からでも設定・変更が可能です。

3.1 ユーザーアカウント

1. キーボードアイコンをクリックして、ログイン時の ID とパスワードを設定します。

※初期 ID とパスワードは、admin / admin です。

初期パスワードは必ず変更してください。またパスワードは定期的に変更し、設定した値はメモをとるなど忘れないように管理をしてください。

※ID は最大 15 文字、パスワードは最大 12 文字まで設定できます。(英数字、記号のみ)

<< 注意 >>

ID は 16 文字で設定しないでください。

2. ID、パスワード設定後、「保存」をクリックして「次へ」をクリックします。

次の設定画面へ移行します。

3.2 システム

1. 表示言語などの各項目を設定します。



- 言語 各画面の表示言語を設定します。
- デバイス名 本機のデバイス名を設定します。
- キーボード ID 本機では使用できません。
設定を変更しないでください。
- HDMI / VGA モニターへの出力解像度を設定します。
※3840x2160 の解像度に設定した場合、VGA ケーブルでの出力はできません。

2. 各項目設定後、「保存」をクリックして「次へ」をクリックします。

次の設定画面へ移行します。

3.3 ネットワーク

1. 本機のネットワークアドレスを設定します。

設定項目	設定値
LANポート	☒ 固定IP ☐ DHCP (ダイナミック)
IPアドレス	192.168.0.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
DNS	8.8.8.8
ポート(TCP)	9350
ポート(HTTP/HTTPS)	60000, 443
PoEポートのIPアドレス	192.168.30.1

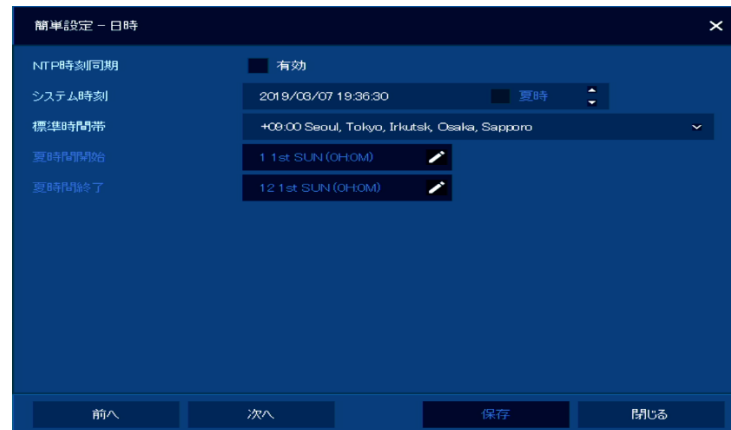
- LAN ポート 固定(静的)IP または DHCP(動的)IP のどちらを使用するか設定します。
- IP アドレス 本機の IP アドレスを設定します。
※PoE ポートの IP アドレスとは異なるネットワークになるよう設定してください。
※LAN ポートを固定 IP としている場合のみ設定できます。
- サブネットマスク 本機のサブネットマスクを設定します。
※LAN ポートを固定 IP としている場合のみ設定できます。
- ゲートウェイ 本機のゲートウェイを設定します。
※LAN ポートを固定 IP としている場合のみ設定できます。
- DNS DNS サーバーアドレスを設定します。
※LAN ポートを固定 IP としている場合のみ設定できます。
- ポート(TCP) TCP ポート番号を設定します。
※ポート(HTTP/HTTPS)、ポート(IP カメラ)のポート番号とは異なる番号に設定してください。
※インターネットからネットワーク接続する場合は、ポート解放の設定を行ってください。
- ポート(HTTP/HTTPS) HTTP ポート番号と HTTPS ポート番号を設定します。
※ポート(TCP)、ポート(IP カメラ)のポート番号とは異なる番号に設定してください。
※インターネットからネットワーク接続する場合は、ポート解放の設定を行ってください。
- PoE ポートの IP アドレス PoE ポートの IP アドレスを設定します。
※LAN ポートの IP アドレスとは異なるネットワークになるよう設定してください。

2. 各項目設定後、「保存」をクリックして「次へ」をクリックします。

次の設定画面へ移行します。

3.4 時間・日付

1. 本機のシステム時刻や日付を設定します。



- NTP 時刻同期 NTP タイムサーバーとの時刻同期の有効/無効を設定します。
- システム時刻 手動で本機のシステム日時を設定します。
※NTP 時刻同期を有効にしている場合は、設定できません。
- 標準時間帯 タイムゾーンを設定します。
- 夏時間開始 サマータイムの開始日を設定します。(※本機では使用できません。)
- 夏時間終了 サマータイムの終了日を設定します。(※本機では使用できません。)

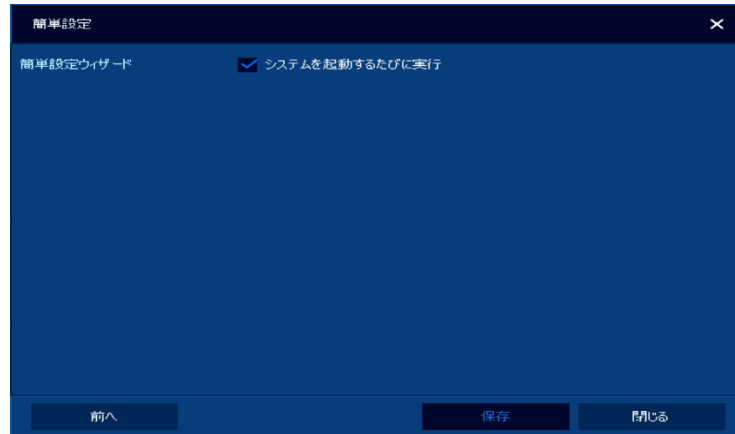
2. 各項目設定後、「保存」をクリックして「次へ」をクリックします。

次の設定画面へ移行します。

3.5 簡単セットアップウィザード

1. 本機の起動ごとに簡単セットアップ画面を表示するか設定できます。

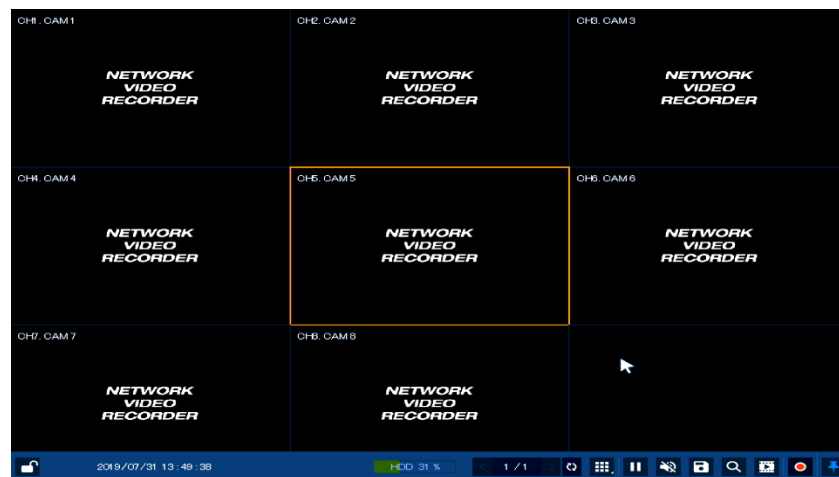
チェックを外すと、以降の起動時には簡単セットアップ画面は表示されません。



2. 「保存」をクリックして「閉じる」をクリックします。

簡単セットアップは以上で完了となります。

完了後、ライブ画面が表示されます。



ライブ画面の操作方法については、「4. ライブ画面での操作・見方 (p.38)」をご覧ください。

4. ライブ画面での操作・見方

ライブ画面内では、現在のカメラ映像やカメラタイトルなどさまざまなアイコンが表示されています。
各アイコンと内容については、次ページの表をご覧ください。



ライブ画面の各項目

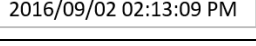
No.	名称	効果・内容
1	映像表示エリア	カメラからのライブ映像を表示します。 録画状態やモーション検知などさまざまなアイコンが表示されます。 詳細は、「4.1 映像表示エリアのアイコン一覧(p.39)」をご覧ください。
2	ステータスバー	本機のシステム時刻や分割表示の切り替えができます。 詳細は、「4.2 ステータスバーのアイコン一覧(p.40)」をご覧ください。
3	クイックメニュー	右クリックすると、クイックメニューを表示します。 クイックメニューから本機のシステム設定や検索・再生ができます。 詳細は、「4.3 クイックメニューの一覧(p.41)」をご覧ください。

4.1 映像表示エリアのアイコン一覧

各表示エリアの各アイコンには、現在の設定状態や機能が表示されます。

またマウスカーソルがある CH は黄色の枠が表示され、クリックして設定した CH は青色の枠が表示されます。



No.	アイコン	効果・内容
1	CH1 CAM1	チャンネル番号とカメラタイトルを表示します。
2		PTZのプロトコルが設定されている場合に表示します。
3		PTZコントロール機能の動作中であることを表示します。
4		アラーム録画中であることを表示します。
5		モーション録画中であることを表示します。
6		緊急録画中であることを表示します。
7		連続録画中であることを表示します。
8		マイクからの音声入力の有効/無効を表示します。
9		スピーカーへの音声出力の有効/無効を表示します。
10		現在の日時を表示します。

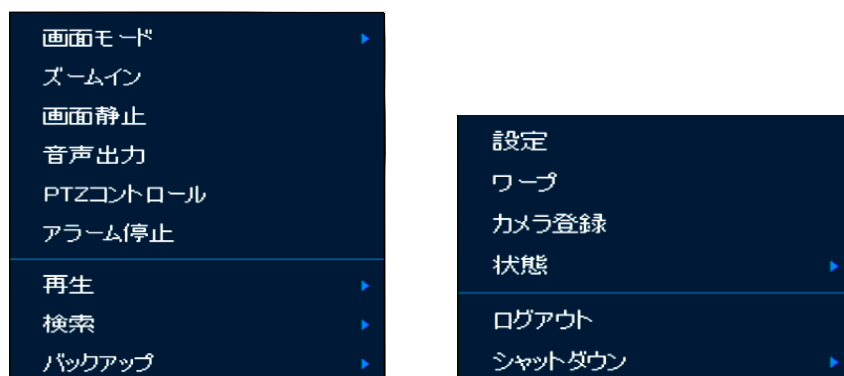
4.2 ステータスバーのアイコン一覧



アイコン	効果・内容
 	ログイン/ログアウト状態を表示します。
日時	現在の日時を表示します。
HDD	搭載しているHDDの使用状況を表示します。
 	前後の画面に表示を切替えます。
 	シーケンス表示を行います。
  	分割表示数を変更します。
 	設定したCHのライブ映像を一時停止/再生を切替えます。 ※停止中でも録画は継続されます。
 	設定したCHの音声出力をオン/ミュートに切替えます。
	バックアップを行います。 詳細は、「7. バックアップ (p.140)」をご覧ください。
	録画映像の検索・再生を行います。 詳細は、「6. 検索と再生 (p.129)」をご覧ください。
	再生画面に移行します。
	緊急録画の開始/終了を切替えます。 << 注意 >> Administrator以外のグループに登録しているユーザーは緊急録画を停止することができません。
 	ステータスバーの自動非表示/固定表示を切替えます。

4.3 クイックメニューの一覧

ライブ画面上でマウスを右クリックすると、クイックメニューを表示します。



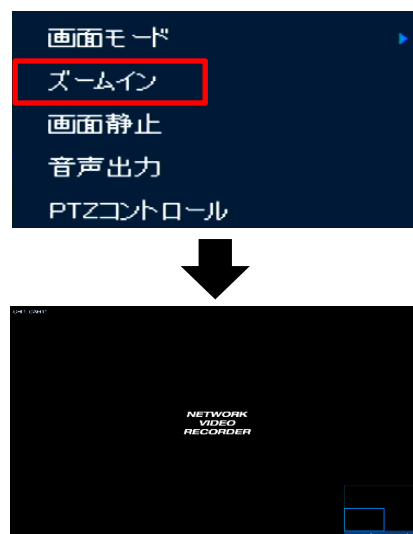
項目	効果・内容
画面モード	分割表示数を変更できます。
ズームイン	選択したCHにてデジタルズームができます。
画像静止	選択したCHのライブ映像を一時停止/再生を切替えます。 ※停止中でも録画は継続されます。
音声出力	選択したCHのライブ音声出力のオン/オフを切替えます。
PTZ コントロール	PTZ操作画面を表示します。 ライブ画面上で1画面表示時のみ選択できます。
アラーム停止	アラーム出力を停止します。
再生	再生画面に切り替わり、録画映像を再生します。
検索	録画映像の検索ができます。 詳しくは、「6. 検索と再生 (p.129)」をご覧ください。
バックアップ	録画映像のバックアップができます。
設定	本機のシステム設定画面を表示します。
ワープ	本機以外のレコーダーを遠隔操作できます。 詳しくは、「5.7.5 ワープ > 登録 -ワープを設定する- (p.125)」をご覧ください。
カメラ登録	IPカメラの登録を行います。 詳しくは、「5.3.4 登録 > 登録 -カメラを登録する- (p.76)」をご覧ください。
状態	システムログ、イベントログ、録画パラメータ、HDD情報の確認画面を表示します。
ログアウト/ログイン	ログアウト/ログインします。

項目	効果・内容
シャットダウン	本機をシャットダウンします。

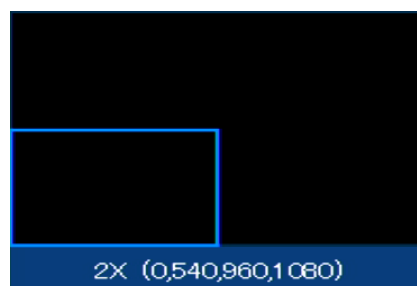
4.3.1 映像を拡大表示する

ライブ画面にて、拡大表示した箇所のデジタルズームを行うことができます。

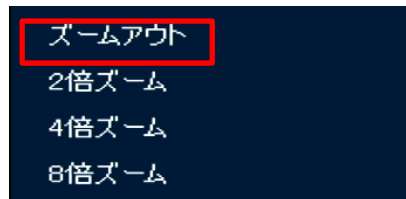
1. 任意の CH をクリックします。
※選択中は CH 枠が青色で表示されます。
2. 選択した CH の表示エリア上で右クリックして、「ズームイン」をクリックします。



3. 画面右下の青枠をドラッグ & ドロップすることで、拡大表示箇所を移動できます。
マウスホイールのスクロールで、ズーム倍率を調整できます。
画面上で右クリックして、「2 倍/4 倍/8 倍ズーム」を選択することでも倍率を変更できます。



4. 画面上で右クリックして、「ズームアウト」をクリックすると、ライブ画面に戻ります。

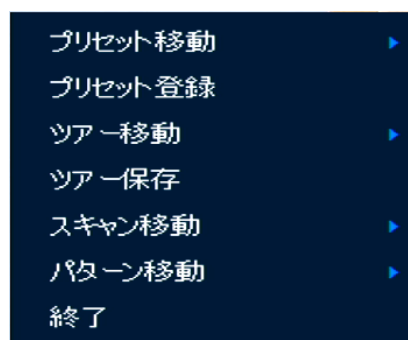


4.3.2 PTZ コントロール画面のアイコン一覧



アイコン	効果・内容
	各アイコンの方向へPTZカメラの向きを調整します。
AF	フォーカスを自動調整します。
 ズームアウト	ズームアウト/ズームインします。
 ズームイン	
 フォーカス(近)	フォーカスを調整します。
 フォーカス(遠)	

PTZ コントロール画面上で、マウスを右クリックするとクイックメニューが表示されます。



項目	効果・内容
プリセット移動	プリセット登録した地点にPTZカメラの向きを調整します。
プリセット登録	プリセット地点を登録します。(最大255箇所)
ツアー移動	ツアー動作を行います。
ツアー保存	複数のプリセット位置を指定し、ツアー位置の順番を設定します。
スキャン移動	スキャン動作を行います。
パターン移動	パターン動作を行います。
終了	ライブ画面に戻ります。

4.3.3 システムログを確認する

➤ クイックメニュー ＞ 状態 ＞ システムログ



指定した期間内に発生したシステム動作ログを表示します。

No.	項目	効果・内容
1	開始	検索するシステムログの開始日時を設定します。
2	終了	検索するシステムログの終了日時を設定します。
3	ログ	検索するログの種類を設定します。 - ネットワーク：ネットワーク接続した際のリモートログインとネットワーク：リモートログアウト履歴を表示します。 - 緊急録画：緊急録画の開始と終了履歴を表示します。 - 設定：本機の各システム設定変更履歴を表示します。 - ディスク：HDDイベント発生履歴を表示します。 - バックアップ：バックアップを行った履歴を表示します。 - システム：ログイン履歴などシステム動作の履歴を表示します。
4	全て設定/ 全て設定解除	検索するログの種類を全て設定/非設定を切替えます。
5		指定した期間で発生した各ログを検索・表示します。
6	ログリスト	ログ検索結果を一覧で表示します。
7	エクスポート	ログデータをUSBメモリーに保存できます。 ログデータは、CSV形式となります。
8	閉じる	ライブ画面に戻ります。

4.3.4 録画パラメータを確認する

➤ クイックメニュー ＞ 状態 ＞ 録画

状態

システムログ

イベント

録画

ディスク

録画時間

2018/07/06 17:45:20 ~ 2018/08/22 09:28:03

CH	入力タイプ	メインストリーム				セカンドストリーム			音声
		録画	解像度	ビットレート	フレームレート	解像度	ビットレート	フレームレート	
1	IP CAM	なし	1920 x 1080	808 Kbps	5	640 x 360	400 Kbps	5	なし
2	None	なし	None	None	None	None	None	None	なし
3	None	なし	None	None	None	None	None	None	なし
4	None	なし	None	None	None	None	None	None	なし
5	IP CAM	連続	1920 x 1080	732 Kbps	5	640 x 360	326 Kbps	5	録画
6	None	なし	None	None	None	None	None	None	なし
7	IP CAM	なし	1280 x 720	321 Kbps	30	352 x 240	1.0 Mbps	30	なし
8	None	なし	None	None	None	None	None	None	なし

ネットワークトラフィック 3.5 Mbps

閉じる

各 CH の録画パラメータを一覧で確認します。

No.	項目	効果・内容
1	録画時間	本機に録画されている映像期間を表示します。
2	録画ステータス	各CHの録画時のパラメータを表示します。
3	閉じる	ライブ画面に戻ります。

4.3.5 HDD の動作状況を確認する

➤ クイックメニュー ＞ 状態 ＞ ディスク

ディスク番号	空き/容量	ディスク			
		モデル	温度	動作時間	S.M.A.R.T.
HDD 1	3723/3723 GB	ST4000VX007-2DT166	29 度	428時間	良好
HDD 2	3682/3723 GB	ST4000VX007-2DT166	29 度	468時間	良好

録画 [0 日] -> 残っているディスク時間 : 82 日

閉じる

使用中の HDD の空き容量や SMART 情報を確認します。

No.	項目	効果・内容
1	ディスク情報	HDDの動作温度、総動作時間、SMART情報を表示します。
2	録画情報	HDDに録画されている録画期間を表示します。
3	閉じる	ライブ画面に戻ります。

4.3.6 シャットダウンする

- クイックメニュー > シャットダウン

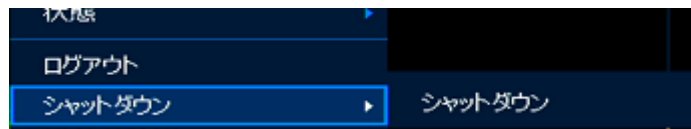
本機の電源を切る場合は、下記の手順でシャットダウンを行ってください。

<< 注意 >>

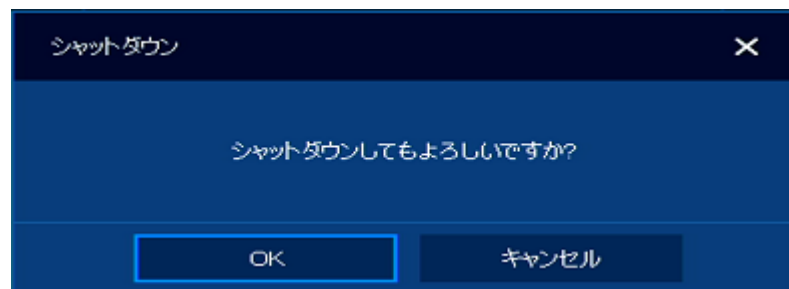
シャットダウンは必ず下記手順の方法で行ってください。

システム動作中に電源コードを抜くなどの正常ではない方法で電源を切ると、データ消失や HDD の寿命短縮につながる恐れがあります。

1. クイックメニュー内の「シャットダウン」をクリックします。



2. 確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。



シャットダウンを中断する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

3. admin 権限のパスワードを入力します。

<< 注意 >>

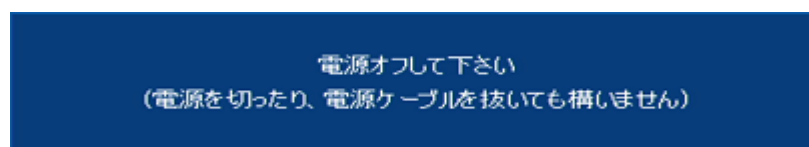
別 ID にてログイン中であってもシャットダウン時は admin 権限のパスワードを入力する必要があります。

パスワードを入力する場合は、 (キーボードアイコン)をクリックして、バーチャルキーボード上の文字をクリックしてください。



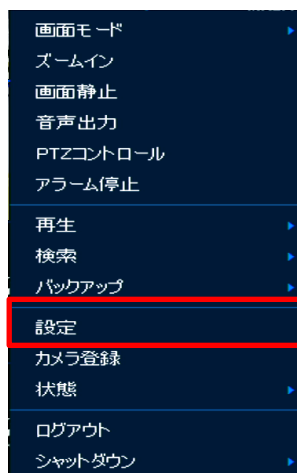
4. パスワード入力後、「OK」をクリックします。

下記メッセージ画面が表示されたら本機電源スイッチを OFF にして、シャットダウンは完了です。



5. 各種設定

ライブ画面上でマウスを右クリックし、クイックメニューから「設定」をクリックすると、各種設定画面が表示されます。



項目	効果・内容
システム	本機のシステム情報を設定します。
カメラ	カメラの登録情報を設定します。
デバイス	本機に接続されているカメラ以外のデバイス情報を設定します。
録画	録画パラメータを設定します。
イベント	各イベント動作を設定します。
ネットワーク	本機のネットワーク情報を設定します。

5.1 各設定画面での設定変更・保存・初期化するには

各設定画面内で設定を行う際、バーチャルキーボードでの設定やプルダウンでの数値の変更などさまざまな設定の仕方があります。

下記内容をご確認の上、設定の変更や保存・反映を行ってください。



項目/アイコン	効果・内容
	クリックすると、画面上にキーボードが表示されます。  キーボード上のボタンをクリックすることで設定内容を変更できます。 変更後は、「OK」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、変更せずに前の画面に戻ります。
	クリックすると、設定候補を表示します。 表示された候補リストの中から設定値を選択してください。
	クリックすると、設定内容が順次変更します。 適当な設定値を選択後、「保存」をクリックしてください。
初期値	現在表示中の設定画面内の設定値を全て初期化します。
保存	変更した設定値を保存します。
閉じる	設定画面を閉じて前の画面に戻ります。

5.2 システム

5.2.1 システム > システム -表示言語や本機 ID などを変更する-

- 設定 > システム > システム > システムタブ



項目	効果・内容
言語	表示言語を設定します。
デバイス名	本機のデバイス名を設定します。
ビデオタイプ	映像出力方式を設定します。 ※本項目は設定を変更しないでください。 ビデオタイプを変更すると、本機は再起動し、全ての設定が工場出荷状態となります。
キーボード ID	本機では使用できません。 設定を変更しないでください。
リモコン ID	本機では使用できません。 設定を変更しないでください。
簡単設定	本機の起動時に簡単セットアップを行うか設定します。 「実行」をクリックすると、セットアップ画面が表示されます。 セットアップ内容については、「3. 起動時の簡単セットアップ (p.33)」をご覧ください。

5.2.2 システム > F/W アップデート -FWをアップデートする-

➤ 設定 > システム > システム > FW アップデートタブ



項目	効果・内容
現在のバージョン	現在のシステムFWバージョンを表示します。
デバイス	アップデートファイルを設定し、本機のFWアップデートを行います。

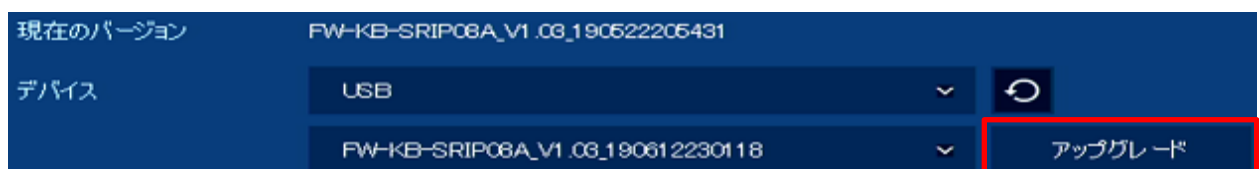
下記手順にそってアップグレードを行ってください。

<< 注意 >>

アップグレード作業中は、本機の電源を絶対に切らないでください。

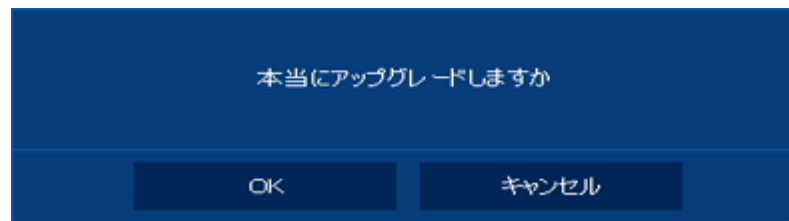
システムファイルの破損など故障につながる恐れがあります。

1. アップデートデータが入った USB メモリーを本機に接続します。
※アップデートデータは、USB メモリーのトップディレクトリに保存してください。
2. アップデートファイルを設定し、「アップグレード」をクリックします。



※接続した USB メモリーが表示されない場合は、 をクリックして再読込を行ってください。

3. 確認メッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



FW のアップグレードが始まります。

アップグレード中は、何度か再起動を繰り返します。

4. アップデート完了後は、セットアップ画面が表示されます。

画面の指示にしたがってセットアップを行い、FW のアップグレードは完了です。

セットアップ画面の内容については、「3. 起動時の簡単セットアップ (p.33)」をご覧ください。

5.2.3 日時 > 日時 -日時を変更する-

- 設定 > システム > 日時 > 日時タブ



• 手で設定する場合

1. 「システム時刻」にて、本機のシステム日時を設定します。
変更後は、「時刻変更」をクリックします。
※本機では、「夏時」および「夏時間開始・終了」の項目は設定できません。
2. 「表示方式」にて、日時の表示形式を設定します。
3. 「標準時間帯」は、「+9:00 Seoul, Tokyo, Irkutsk, Osaka, Sapporo」から変更しないでください。
4. 各項目の設定完了後、「保存」をクリックして完了です。

• NTP サーバーと同期する場合

1. 「NTP 時刻同期」にて「有効」にチェックを入れます。

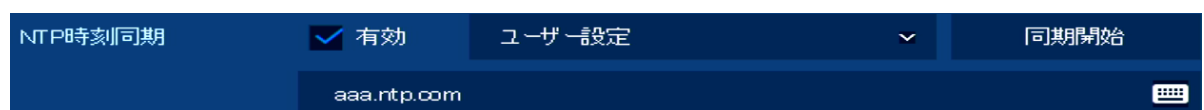
NTP時刻同期 ☒ 有効

2. 「同期開始」をクリックすると、NTP サーバーとの時刻同期を行います。

※同期に成功すると、最終同期時刻が表示されます。

同期に失敗する場合は、本機のネットワーク設定や NTP サーバーアドレス設定が間違っていないかご確認ください。

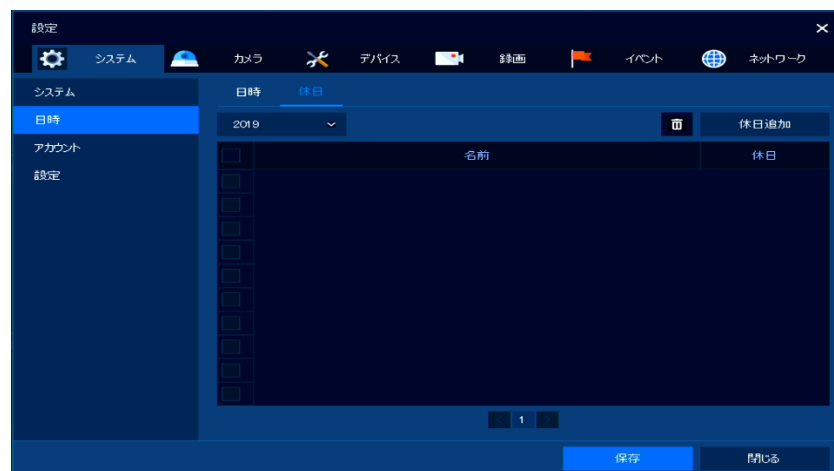
3. NTP サーバーを指定する場合は、「ユーザー設定」に変更し、NTP サーバーアドレスを入力します。



4. 「同期間隔」にて同期を行うタイミングを設定します。
5. 本機を NTP サーバーとして使用する場合は、「NTP サーバー有効」にチェックを入れます。
6. 各項目の設定完了後、「保存」をクリックして完了です。

5.2.4 日時 > 休日 -休日を設定する-

➤ 設定 > システム > 日時 > 休日タブ



項目	効果・内容
年	休日を登録する年を設定します。
	選択中の休日項目を削除します。
休日追加	休日を追加します。
リスト	追加した休日を一覧で表示します。



項目	効果・内容
名前	登録する休日名を入力します。
日付	「タイプ」にて選択中の日付を表示します。
タイプ	登録する休日を選択します。 - 日付指定 … カレンダーから登録する日付を選択します。 - 曜日指定 … 月、週、曜日から登録する日付を指定します。
適用	選択した休日を登録します。

5.2.5 アカウント > ユーザー -グループ権限・アカウントを追加・削除する-

➤ 設定 > システム > アカウント > ユーザータブ



項目	効果・内容
グループ追加	ユーザーグループを追加します。
ユーザー追加	ユーザーを追加します。
グループリスト	作成したグループ及び属するユーザーアカウントを一覧で表示します。
ログアウト時は ライブ映像を非表示にする	チェックを入れると、ログアウト時は全CHのライブ映像を非表示にします。 ※ログアウト中も録画は継続します。
自動ログイン	本機を起動させた際、選択したアカウントでログインした状態で起動します。 有効にできるアカウントは1アカウントのみとなります。
自動ログアウト	一定時間操作がない場合、自動的にログアウト状態になります。
パスワード変更サイクル	設定した期間が経過するとパスワード変更画面が表示されます。

- グループ権限を設定・追加・削除する場合

- 「グループ追加」をクリックします。



- 「名前」にてグループ名を設定します。

- 「許可」にて操作可能項目を設定します。

※チェックの入った項目が操作可能となります。

✓ ライブビュー: ライブ映像を閲覧できます。  から閲覧できる CH を設定できます。

✓ セットアップ: 本機の各種設定操作ができます。

✓ F/W アップグレード: 本機の F/W アップグレード操作ができます。

✓ 検索/再生ビュー: 録画映像の検索・再生ができます。

 から検索・再生できる CH を設定できます。

✓ PTZ コントロール: PTZ 操作ができます。

- 各項目設定後、「適用」をクリックします。

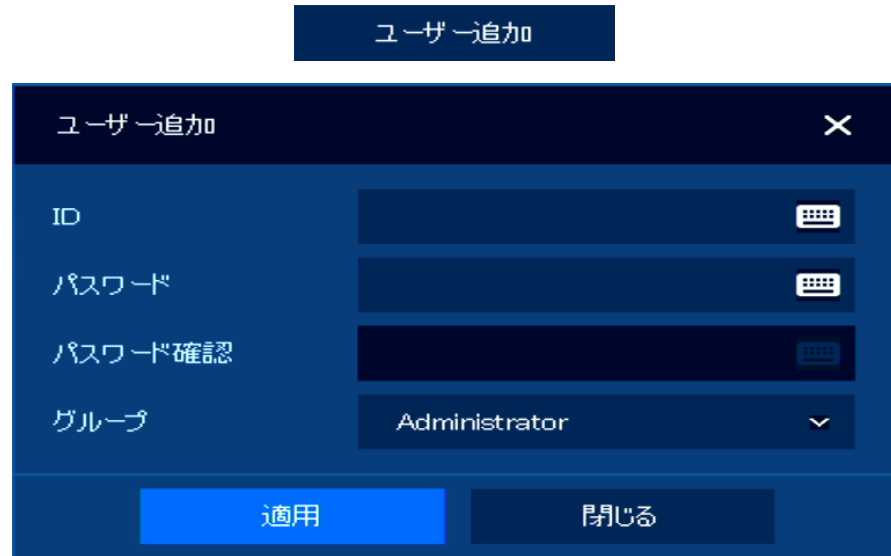
-  をクリックすると設定したグループを削除します。

 をクリックすると設定したグループ情報を再設定します。

- 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

- ユーザーアカウントを追加・削除する場合

1. 「ユーザー追加」をクリックします。



2. 「ID」にてログイン時の ID を設定します(最大 15 文字)。

<< 注意 >>

16 文字で設定しないでください。

3. 「パスワード」にてログイン時のパスワードを設定します。
「パスワード確認」には、同じ値を入力します。入力間違いにご注意ください。
4. 「グループ」にてアカウントの所属するグループを設定します。
5. 各項目設定後、「適用」をクリックします。
6.  をクリックすると設定したアカウントを削除します。
7.  をクリックすると設定したアカウント情報を再設定します。
7. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.2.6 アカウント > ユーザー -パスワードを変更する-

➤ 設定 > システム > アカウント > ユーザータブ



1. 変更したいユーザーアカウントを設定し、 をクリックします。
2. 「パスワード」に新しいパスワードを設定します。
「パスワード確認」には、同じ値を入力します。入力間違いにご注意ください。



3. 変更後、「適用」をクリックします。
4. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.2.7 設定 > エクスポート/インポート -設定値を USB デバイスに保存する-

- 設定 > システム > 設定 > エクスポート/インポートタブ



• USB メモリーからインポートする場合

1. 本機に USB メモリーを接続します。
2. 「デバイス」にて使用するデバイスを設定します。

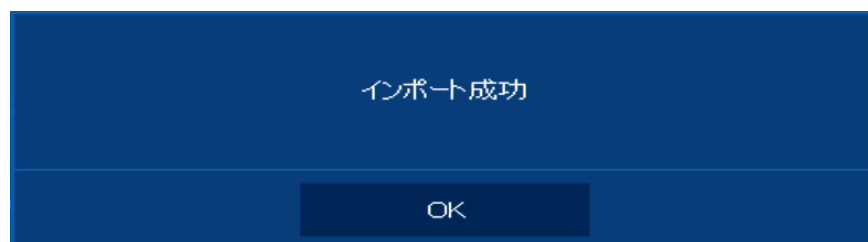
※何も表示されない場合は、 をクリックしてください。

3. 「ファイル名」にてインポートするファイルを設定(最大 114 文字)し、「インポート」をクリックします。



「ネットワーク設定のインポート」にチェックを入れると、下記の設定を読み込みます

- ・カメラ > 詳細設定 > 詳細設定 > ストリーム > ストリーム設定
(メインストリーム、サブストリームは除く)
 - ・カメラ > 登録 > 登録
 - ・ネットワーク > 基本 > LAN ポート(NAT 設定は除く)
 - ・ネットワーク > 基本 > PoE ポート
 - ・ネットワーク > DVRNS/DDNS > DDNS
 - ・ネットワーク > E メール > E メール
 - ・ネットワーク > ワープ > 登録(ワープリストは除く)
4. 「インポート成功」の画面が表示されたら「OK」をクリックして完了です。

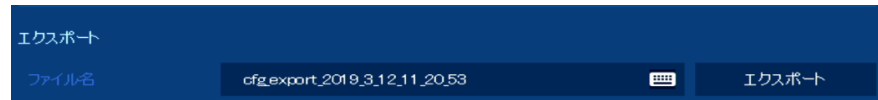


- USB メモリーへエクスポートする場合

1. 本機に USB メモリーを接続します。
2. 「デバイス」にて使用するデバイスを設定します。

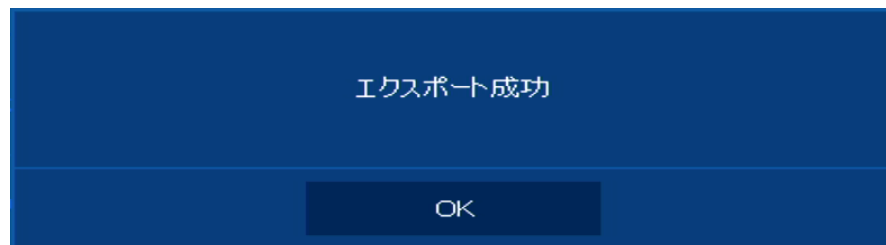
※何も表示されない場合は、 をクリックしてください。

3. 「エクスポート」をクリックします。



ファイル名を変更する場合は、 をクリックして任意の値に設定してください
(最大 114 文字)。

4. 「エクスポート成功」の画面が表示されたら「OK」をクリックして完了です。



<< 注意 >>

下記の設定はエクスポートすることはできません。

- ・システム > システム > システムの「ビデオタイプ」
- ・システム > 日時 > 日時の「システム時刻」
- ・システム > アカウント > ユーザーの「自動ログイン」
- ・システム > アカウント > ユーザーの「パスワード変更サイクル」
- ・カメラ > 詳細設定 > 詳細設定 > 映像の「ビデオ設定」
- ・カメラ > 詳細設定 > 詳細設定 > ストリーム > ストリーム設定
の「メインストリーム」、「サブストリーム」
- ・カメラ > 詳細設定 > 詳細設定 > ハイストリーム > ハイストリーム
- ・録画 > ストリーム > サブストリーム
- ・ネットワーク > 基本 > LAN ポートの「NAT 設定」
- ・ネットワーク > DVRNS/DDNS > DVRNS
- ・ネットワーク > ワープ > 登録の「ワープリスト」

5.2.8 設定 ＞ 工場出荷設定 -設定値を工場出荷時に戻す-

- 設定 ＞ システム ＞ 設定 ＞ 工場出荷設定タブ



1. 初期化する項目を設定します。

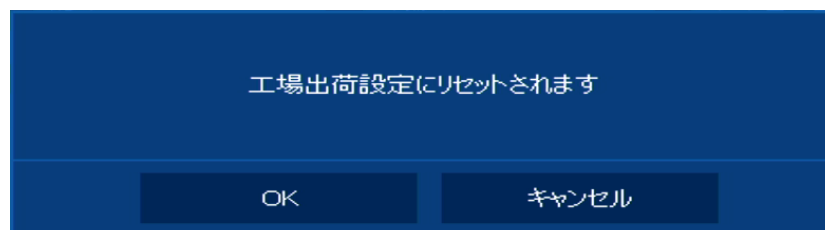
各項目をクリックすると、チェックが入り初期化対象となります。



「全て設定(設定解除)」をクリックすると、全ての項目を設定/非設定状態にします。

2. 項目を設定後、「初期化」をクリックします。

確認画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。



3. 「設定初期化」のメッセージが表示されたら完了です。

5.3 カメラ

5.3.1 基本 > 基本 -カメラタイトルを変更する / ライブ映像を非表示にする-

➤ 設定 > カメラ > 基本 > 基本タブ



1. タイトル変更したい CH の「タイトル」欄または  をクリックして任意の値を設定します。
2. 「画面非表示」にてライブ画面でのカメラ映像を非表示にする CH を設定します。
 - 映像のみ … ライブ映像のみ非表示となります。
 - 映像+OSD … ライブ映像に加えて、録画アイコンなども非表示になります。※非表示中も録画は継続されます。

「画面非表示の設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。



- ✓ From … コピー元の CH を設定します。
 - ✓ To … コピー先の CH を設定します。
- 「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。

- ✓ コピー対象 …… コピーする設定項目を設定します。
- ✓ 適用 …… 一括設定を行います。
- ✓ 閉じる …… 設定を保存せずに前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

3. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.3.2 基本 > 音声入力/出力 -ライブ音声を出力する / ライブ音声を録音する-

➤ 設定 > カメラ > 基本 > 音声入力/出力タブ



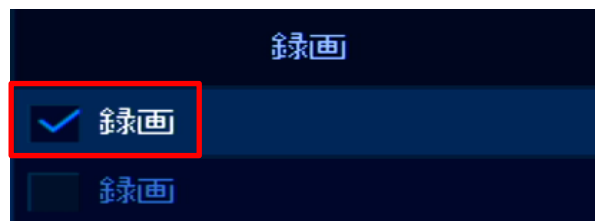
1. 音声出力したい CH の「有効」をクリックしてチェックを入れます。

Nb.	有効	
1	☒ 有効	CH 1
2	☐ 有効	CH 2

2. ライブ音声を録音する場合は、「録画」をクリックしてチェックを入れます。

※音声入力がない場合は、「録画」をクリックしても録音されません。

また、手順 1 にて有効になっていない CH も録音されません。



3. 「音声の設定をコピー(IP カメラ)」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。
全ての CH または選択した CH に一括で同じ設定値を反映できます。



- ✓ From ... コピー元の CH を選択します。
- ✓ To ... コピー先の CH を選択します。
「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。
- ✓ コピー対象 ... コピーする設定項目を選択します。
- ✓ 適用 ... 一括設定を行います。
- ✓ 閉じる ... 前の画面に戻ります。

コピー設定完了後は、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

4. レコーダーの AUDIO IN を使用している場合は、「ライン入力」にて音声出力を行う CH を設定します。

※IP カメラから音声を入力する場合は、「割当て無し」を設定してください。

5. 各項目を設定後、「保存」をクリックします。

6. ライブ画面に戻り、音声出力アイコン  をクリックします。

7. 設定後、スピーカーからライブ音声出力されます。

※ライブ音声出力されない場合は、下記項目をご確認ください。

- 本機とスピーカーが正しく接続されているか
- スピーカーのボリュームが小さくないか

5.3.3 詳細設定 ＞ 詳細設定 -カメラ映像を調整する-

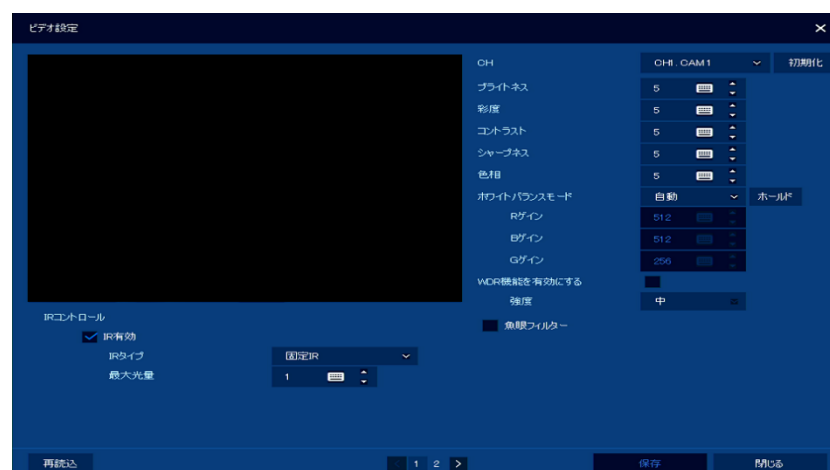
- 設定 ＞ カメラ ＞ 詳細設定 ＞ 詳細設定タブ



項目	効果・内容
CH	設定するCHを表示します。
映像	CHごとに明るさやコントラストなどのパラメータを設定します。 「セットアップ」をクリックすると、設定画面に切り替わります。 詳しくは、「映像セットアップの詳細画面 (p.70)」をご覧ください。
ストリーム	CHごとに解像度やフレームレートなどのパラメータを設定します。 「セットアップ」をクリックすると、設定画面に切り替わります。 詳しくは、「ストリームセットアップの詳細画面 (p.74)」をご覧ください。
ハイストリーム	CHごとにハイストリーム (関心領域) を設定します。 「セットアップ」をクリックすると、設定画面に切り替わります。 詳しくは、「ハイストリームセットアップの詳細画面 (p.75)」をご覧ください。

※お使いのカメラによっては、設定できない項目があります。

- 映像セットアップの詳細画面

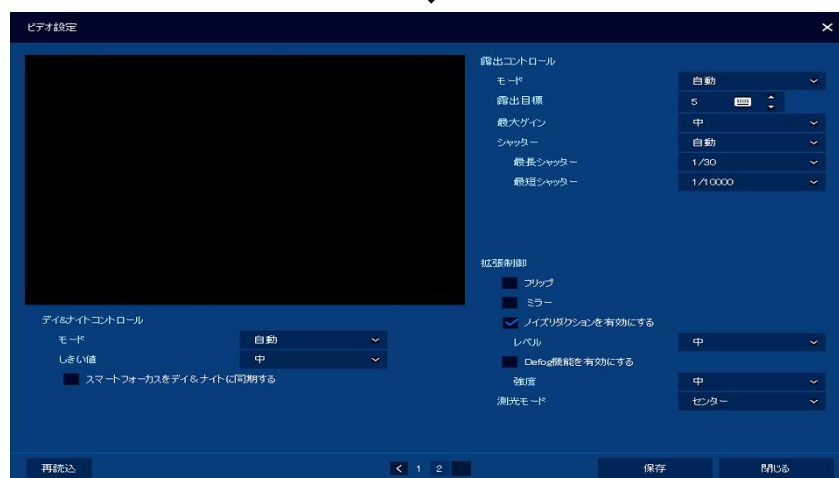


当社指定のカメラ(KB-N320A、KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A)の場合、下記項目の設定が可能です。

項目	効果・内容
CH	設定中のCH番号を表示します。
初期化	設定画面を開いた際の設定値に戻します。 初期化をクリック後、画面左下の「再読み込み」をクリックすることで設定値を変更前の状態に戻すことができます。
再読み込み	現在のカメラ設定内容を再読み込みします。
ブライトネス	映像の明るさを調整します。
彩度	映像の鮮やかさを調整します。
コントラスト	映像のコントラストを調整します。
シャープネス	映像のきめ細かさを調整します。
色相	映像の色相を調整します。
ホワイトバランス	映像のホワイトバランスを調整します。 「マニュアル」を選択して保存後、R(B)(G)ゲインを調整できます。
ホワイトバランス ＞ R(B)(G)ゲイン	映像のゲイン量を調整します。

項目	効果・内容
ホールド	ボタンをクリックすると、ホワイトバランスの調整値がマニュアルのRゲイン Bゲイン、Gゲイン に反映されますので簡易的にマニュアル設定の調整が可能です。微調整は、マニュアル設定の調整を行ってください。 - ホールドの設定方法 - ホワイトバランスを「自動」のまま、白い紙などを画面全体に映す。 - 映像が白に調整されている条件で「ホールド」をクリックする。 - ホワイトバランスモードをマニュアルに変更する。
WDR 機能を有効にする	ワイドダイナミックレンジ機能の有効/無効を切替えます。 ※Defog機能とは、同時に使用できません。
WDR > 強度	WDRの補正レベルを調整します。
魚眼フィルター	使用できません。設定を変更しないでください。
IR コントロール > IR 有効	赤外線投光機能のON/OFFを切替えます。 チェックがない場合、赤外線投光器は作動しなくなります。
IR コントロール > IR タイプ	スマートIR機能のON/OFFを切替えます。 固定IR …… 一定の光量で赤外線を照射します。 スマートIR …… 被写体との距離に応じて光量を自動調整します。
IR コントロール > 最大光量	赤外線投光時の光量を調整します。 数値が高いほど、明るくなります。 ※IRタイプが「固定IR」の時に設定できます。
IR コントロール > 速度	光量を自動調整する速度を調整します。 数値が高いほど、調整速度が速くなります。 ※IRタイプが「スマートIR」の時に設定できます。

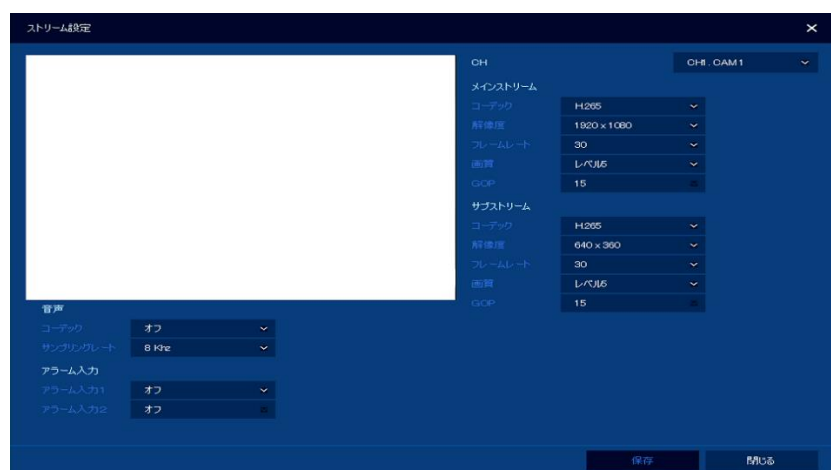
下のページ番号をクリックすると画面を切替えることができます。



項目	効果・内容
露出コントロール ＞ モード	蛍光灯などのちらつき防止を設定します。 通常は「自動」でお使いいただき、映像にちらつきがある場合は、お使いの地域の電源周波数に合わせて選択してください。 ※東日本:50Hz / 西日本:60Hz
露出コントロール ＞ 露出目標	映像の明るさを調整します。 範囲:1～10 ※数値が大きい程、明るい映像になります。
露出コントロール ＞ 最大ゲイン	光の増幅レベルを選択します。 低 ＜ 中 ＜ 高の順に映像は明るくなりますが、ノイズが出やすくなります。
露出コントロール ＞ シャッター	シャッタースピードを調整します。 「自動」を選択した場合、撮影環境に合わせて最適なシャッタースピードで撮影を行います。 「固定」を選択した場合、常に一定のシャッタースピードで撮影を行います。 ＜＜ 注意 ＞＞ 明るい撮影環境下の場合、白とびする可能性があります。 ※フリッカーレス設定で、シャッターが自動の条件でフリッカーが改善しない場合、シャッターを固定にすることでフリッカーが改善する場合があります。
＞ 最長シャッター	低照度での最長集光時間を選択します。 ※シャッターが「自動」の場合のみ設定できます。
＞ 最短シャッター	高照度での最短集光時間を選択します。 ※シャッターが「自動」の場合のみ設定できます。

項目	効果・内容
フリップ	チェックを入れると、映像を上下反転して表示します。
ミラー	チェックを入れると、映像を左右反転して表示します。
ノイズリダクション を有効にする	ノイズリダクション機能の有効/無効を選択します。 有効にすると、「レベル」にて映像内のノイズの除去・軽減レベルを選択できます。
Defog 機能を有効 にする	霧除去機能の有効/無効を選択します。 有効にすると、「強度」にて映像内の霧の除去・軽減レベルを選択できます。 ※本機能を有効にした場合は、WDR機能を有効にすることはできません。
測光モード	測光位置を選択します。 背景が極端に逆光の環境下や明暗差が大きい環境下で映像が見にくい場合、基準とする明るさの位置を設定できます。
デイ&ナイト コントロール ＞ モード	カラー、モノクロ撮影の切り替え方式を選択します。 自動 … 明るさに応じて、自動的にカラーとモノクロ撮影を切替えます。 デイ … 常にカラー撮影を行います。 ナイト … 常にモノクロ撮影を行います。
デイ&ナイト コントロール ＞ しきい値	カラー撮影とモノクロ撮影を切替える明るさレベルを選択します。 小 ＞ 中 ＞ 高 の順により明るい環境下で撮影が切り替わります。
スマートフォーカス をデイ&ナイトに 同期する	カラーとモノクロ撮影が切り替わるタイミングでフォーカスを再調整します。

- ストリームセットアップの詳細画面



ストリーム毎に表示解像度やフレームレートなどを設定できます。

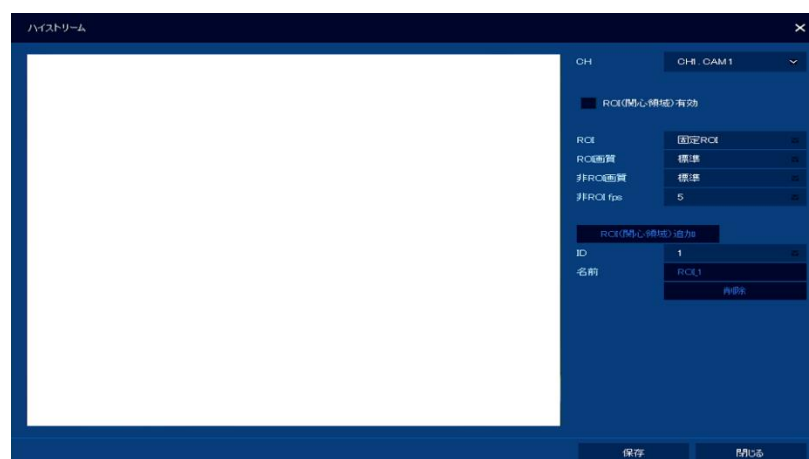
「メインストリーム」にて設定した値は、ライブ画面上で1画面表示と4分割表示時に適用されます。

「サブストリーム」にて設定した値は、ライブ画面上で9分割表示時以上に適用されます。

項目	効果・内容
CH	設定中のCH番号を表示します。
コーデック	圧縮方式を表示します。
解像度	映像の出力解像度を設定します。
フレームレート	映像のフレームレートを設定します。
画質	映像の画質を設定します。
GOP	Iフレーム間隔を表示します。
音声 > コーデック	音声コーデックを設定します。
音声 > サンプリングレート	周波数を設定します。
アラーム入力 > アラーム入力 1	カメラの接点入力1のNO/NCを切替えます。
アラーム入力 > アラーム入力 2	カメラ接点入力2のNO/NCを切替えます。

※お使いのカメラによっては、設定できない項目があります。

- ハイストリームセットアップの詳細画面



項目	効果・内容
CH	設定中のCH番号を表示します。
ROI(関心領域)有効	ハイストリーム機能の有効/無効を選択します。
ROI	「固定ROI」のみ選択します。
ROI 画質	関心領域内の画質を選択します。
非 ROI 画質	関心領域外の画質を選択します。
非 ROI fps	関心領域外のフレームレートを選択します。
ROI(関心領域)追加	関心領域を追加します。 追加をクリックすると、プレビュー画面上に緑枠が表示されます。 緑枠内が関心領域内となります。 また、緑枠の辺や頂点にマウスカーソルを合わせてドラック&ドロップすると、領域の移動やサイズ変更ができます。
ID	関心領域番号を表示します。
名前	各関心領域の名前を表示します。 名前を変更する場合は、IPカメラ側にて設定を行ってください。
削除	選択したIDを削除します。

5.3.4 登録 > 登録 -カメラを登録する-

➤ 設定 > カメラ > 登録 > 登録タブ



ライブ画面にカメラ映像を表示させるためには、IP カメラを本機に登録する必要があります。

当社指定の IP カメラ (KB-N320A、KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A) については、
本機に接続するだけで自動的に登録、ライブ画面にカメラ映像を表示します。

上記以外の IP カメラをお使いになる場合は、下記手順にそってカメラ登録を行ってください。

<< 注意 >>

IP カメラを本機の PoE ポートに接続して登録・運用する場合

あらかじめ、IP カメラのネットワークアドレスと本機 PoE ポートの IP アドレスが同一ネットワーク内になるように設定してください。

本機のネットワークアドレスの確認・設定変更については、「5.7 ネットワーク (p.117)」をご覧ください。

また、IP カメラのネットワークアドレスの確認・設定変更については、お使いの IP カメラのマニュアルをご確認ください。

新しくネットワークカメラを接続するとき、既に別のカメラが割り当てられていると、そのチャンネルの PoE ポートにカメラを接続しても自動的に接続 (プラグアンドプレイ) されません。この場合、割り当てられていないチャンネルの PoE ポートに接続し直すか、あるいは該当のカメラを他のチャンネルに割り当てし直してから、カメラを接続してください。

1. 「カメラ登録」をクリックします。

カメラ登録

登録画面に切り替わります。

2. 登録リストに本機が認識したカメラのアドレスが表示されます。

No.	ポート	割当て	モデル	IP	状態
1	LAN	なし	NDDI-2003PR	192.168.30.102	
		なし			
		なし			
		なし			
		なし			
		なし			
		なし			
		なし			
		なし			
		なし			

項目	効果・内容
	カメラリストを更新します。
自動割当て	カメラCHを自動的に割り当てます。
ポート	本機のPoEポートに接続またはLANポートに接続を表示します。
割当て	ライブ画面上で表示するチャンネルを表示します。
モデル	認識したカメラのモデル名を表示します。
IP	認識したカメラのIPアドレスを表示します。 当社指定のIPカメラ(KB-N320A、KB-N420A、KB-N520A、KB-N620A)を本機のPoEポートに接続するとZeroconfのIPアドレス(169.254.xxx.xxx)で表示されます。
状態	本機との接続状態を表示します。 正常に登録できたカメラは「OK」と表示されます。

3. リストの中から登録を行うカメラ行を選択してクリックします。

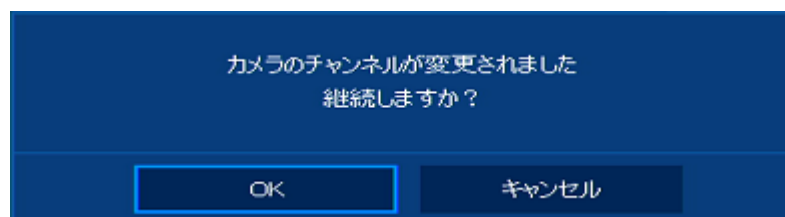
No.	ポート	割当て	モデル	IP	状態
1	LAN	なし	NDDI-2003PR	192.168.30.102	

4. 選択後、画面右側にてカメラ情報を入力します。

項目	効果・内容
モデル	カメラのモデル名を表示します。
CH	ライブ画面上で表示するチャンネルを選択します。 プルダウンをクリックして表示チャンネルを選択してください。 既に登録済みのチャンネルを選択した場合、確認画面が表示されます。 「OK」をクリックすると、登録済みのCHと入れ替えます。
IP	カメラのIPアドレスを表示します。
ID	カメラのログインIDを入力します。  をクリックしてバーチャルキーボード上の文字をクリックしてIDを入力してください。
パスワード	カメラのログインパスワードを入力します。  をクリックしてバーチャルキーボード上の文字をクリックしてパスワードを入力してください。 << 注意 >> =[]' / は禁止文字のため、パスワードに入力しないでください。

5. カメラ情報を入力後、「チェック」をクリックします。

6. 続けて画面下の「適用」をクリックします。
確認画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。



7. リスト内の「状態」が「OK」になったことを確認して「閉じる」をクリックします。

No.	ポート	割当て	モデル	IP	状態
1	PoE-1	CH1	NCDi-2003PR	192.168.30.102	OK

「状態」欄が OK にならない場合は、下記事項をご確認ください。

- リスト更新アイコン  をクリックし、リスト情報を更新する。
- IP カメラのログイン ID やパスワードが正しく入力できているか
- 本機と IP カメラが同一ネットワーク内にあるようにアドレス設定できているか

8. ライブ画面にてライブ映像が表示できていることを確認して完了です。

5.4 デバイス

5.4.1 画面 > 画面 -画面表示を設定する-

- 設定 > デバイス > 画面 > 画面タブ



項目	効果・内容
HDMI/VGA - 解像度	モニターへの出力解像度を設定します。 設定変更後、確認画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。 VGAポートからは「3840×2160」を出力することはできません。 モニターが、「3840×2160」をサポートしていない場合、自動的に出力解像度を「1024×768」として出力します。
イベントポップアップ - 継続時間	イベント発生時にポップアップ表示する時間を設定します。 ポップアップするチャンネルは、各イベント設定にてポップアップ監視を設定してください。 詳しくは、「5.6 イベント(p.97)」をご覧ください。

※解像度は、「初期値」ボタンで初期化されません。

5.4.2 画面 > OSD -OSD 表示を設定する-

➤ 設定 > デバイス > 画面 > OSD タブ



項目	効果・内容
画面情報 - カメラ名	ライブ画面での表示情報を設定します。 - オフ ... 何も表示しません。 - CH+タイトル ... CH番号とカメラタイトルを表示します。 - CH ... CH番号のみ表示します。 - タイトル ... カメラタイトルのみ表示します。
画面情報 - 状態バー	ステータスバーの表示/非表示を設定します。 - 常時ON ... 常にステータスバーを表示します。 - 自動で隠す ... マウスカーソルを画面下へ動かした時のみステータスバーを表示します。
画面アイコン	各CHで表示するアイコンの表示/非表示を設定します。

5.4.3 画面 ＞ シーケンス -シーケンス表示のレイアウトを設定する-

➤ 設定 ＞ デバイス ＞ 画面 ＞ シーケンスタブ



1. 「画面分割」にてシーケンス時の分割表示数を設定します。

1 画面 ... 1 画面ずつシーケンス表示します。

4 分割 ... 4 画面ずつシーケンス表示します。

※KB-SRIP04A は、1 画面のみ選択できます。

2. 「CH リスト」欄または  をクリックします。

3. 「切替え時間」にて画面切替え時間を設定します。



4. 表示 CH を設定します。



「なし」を設定したエリアは、シーケンス時には何も表示されません。

5. 設定後、「適用」をクリックします。
6. 新しくシーケンス項目を追加する場合は、「シーケンス追加」をクリックします。
設定手順は、手順 3～5 と同様です。
7.  をクリックすると設定したシーケンスを削除します。
8. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。
ライブ画面にて  をクリックすると、設定した表示パターンでシーケンス表示を行います。
※1 画面と 4 分割画面が混在するシーケンスは設定できません。

5.4.4 ディスク > 設定 -HDD 情報を確認する / HDD のフォーマットを行う-

➤ 設定 > デバイス > ディスク > 設定タブ



項目	効果・内容
	HDD情報を更新します。
ディスク情報	使用中の HDD の基本情報を表示します。 - モデル ... HDD の型式を表示します。 - 空き ... HDD の空き容量を表示します。 - 容量 ... HDD の総容量を表示します。 - 状態 ... 使用状況を表示します。
録画情報	HDD に保存されている録画期間を表示します。
S.M.A.R.T	HDD の動作温度、動作時間、SMART 情報を表示します。
フォーマット	設定したHDDをフォーマットします。 録画データが全て消去されますので実行には十分ご注意ください。
上書き録画	HDDの空き容量がなくなった際、最も古いデータから上書きして録画を継続します。 チェックがある場合は、上書き機能が有効となっています。 ※チェックがない場合、HDDの容量がなくなると録画できなくなります。
自動消去	指定した日数を経過するか、または指定した日数よりも古い録画データがある場合は自動的に録画データを削除します。 ※設定が完了すると、設定した保存期間が過ぎている古い録画データは再生できなくなります。設定を行う前に必要なデータはバックアップしてください。

5.4.5 ディスク > ミラーリング -HDD 情報を確認する / HDD のフォーマットを行う-

➤ 設定 > デバイス > ディスク > ミラーリングタブ



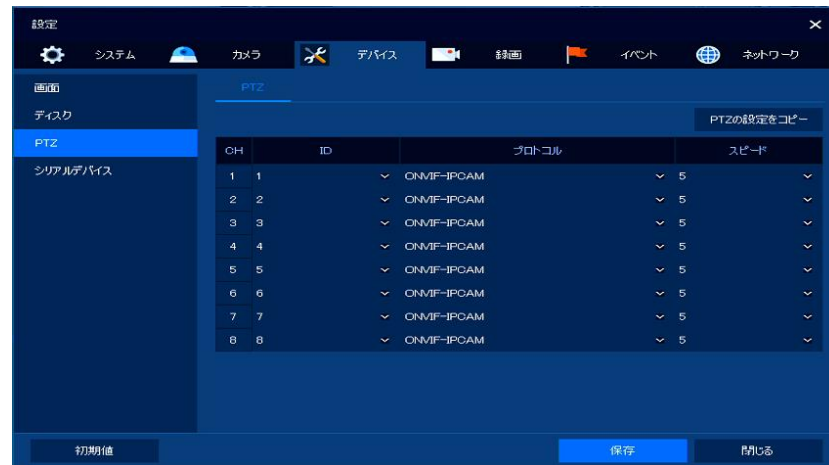
項目	効果・内容
	HDD情報を更新します。
ディスク情報	使用中の HDD の基本情報を表示します。 - モデル ... HDD の型式を表示します。RAID 構成時は RAID と表示されます。 - 空き ... HDD の空き容量を表示します。 - 容量 ... HDD の総容量を表示します。 - 状態 ... 使用状況を表示します。
統合/個別	RAID構成を設定します。 - 通常モード ... 本機に内蔵されている HDD を個々のドライブとして認識します。 - RAID モード...本機に内蔵されている HDD を 1 つのアレイとして使用します。HDD が 2 台接続されているときは RAID 1 が選択され、HDD が 4 台接続されているときは RAID 10 が選択されます。 通常モードの場合は統合、RAID 1(ミラーリング)やRAID 10の場合は個別と表示されます。 HDDを1台もしくは3台で接続している場合は、RAIDモードを使用できません。 設定するとHDDのフォーマットを行いますのでご注意ください。
詳細	詳細情報を表示します。(通常モードでは使用できません)
再構築	RAIDの再構築を行います。(通常モードでは使用できません) 再構築(リビルド)はHDD故障・交換時にデータの復旧に使用します。
ステータス	再構築中などのHDDの状態を表示します。

＜＜ 注意 ＞＞

- RAID モードを使用する場合は、RAID 構成に合わせた台数の HDD を取り付けてください。HDD を 1 台もしくは 3 台で接続している場合は、RAID モードを使用できません。
- RAID 構成の変更や HDD を追加する場合は、あらかじめ必要な録画データをバックアップしてください。データを保持したまま RAID 構成の変更や HDD を追加することはできません。
- 再構築する場合は、あらかじめ必要な録画データをバックアップしてください。再構築は失敗する可能性があり、再構築に失敗するとデータがなくなる場合があります。
- 再構築(リビルド)中は絶対に電源を切らないでください
- 同一メーカー、同一型番の HDD を使用してください。

5.4.6 PTZ > PTZ -PTZ プロトコルを設定する-

➤ 設定 > デバイス > PTZ > PTZ タブ



PTZ 操作を行う場合は、あらかじめカメラのプロトコルを設定する必要があります。

カメラ ID やプロトコル情報、PTZ カメラ本体の詳細設定については、お使いの PTZ カメラのユーザーマニュアルをご覧ください。

1. 「ID」にて PTZ カメラに登録されているカメラ ID を設定します。

2. 「プロトコル」にて制御プロトコルを設定します。

当社指定のカメラ(KB-N シリーズ、LC-N シリーズ)をお使いの場合は、「ONVIF-IPCAM」を設定してください。

お使いのカメラによってプロトコルは異なります。詳しくは、PTZ カメラのユーザーマニュアルをご覧ください。当社指定のカメラ以外を接続した場合は、正常に動作しないことがあります。

3. 「スピード」にてパン・チルトやズームイン・アウト時の動作速度を設定します。

4. 「PTZ の設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。
- 全ての CH または設定した CH に一括で同じ設定値を反映できます。

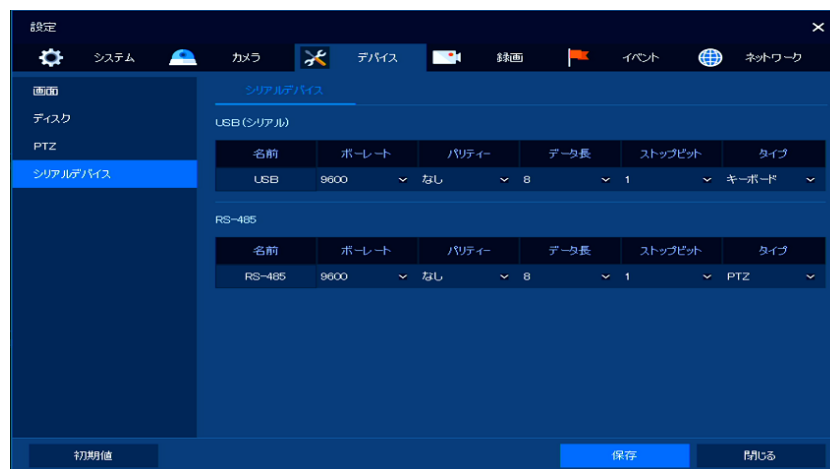
- ✓ From … コピー元の CH を設定します。
- ✓ To … コピー先の CH を設定します。
「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。
- ✓ コピー対象 … コピーする設定項目を設定します。
- ✓ 適用 … 一括設定を行います。
- ✓ 閉じる … 設定を保存せずに前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

5. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.4.7 シリアルデバイス > シリアルデバイス -RS-485 のボーレートを設定する-

- 設定 > デバイス > シリアルデバイス > シリアルデバイスタブ



本機に接続する PTZ カメラや USB デバイスに合わせて、通信伝送量を設定できます。

項目	効果・内容
USB (シリアル)	USBデバイスの通信送信値を設定します。
RS-485	RS-485コネクタの通信伝送値を設定します。

ボーレートなどの詳細設定値については、お使いの **USB シリアル機**や **RS-485 機器**のユーザーマニュアルをご覧ください。

5.5 録画

5.5.1 スケジュール > スケジュール -録画スケジュールを設定する-

- 設定 > 録画 > スケジュール > スケジュールタブ



1. 「CH」にてスケジュール設定を行う CH を選択します。



2. 録画モードを選択し、アイコンをクリックします。



アイコンの色によって録画モードが異なります。各モードの動作については、下記表をご覧ください。

項目	効果・内容
なし	録画を行いません。
連続(緑)	連続録画を行います。
モーション(青)	動きを検知した時のみ録画を行います。
アラーム(黄)	アラーム作動時のみ録画を行います。
C+M(紫)	連続とモーション録画を同時に行います。
C+A(橙)	連続とアラーム録画を同時に行います。
M+A(水)	モーションとアラーム録画を同時に行います。
C+M+A(薄紫)	連続とアラームとモーション録画を同時に行います。

3. タイムバー上で選択した録画モードを有効にする範囲を設定します。

全て	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日曜																								
月曜																								
火曜																								
水曜																								
木曜																								
金曜																								
土曜																								
休日																								

録画モードを選択し、マウスで各マスをクリックまたはドラッグ＆ドロップで1度に複数の時間帯を設定できます。

4. 「スケジュールの設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

全ての CH または選択した CH に一括で同じ設定値を反映できます。

スケジュールの設定をコピー

×

From CH 1

To

全て選択解除

✓ 1

✓ 2

✓ 3

✓ 4

✓ 5

✓ 6

✓ 7

✓ 8

✓ 9

✓ 10

✓ 11

✓ 12

✓ 13

✓ 14

✓ 15

✓ 16

✓ 17

✓ 18

✓ 19

✓ 20

✓ 21

✓ 22

✓ 23

✓ 24

✓ 25

✓ 26

✓ 27

✓ 28

✓ 29

✓ 30

✓ 31

✓ 32

適用

閉じる

- ✓ From ... コピー元の CH を設定します。
- ✓ To ... コピー先の CH を設定します。
- 「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。
- ✓ 適用 ... 一括設定を行います。
- ✓ 閉じる ... 設定を保存せずに前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

5. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.5.2 ストリーム ＞ メインストリーム -録画パラメータを設定する-

➤ 設定 ＞ 録画 ＞ ストリーム ＞ メインストリームタブ



メインストリームを使用して連続録画やイベント録画を行う際の録画パラメータを設定します。

項目	効果・内容
CH	ライブ画面でのCH番号を表示します。
解像度	ライブ画面表示やメインストリーム使用時の解像度を設定します。
フレームレート	ライブ画面表示やメインストリーム使用時のコマ数を設定します。
画質	ライブ画面表示やメインストリーム使用時の画質を設定します。
連続	1画面と4分割画面時の連続録画を行う際に使用するストリームを設定します。 - メイン ... メインストリーム値で録画を行います。 - サブ ... サブストリーム値で録画を行います。 ※9分割画面以上の録画はサブストリーム値で録画を行います。
イベント	1画面と4分割画面時のイベント録画を行う際に使用するストリームを設定します。 - メイン ... メインストリーム値で録画を行います。 - サブ ... サブストリーム値で録画を行います。 ※9分割画面以上の録画はサブストリーム値で録画を行います。
アラーム前	イベント発生の何秒前からの映像を録画するか設定します。
アラーム後	イベント終了から何秒後までの映像を録画するか設定します。
ストリームの設定をコピー	全てのCHまたは設定したCHに一括で同じ設定値を反映します。 詳しくは、次ページをご覧ください。

※解像度、フレームレート、画質は「初期値」ボタンで初期化されません。

「ストリームの設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

※カメラ入力がない CH に対しては、設定は反映されません。

✓ From … コピー元の CH を設定します。

✓ To … コピー先の CH を設定します。

「全て選択/選択解除」をクリックすると、前 CH を一括で選択/非選択状態にできます。

✓ コピー対象 … コピーする設定項目を設定します。

✓ 適用 … 一括設定を行います。

✓ 閉じる … 設定を保存せずに前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

サブストリーム使用時のパラメータについては、次ページをご覧ください。

➤ 設定 ＞ 録画 ＞ ストリーム ＞ サブストリームタブ



サブストリームを使用して常時録画やイベント録画を行う際の録画パラメータを設定します。

項目	効果・内容
CH	ライブ画面でのCH番号を表示します。
解像度	サブストリーム使用時の解像度を設定します。
フレームレート	サブストリーム使用時のコマ数を設定します。
画質	サブストリーム使用時の画質を設定します。
アラーム前	イベント発生の何秒前からの映像を録画するか設定します。 ※メインストリームタブにて設定した値が表示されます。
アラーム後	イベント終了から何秒後までの映像を録画するか設定します。 ※メインストリームタブにて設定した値が表示されます。
ストリームの設定を コピー	全てのCHまたは設定したCHに一括で同じ設定値を反映します。 詳しくは、次ページをご覧ください。

※解像度、フレームレート、画質は「初期値」ボタンで初期化されません。

「ストリームの設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

※カメラ入力がない CH に対しては、設定は反映されません。

ストリームの設定をコピー

From CH1

To

全て選択解除

☒ 1	☒ 2	☒ 3	☒ 4	☒ 5	☒ 6	☒ 7	☒ 8
☒ 9	☒ 10	☒ 11	☒ 12	☒ 13	☒ 14	☒ 15	☒ 16
☒ 17	☒ 18	☒ 19	☒ 20	☒ 21	☒ 22	☒ 23	☒ 24
☒ 25	☒ 26	☒ 27	☒ 28	☒ 29	☒ 30	☒ 31	☒ 32

コピー対象

☒ 解像度 ☒ フレームレート ☒ 画質

適用 閉じる

- ✓ From … コピー元の CH を設定します。
- ✓ To … コピー先の CH を設定します。
「全て選択/選択解除」をクリックすると、前 CH を一括で選択/非選択状態にできます。
- ✓ コピー対象 … コピーする設定項目を設定します。
- ✓ 適用 … 一括設定を行います。
- ✓ 閉じる … 設定を保存せずに前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

緊急録画時の録画パラメータについては、次ページをご覧ください。

➤ 設定 ＞ 録画 ＞ ストリーム ＞ 緊急録画タブ

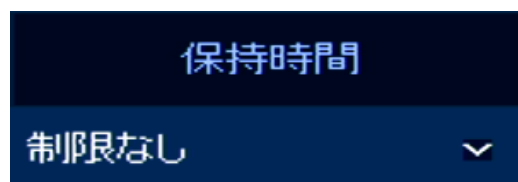


緊急録画時の録画パラメータは、メインストリームタブにて設定した「イベント」項目の値となります。

- 緊急録画 … 「有効」にチェックがある場合に、緊急録画機能を使用可能です。



- 保持時間 … 緊急録画を開始してから何分間緊急録画を行うかを設定します。
※「制限なし」の場合は、手動で緊急録画を終了させるまで続行します。



緊急録画の開始アイコンについては、「4.2 ステータスバーのアイコン一覧 (p.40)」をご覧ください。

5.6 イベント

5.6.1 システム/ディスク > システム -システムイベント発生時の通知を設定する-

➤ 設定 > イベント > システム/ディスク > システムタブ



イベント毎に登録したメールアドレスへの通知、アラーム信号出力を設定します。

項目	効果・内容
システム再起動	本機を起動させた際にイベント通知を行います。 - 有効 ... 通知機能の有効/無効を設定します。 通知を行う場合は、「有効」にチェックを入れてください。 - 通知 - Eメール ... イベント発生時に登録したアドレスへメールを送信します。
ユーザーログイン	ログインした際にイベント通知を行います。 - 有効 ... 通知機能の有効/無効を設定します。 通知を行う場合は、「有効」にチェックを入れてください。 - 通知 - Eメール ... イベント発生時に登録したアドレスへメールを送信します。
緊急録画開始	緊急録画を開始した際にイベント通知を行います。 - 有効 ... 通知機能の有効/無効を設定します。 通知を行う場合は、「有効」にチェックを入れてください。 - 通知 - Eメール ... イベント発生時に登録したアドレスへメールを送信します。
アラーム出力タイプ	N/O(A接点)またはN/C(B接点)を設定します。

➤ 設定 ＞ イベント ＞ システム/ディスク ＞ ディスクタブ



HDD に関するイベント発生時の通知方法を設定します。

項目	効果・内容
ディスク未接続	HDDの未接続を認識した際にイベント通知を行います。 - 有効 … 通知機能の有効/無効を設定します。 通知を行う場合は、「有効」にチェックを入れてください。 - ブザー … イベント発生時にブザーが作動します。 - アラーム出力 … イベント発生時に接点信号を出力します。 - アラーム出力-保持 … イベント終了後に何秒間アラーム出力を維持するかを設定します。 - 通知-Eメール … イベント発生時に登録したアドレスへメールを送信します。
ディスクフル	HDDの残り容量が指定値を下回った際にイベント通知を行います。 50～100% … 残量通知の基準値を設定します。 オフの場合は、本機能は作動しません。 - ブザー … イベント発生時にブザーが作動します。 - アラーム出力 … イベント発生時に接点信号を出力します。 - アラーム出力-保持 … イベント終了後に何秒間アラーム出力を維持するかを設定します。 - 通知-Eメール … イベント発生時に登録したアドレスへメールを送信します。

項目	効果・内容
S.M.A.R.T.故障検知	HDDのSMARTエラーが発生した際にイベント通知を行います。 - 有効 … 通知機能の有/無効を設定します。 通知を行う場合は、「有効」にチェックを入れてください。 - ブザー … イベント発生時にブザーが作動します。 - アラーム出力 … イベント発生時に接点信号を出力します。 - アラーム出力-保持 … イベント終了後に何秒間アラーム出力を維持するかを設定します。 - 通知-Eメール … イベント発生時に登録したアドレスへメールを送信します。

5.6.2 アラーム入力 > 設定/スケジュール -アラーム作動時の動作を設定する-

- 設定 > イベント > アラーム入力 > 設定/スケジュールタブ

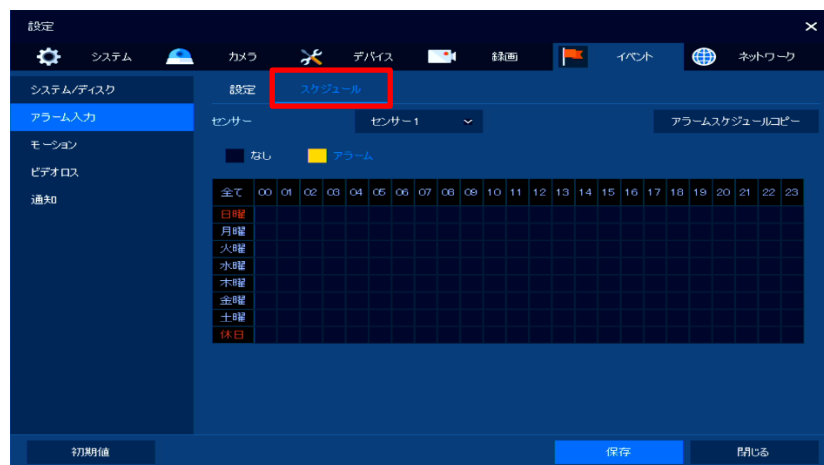


外部センサーからアラーム入力信号を検知した場合の動作を設定します。

本機への外部センサー機器の接続については、「1.3 外部機器との接続(p.20)」をご覧ください。

1. 「スケジュール」タブをクリックします。

センサースケジュール画面に切り替わります。



2. 「センサー」にて設定を行うセンサーを選択します。



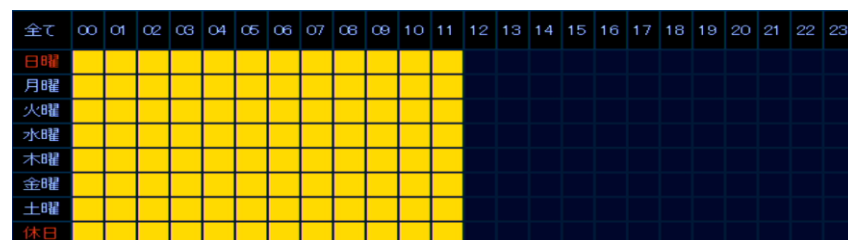
3. スケジュールモードを選択し、アイコンをクリックします。



アイコンの色によってモードが異なります。各モードの動作については、下記表をご覧ください。

項目	効果・内容
なし	アラーム入力検知を無効にします。
アラーム(黄)	アラーム入力検知を有効にします。

4. タイムバー上で選択したモードを有効にする範囲を設定します。



モードを選択し、マウスで各マスをクリックまたはドラッグ & ドロップで 1 度に複数の時間帯を設定できます。

5. 「アラームスケジュールコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

全てのセンサーまたは選択したセンサーに一括で同じ設定値を反映できます。



✓ From … コピー元のセンサーを設定します。

✓ To … コピー先のセンサーを設定します。

「全て選択/選択解除」をクリックすると、全センサーを一括で選択/非選択状態にできます。

✓ 適用 … 一括設定を行います。

✓ 閉じる … 前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

6. スケジュールの設定後、「保存」をクリックします。

7. 「設定」タブをクリックします。

設定

スケジュール

アラームの設定をコピー

センサー	有効	タイプ	ブザー	アラーム	グループ録画	通知	プリセット
1	☒ オン	NO	なし	なし	CH1	なし	なし
2	☐ オン	NO	なし	なし	CH2	なし	なし
3	☐ オン	NO	なし	なし	CH3	なし	なし
4	☐ オン	NO	なし	なし	CH4	なし	なし
5	☐ オン	NO	なし	なし	CH5	なし	なし
6	☐ オン	NO	なし	なし	CH6	なし	なし
7	☐ オン	NO	なし	なし	CH7	なし	なし
8	☐ オン	NO	なし	なし	CH8	なし	なし

1

2

>

8. アラーム検知を有効にするセンサーを選択し、「有効」欄をクリックします。

「オン」にチェックがあるセンサーが有効となります。

センサー	有効	タイプ	ブザー	アラーム	グループ録画	通知	プリセット
1	☒ オン	NO	なし	なし	CH1	なし	なし

9. 設定したいセンサー番号を選択し、下記項目を設定します。

センサー	有効	タイプ	ブザー	アラーム	グループ録画	通知	プリセット
1	☒ オン	NO	なし	なし	CH1	なし	なし

- タイプ … 接点タイプを設定します。

「ネット」の場合は、カメラ側のアラーム入力の設定が必要です。

カメラのアラーム入力の設定方法については、「5.3.3 詳細設定 > 詳細設定
ストリームセットアップの詳細画面 (p.74)」をご覧ください。

- ブザー … アラーム入力検知中にブザーを作動させます。

また、アラーム入力検知終了後に何秒間ブザーを作動させるか設定します。

「なし」の場合は、アラーム入力を検知してもブザーは作動しません。

10. 「アラーム/グループ録画/通知/プリセット」いずれかの  をクリックし、下記項目を設定します。

センサー	有効	タイプ	ブザー	アラーム	グループ録画	通知	プリセット
1	☒ オン	NO ▾	なし ▾	なし 	CH1	なし	なし



イベント:アラーム

アラーム入力 13

アラーム出力

リレー	保持時間
☐ リレー 1	保持
☒ グループ録画	
☐ ポップアップ監視	

リモート通知

☐ Eメール

プリセット

有効	CH	プリセット
☐ オン	CH1	1
☐ オン	CH1	1
☐ オン	CH1	1
☐ オン	CH1	1

適用

閉じる

項目	効果・内容
リレー	入力信号検知時にアラーム出力を行います。 チェックを入れると有効になります。
保持時間	入力信号検知後に何秒間アラーム出力を維持するか設定します。
グループ録画	入力信号検知時に選択したCHの録画を行います。  をクリックして、録画を行うCHを選択してください。 「全て選択/選択解除」をクリックすると、一括で全CHを選択/非選択状態にできます。
ポップアップ監視	入力信号検知時に選択したCHをポップアップ表示します。※1  をクリックして、ポップアップ表示するCHを選択してください。 「全て選択/選択解除」をクリックすると、一括で全CHを選択/非選択状態にできます。
リモート通知 -Eメール	入力信号検知時に登録したアドレスへ通知を行います。 有効にする場合は、チェックを入れてください。※2

項目	効果・内容
プリセット	入力信号検知時にPTZカメラをプリセット位置へ移動させます。 ・ 有効(オン) … PTZ操作機能を有効にします。 ・ CH … 動作させるCHを選択します。 ・ プリセット … 動作させるプリセット位置を指定します。
適用	各項目の設定内容を保存します。
閉じる	前の画面に戻ります。

※1 … イベント発生時にポップアップ表示する場合は、イベントポップアップの継続時間を設定する必要があります。詳細は、「5.4.1 画面 > 画面 -画面表示を設定する-(p.80)」をご覧ください。

※2 … イベント発生時にメール通知を行う場合は、メール送信スケジュールの設定が必要です。詳細は、「5.6.6 通知 > スケジュール -イベント発生時にメールを送信する-(p.116)」をご覧ください。

11. 「アラームの設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

全てのセンサーまたは選択したセンサーに一括で同じ設定値を反映できます。

✓ From … コピー元のセンサーを選択します。

✓ To … コピー先のセンサーを選択します。

「全て選択/選択解除」をクリックすると、全センサーを一括で選択/非選択状態にできます。

✓ コピー対象 … コピーする設定項目を選択します。

✓ 適用 … 一括設定を行います。

✓ 閉じる … 前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

12. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

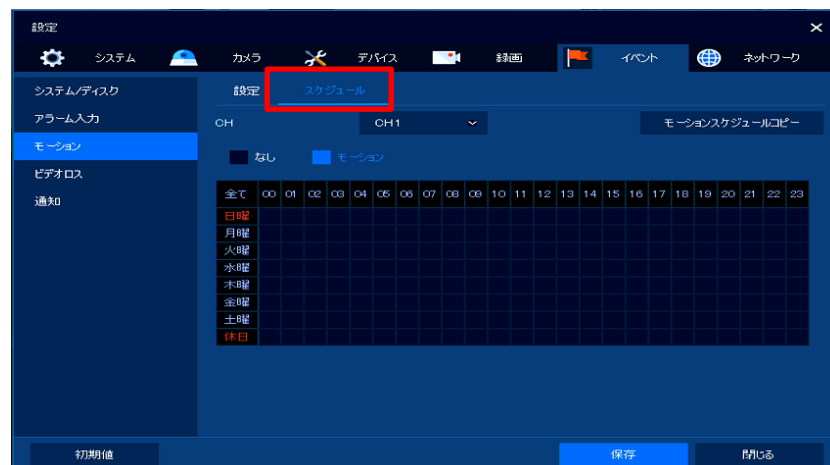
5.6.3 モーション > 設定/スケジュール -モーション検知時の動作を設定する-

➤ 設定 > イベント > モーション > 設定タブ/スケジュールタブ



カメラ映像にモーション(動き)が発生した場合の動作を設定します。

1. 「スケジュール」タブをクリックします。



2. 「CH」にて設定を行う CH を選択します。



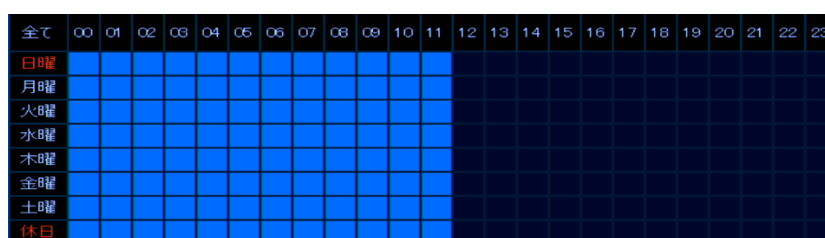
3. スケジュールモードを選択し、アイコンをクリックします。



アイコンの色によってモードが異なります。各モードの動作については、下記表をご覧ください。

項目	効果・内容
なし	モーション検知を無効にします。
モーション(青)	モーション検知を有効にします。

4. タイムバー上で選択したモードを有効にする範囲を設定します。



モードを選択し、マウスで各マスをクリックまたはドラッグ&ドロップで1度に複数の時間帯を設定できます。

5. 「モーションスケジュールコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

全ての CH または選択した CH に一括で同じ設定値を反映できます。



✓ From ... コピー元の CH を設定します。

✓ To ... コピー先の CH を設定します。

「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。

✓ 適用 ... 一括設定を行います。

✓ 閉じる ... 前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

6. スケジュールの設定後、「保存」をクリックします。

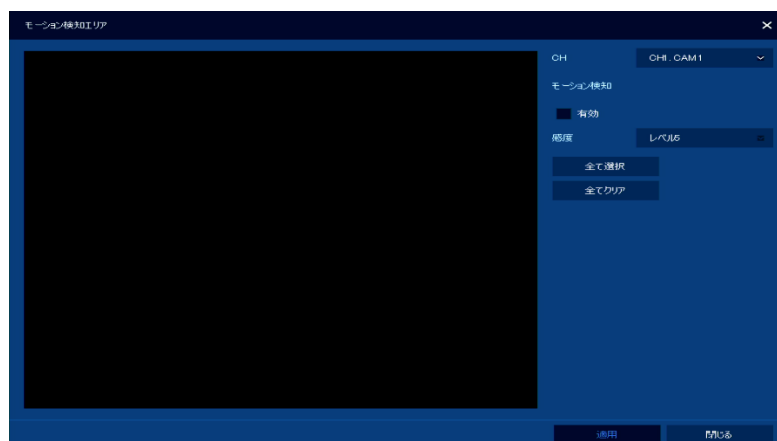
7. 「設定」タブをクリックします。



8. 設定したい CH 番号を選択し、下記項目を設定します。

CH	有効	エリア	感度	ブザー	アラーム	グループ録画	通知	プリセット
1	オフ	なし	レベル5	なし	なし	CH1	なし	なし

- 有効 ... モーション検知機能の有効/無効を設定します。
 - ✓ オフ ... モーション検知機能を使用しません。
 - ✓ モーション ... モーション検知機能を有効にします。
- エリア ... 「モーション」を選択した場合に、検知エリアを設定します。
 をクリックするとエリア設定画面が表示されます。



項目	効果・内容
CH	設定を行うCHを選択します。

項目	効果・内容
モーション検知 -有効	チェックをクリックして、有効にします。 画面左側の映像表示エリア上でドラッグ & ドロップして有効範囲を設定します。 - 選択 ... 選択した範囲を検知エリアとして設定します。 有効範囲は、赤枠で表示されます。 - クリア ... 選択した範囲を非検知エリアとして設定します。 無効範囲は、枠なしで表示されます。 - 反転 ... 選択した範囲の有効/無効を逆転させます。
感度	モーション検知感度を設定します。 レベルが高いほど感度がよくなります。
全て選択	一括で全領域を検知範囲に設定します。
全てクリア	一括で全領域を非検知範囲に設定します。
適用	設定内容を保存します。
閉じる	前の画面に戻ります。

- 感度 ... モーション検知感度を設定します。
エリア設定時に設定した感度の値が表示されます。
- ブザー ... モーション検知中にブザーを作動させます。
また、検知終了後に何秒間ブザーを作動させるか設定します。
「なし」の場合は、モーションを検知してもブザーは作動しません。

9. 「アラーム/グループ録画/通知/プリセット」いずれかの  をクリックし、下記項目を設定します。

CH	有効	エリア	感度	ブザー	アラーム	グループ録画	通知	プリセット
1	モーション ▼	なし	レベル5 ▼	なし ▼	なし 	CH1	なし	なし





項目	効果・内容
リレー	モーション検知時にアラーム出力を行います。 チェックを入れると有効になります。
保持時間	モーション検知後に何秒間アラーム出力を維持するか設定します。
グループ録画	モーション検知時に選択したCHの録画を行います。  をクリックして、録画を行うCHを選択してください。 「全て選択/選択解除」をクリックすると、一括で全CHを選択/非選択状態にできます。
ポップアップ監視	モーション検知時に選択したCHをポップアップ表示します。※1  をクリックして、ポップアップ表示するCHを選択してください。 「全て選択/選択解除」をクリックすると、一括で全CHを選択/非選択状態にできます。
リモート通知 -Eメール	モーション検知時に登録したアドレスへ通知を行います。 有効にする場合は、チェックを入れてください。※2
プリセット	モーション検知時にPTZカメラをプリセット位置へ移動させます。 - 有効(オン) … PTZ操作機能を有効にします。 - CH … 動作させるCHを選択します。 - プリセット … 動作させるプリセット位置を指定します。
適用	各項目の設定内容を保存します。
閉じる	前の画面に戻ります。

※1 … イベント発生時にポップアップ表示する場合は、イベントポップアップの継続時間を設定する必要があります。詳細は、「5.4.1 画面 > 画面 -画面表示を設定する-(p.80)」をご覧ください。

※2 … イベント発生時にメール通知を行う場合は、メール送信スケジュールの設定が必要です。
詳細は、「5.6.6 通知 > スケジュール -イベント発生時にメールを送信する-(p.116)」をご覧ください。

10. 「モーションの設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

全ての CH または選択した CH に一括で同じ設定値を反映できます。

モーションの設定をコピー

From CH1

To

全て選択解除

☒ 1	☒ 2	☒ 3	☒ 4	☒ 5	☒ 6	☒ 7	☒ 8
☒ 9	☒ 10	☒ 11	☒ 12	☒ 13	☒ 14	☒ 15	☒ 16
☒ 17	☒ 18	☒ 19	☒ 20	☒ 21	☒ 22	☒ 23	☒ 24
☒ 25	☒ 26	☒ 27	☒ 28	☒ 29	☒ 30	☒ 31	☒ 32

コピー対象

☒ 有効	☒ エリア	☒ 感度	☒ ブザー
☒ アラーム	☒ ポップアップ	☒ 通知	☒ プリセット

適用 閉じる

- ✓ From … コピー元の CH を選択します。
- ✓ To … コピー先の CH を選択します。
「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。
- ✓ コピー対象 … コピーする設定項目を選択します。
- ✓ 適用 … 一括設定を行います。
- ✓ 閉じる … 前の画面に戻ります。

11. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.6.4 ビデオロス > 設定 -ビデオロス発生時の動作を設定する-

➤ 設定 > イベント > ビデオロス > 設定タブ



カメラとの接続が途切れ、ビデオロスが発生した場合の動作を設定します。

1. ビデオロス検知を有効にする CH を選択し、「有効」欄をクリックします。
「オン」にチェックがある CH が有効となります。



2. 「ブザー」にてビデオロス検知中にブザーを作動させます。
また、検知終了後に何秒間ブザーを作動させるか設定します。
「なし」の場合は、ビデオロスを検知してもブザーは作動しません。



3. 「アラーム/通知/プリセット」いずれかの  をクリックし、下記項目を設定します。

アラーム	通知	プリセット
なし 	なし	なし



イベント:ビデオロス

×

CH1

アラーム出力

リレー	保持時間
☒ リレー1	保持

☒ ポップアップ監視

リモート通知

☒ Eメール

プリセット

有効	CH	プリセット
☒ オン	CH1	1
☒ オン	CH1	1
☒ オン	CH1	1
☒ オン	CH1	1

適用

閉じる

項目	効果・内容
リレー	ビデオロス検知時にアラーム出力を行います。 チェックを入れると有効になります。
保持時間	ビデオロス検知後に何秒間アラーム出力を維持するか設定します。
ポップアップ監視	ビデオロス検知時に選択したCHをポップアップ表示します。※1  をクリックして、ポップアップ表示するCHを選択してください。 「全て選択/選択解除」をクリックすると、一括で全CHを選択/非選択状態にできます。
リモート通知 - Eメール	ビデオロス検知時に登録したアドレスへ通知を行います。 有効にする場合は、チェックを入れてください。※2
プリセット	モーション検知時にPTZカメラをプリセット位置へ移動させます。 - 有効(オン) … PTZ操作機能を有効にします。 - CH … 動作させるCHを選択します。 - プリセット … 動作させるプリセット位置を指定します。
適用	各項目の設定内容を保存します。
閉じる	前の画面に戻ります。

※1 … イベント発生時にポップアップ表示する場合は、イベントポップアップの継続時間を設定する必要があります。詳細は、「5.4.1 画面 > 画面 -画面表示を設定する-(p.80)」をご覧ください。

※2 … イベント発生時にメール通知を行う場合は、メール送信スケジュールの設定が必要です。詳細は、「5.6.6 通知 > スケジュール -イベント発生時にメールを送信する-(p.116)」をご覧ください。

4. 「ビデオロスの設定をコピー」をクリックすると、コピー設定画面が表示されます。

全ての CH または選択した CH に一括で同じ設定値を反映できます。

ビデオロスの設定をコピー

From CH1

To

全て選択解除

☒ 1	☒ 2	☒ 3	☒ 4	☒ 5	☒ 6	☒ 7	☒ 8
☒ 9	☒ 10	☒ 11	☒ 12	☒ 13	☒ 14	☒ 15	☒ 16
☒ 17	☒ 18	☒ 19	☒ 20	☒ 21	☒ 22	☒ 23	☒ 24
☒ 25	☒ 26	☒ 27	☒ 28	☒ 29	☒ 30	☒ 31	☒ 32

コピー対象

☒ 有効	☒ ブザー	☒ アラーム
☒ ポップアップ	☒ 通知	☒ プリセット

適用 閉じる

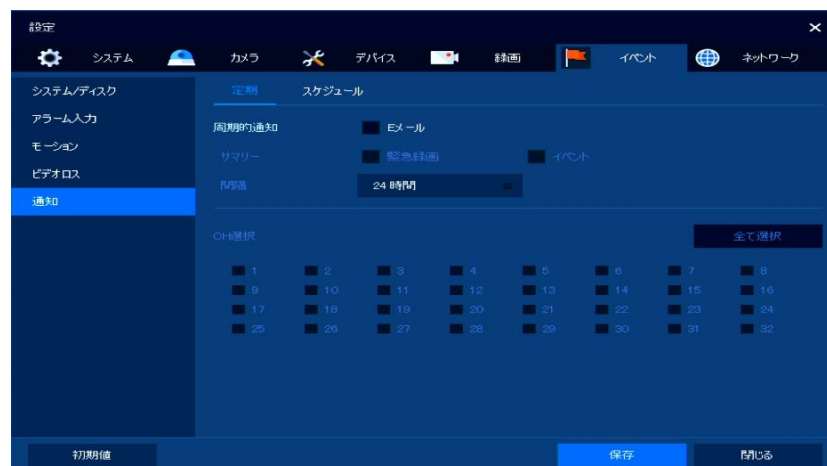
- ✓ From … コピー元の CH を選択します。
- ✓ To … コピー先の CH を選択します。
「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。
- ✓ コピー対象 … コピーする設定項目を選択します。
- ✓ 適用 … 一括設定を行います。
- ✓ 閉じる … 前の画面に戻ります。

コピーの設定完了後、「適用」をクリックして画面を閉じてください。

5. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.6.5 通知 ＞ 定期/スケジュール –定期通知を設定する–

- 設定 ＞ イベント ＞ 通知 ＞ 定期/スケジュールタブ



定期的に本機からメールを送信する設定をします。

1. 「スケジュール」タブをクリックします。



2. スケジュールモードを選択し、アイコンをクリックします。



アイコンの色によってモードが異なります。各モードの動作については、下記表をご覧ください。

項目	効果・内容
なし	メール送信機能を無効にします。
Eメール(緑)	メール送信機能を有効にします。

3. タイムバー上で選択したモードを有効にする範囲を設定します。

全て	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日曜																								
月曜																								
火曜																								
水曜																								
木曜																								
金曜																								
土曜																								
休日																								

モードを選択し、マウスで各マスをクリックまたはドラッグ & ドロップで 1 度に複数の時間帯を設定できます。

4. スケジュールの設定後、「保存」をクリックします。
5. 「定期」タブをクリックします。

6. 「周期的通知 - E メール」をクリックします。

チェックが入ることで、定期メールの送信を行います。

なお、定期メールには下記内容の情報が記載されています。

- デバイス名
- IP アドレスおよび MAC アドレス
- システム日時
- 動作ログ

7. 「サマリー - 緊急録画/イベント」をクリックします。

8. 「間隔」にて定期メールの送信間隔を設定します。

9. 各項目設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.6.6 通知 > スケジュール -イベント発生時にメールを送信する-

➤ 設定 > イベント > 通知 > スケジュールタブ



各イベント発生時にメール送信を行う場合は、下記手順にそって設定を行ってください。

メール送信機能が有効になっている期間に発生したイベントについて通知を行うようになります。

<< 注意 >>

システム再起動、ユーザーログイン、緊急録画開始、ディスク未接続、ディスクフル、S.M.A.R.T.故障検知のメールは、スケジュール設定には関係なく通知されます。

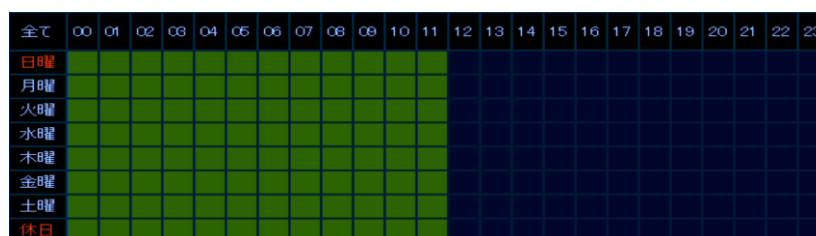
1. スケジュールモードを選択し、アイコンをクリックします。



アイコンの色によってモードが異なります。各モードの動作については、下記表をご覧ください。

項目	効果・内容
なし	アラーム入力検知を無効にします。
Eメール(緑)	メール送信機能を有効にします。

2. タイムバー上で選択したモードを有効にする範囲を設定します。



モードを選択し、マウスで各マスをクリックまたはドラッグ & ドロップで 1 度に複数の時間帯を設定できます。

3. スケジュールの設定後、「保存」をクリックして完了です。

5.7 ネットワーク

5.7.1 基本 > LAN ポート/PoE ポート -ネットワークアドレスを設定する-

➤ 設定 > ネットワーク > 基本 > LAN ポートタブ



項目	効果・内容
固定 IP/ DHCP (ダイナミック)	本機のIPアドレスを手動または自動で設定するかを選択します。 - 固定 ... 手動で本機のアドレス情報を設定します。 - DHCP ... DHCPサーバーから自動的にアドレス情報を設定します。
MAC アドレス	本機のMACアドレスを表示します。
IPv6	IPv6での本機のアドレスを表示します。
IP アドレス	LANポート側のIPアドレスを設定します。 「固定IP」を選択した場合は、手動でアドレスを設定してください。 << 注意 >> PoEポートタブで設定したアドレスと別ネットワークとなるように設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。 「固定IP」を選択した場合は、手動でアドレスを設定してください。
ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。 「固定IP」を選択した場合は、手動でアドレスを設定してください。
DNS	DNSサーバーアドレスを設定します。 「固定IP」を選択した場合は、手動でアドレスを設定してください。

項目	効果・内容
ポート (TCP/RTSP)	TCP/RTSPポート番号を設定します。 • TCP … TCPポートの番号を入力します。 • RTSP … ストリーミング接続用にRTSPポートの番号を入力します。 外部からネットワーク接続する場合は、ルーターのポート解放の設定が必要です。
暗号化	映像通信を暗号化することで第三者からの覗き見を防止します。
ポート (HTTP/HTTPS)	HTTP/HTTPSのポート番号を設定します。 • HTTP … インターネットエクスプローラー（以下、IE）を使ってネットワーク接続する際に、IEのアドレス入力欄に入力するポート番号を設定します。 • HTTPS … HTTPSでネットワーク接続する場合に、IEのアドレス入力する際に、IEのアドレス入力欄に入力するポート番号を設定します。 外部からネットワーク接続する場合は、ルーターのポート解放の設定が必要です。
HTTPS 接続	HTTPでネットワーク接続した際に、自動的にHTTPSでネットワーク接続するように設定します。
ポート (IP カメラ)	本機のPoEポートに接続したカメラに割り当てるポートの番号を入力します。ポート (TCP/RTSP) やポート (HTTP/HTTPS) のポート番号と重複しないように設定してください。 外部からネットワーク接続する場合は、ルーターのポート解放の設定が必要です。
NAT 設定	本機のPoEポートに接続したカメラのNATを設定します。
帯域制限	遠隔運用時の通信帯域を設定します。
Ping テスト	「テスト」をクリックすると、設定したアドレスへPingによる応答確認を行います。

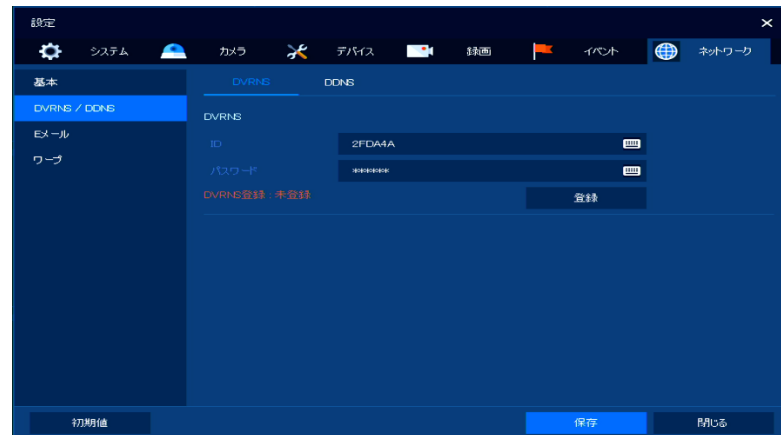
➤ 設定 ＞ ネットワーク ＞ 基本 ＞ PoE ポートタブ



項目	効果・内容
IP アドレス	PoEポートのIPアドレスを設定します。 << 注意 >> LANポートタブで設定したIPアドレスと別ネットワークとなるように設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。

5.7.2 DVRNS/DDNS > DVRNS -DVRNS アカウントを登録する-

➤ 設定 > ネットワーク > DVRNS/DDNS > DVRNS タブ



DVRNS アカウントを利用することで、本機に遠隔接続する際に Web ブラウザにて本機のアドレスやポート番号などを入力する手間を省くことができます。

【 DVRN サービスのご利用について(免責事項) 】

DVRNS サービスのご利用の際は、下記の内容に同意した上でご利用ください。

- ・ DVRNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- ・ DVRNS サービスを利用することにより発生した損害、または第 3 者に対して損害を与えた場合について当社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

下記手順で DVRNS サービスを利用することができます。

※本機能を利用するには、あらかじめ本機が外部ネットワークと接続できている必要があります。

本機のネットワークアドレスの設定については、「5.7.1 基本 > LAN ポート/PoE ポート -ネットワークアドレスを設定する-(p.117)」をご覧ください。

1. 「ID」欄に遠隔接続でログインする際の ID を設定します。

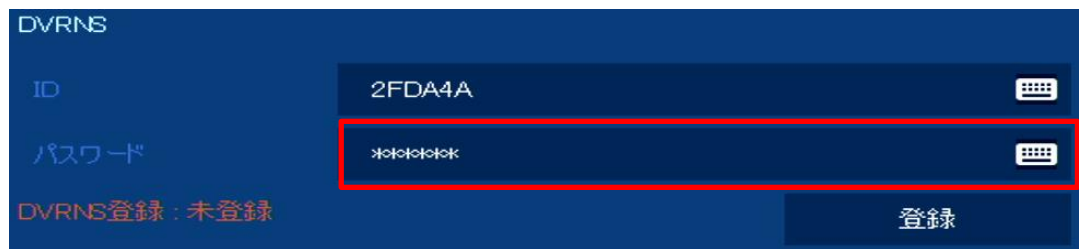
※初期値には、本機の MAC アドレスの下 6 桁が入力されています。



2. 「パスワード」欄に登録用のパスワードを設定します。

※初期値には、本機の MAC アドレスの下 6 桁が入力されています。

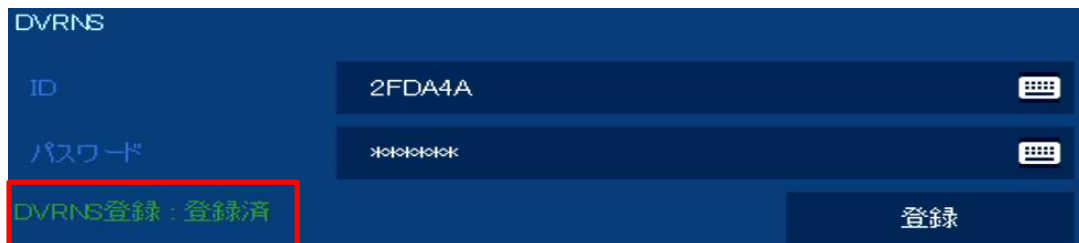
※本機では使用しません。



The screenshot shows the 'DVRNS' registration interface. It has a dark blue background. At the top left is the text 'DVRNS'. Below it are two input fields: 'ID' with the value '2FDA4A' and 'パスワード' (Password) with masked characters '*****'. The password field is highlighted with a red rectangular box. At the bottom left, the text 'DVRNS登録：未登録' (DVRNS Registration: Not Registered) is displayed in red. At the bottom right is a button labeled '登録' (Register).

3. 「登録」をクリックし、DVRNS アカウントを登録します。

登録に成功すると、「登録済」というメッセージが表示されます。



This screenshot shows the same 'DVRNS' registration interface after a successful registration. The 'ID' field still shows '2FDA4A' and the password field is masked. The text at the bottom left now reads 'DVRNS登録：登録済' (DVRNS Registration: Registered) in green, and this entire line is highlighted with a red rectangular box. The '登録' (Register) button remains at the bottom right.

DVRNS ID を使用しての遠隔接続方法については、「8.2 本機に遠隔接続する(p.152)」をご覧ください。

5.7.3 DDNS サービスについて

- 設定 > ネットワーク > DVRNS/DDNS > DDNS タブ



項目	効果・内容
DDNS サイト	DDNSサーバーを選択します。
ホスト名	接続時のDDNSホスト名を入力します。
ユーザー名	DDNSサーバーに登録したユーザー名を入力します。
ユーザーパスワード	DDNSサーバーに登録したパスワードを入力します。 << 注意 >> =□' / は禁止文字のため、パスワードに入力しないでください。

<< 注意 >>

本機で利用できる DDNS サービスは有償となります。

遠隔接続を行う場合は、DVRNS サービス(無償)をお使いください。

DVRNS サービスについては、「5.7.2 DVRNS/DDNS > DVRNS -DVRNS アカウントを登録する-(p.120)」をご覧ください。

5.7.4 Eメール > Eメール -メールサーバー情報を設定する / メール送信先を追加する-

➤ 設定 > ネットワーク > Eメール > Eメールタブ



イベント発生時に送信するメールを設定します。

イベント毎にメールの送信を行うかどうかは、「5.6 イベント(p.97)」で設定できます。

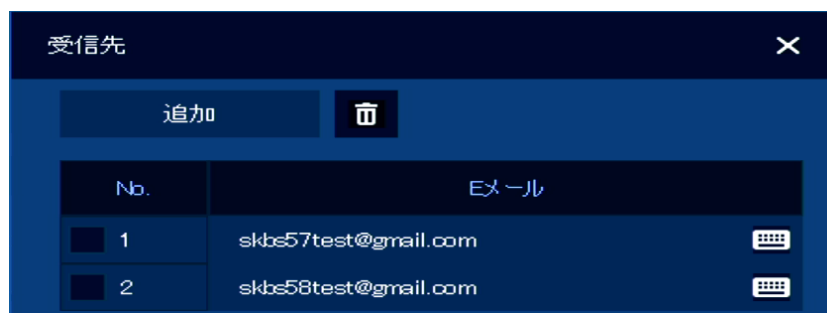
項目	効果・内容
サーバータイプ	メールサーバーを設定します。
アドレス/ポート	メールサーバーアドレスおよび使用ポート番号を設定します。
画像添付-JPEG	クリックすると、モーションまたはアラーム検知時のスナップショットを送信メールに添付します。 ※チェックが入っていると有効となります。
認証-有効・TLS/SSL	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合は、「有効」および「TLS/SSL」をクリックしてチェックを入れてください。
ID	使用するメールサーバーへのログインIDを設定します。
パスワード	使用するメールサーバーへのログインパスワードを設定します。 ＜＜ 注意 ＞＞ =□' / は禁止文字のため、パスワードに入力しないでください。
発信元	発信元メールアドレスを設定します。
受信先	送信先メールアドレスを設定します。  をクリックして、アドレスを追加/削除できます。 アドレス追加/削除の手順については、次ページをご覧ください。
受信先-テスト	送信先メールアドレスにテストメールを送信します。 ※正常にメールが受信できているか、必ずご確認ください。 ※テストメールが受信できない場合は、以下をご確認ください。 - 本機のネットワーク情報が正しく設定できているか - サーバーや送信先アドレス情報が正しく設定できているか

- メール送信先アドレスを追加/削除するには

1.  をクリックして、設定画面を表示します。



2. 「追加」をクリックして、「E メール」欄の  をクリックしアドレスを入力します。



送信先を複数登録する場合は、続けて「追加」をクリックしてアドレスを追加してください。

「No」欄のボックスをクリックしてチェックを入れ、 をクリックすることで登録済みアドレスを削除できます。

3. アドレス登録後、「適用」をクリックします。
4. 「保存」をクリックして、完了です。

5.7.5 ワープ > 登録 -ワープを設定する-

➤ 設定 > ネットワーク > ワープ > 登録タブ



本機のワープを利用して、本機以外の KB-SRIP04A/KB-SRIP08A/KB-SRIP32A の設定、ライブ映像、録画映像の再生を遠隔で操作することができます。

<< 注意 >>

KB-SRIP04A は、KB-SRIP08A および KB-SRIP32A には接続できません。

KB-SRIP08A は、KB-SRIP32A には接続できません。

また、本機能を使用してアクセス中のレコーダーでは、バックアップ機能を利用することはできません。

本機に表示される遠隔操作中のライブ映像および再生画像は、画面分割表示に関わらずサブストリームで表示されます。

項目	効果・内容
ワープ使用	ワープ機能の有効/無効を切替えます。
	ワープ先のアドレス情報を削除します。
レコーダー追加	ワープ先のレコーダーアドレスを追加します。 追加方法については、次ページをご覧ください。

- ワープ情報を追加するには

1. 「ワープ使用」のボックスをクリックして、チェックを入れます。

※チェックがある場合に本機能が有効となります。



2. 「レコーダー追加」をクリックします。



3. 「デバイスリスト」のアイコンをクリックします。

クリックすると、同一ネットワーク内に存在する本機を表示します。



リストから接続したい機器を選択すると、自動的に「名前」、「アドレス」、「TCP ポート」が入力されます。

4. 「ID」と「パスワード」に接続先のログイン ID とパスワードを入力します。



レコーダー追加

デバイスタイプ	自動検知
デバイスリスト	RecorderB(192.168.0.12)
名前	RecorderB
アドレス	192.168.0.12
TCPポート	10152
ID	admin
パスワード	*****

チェック

適用 閉じる

5. 「チェック」をクリックし、「接続成功 ワープ対応」と表示されていることを確認します。



レコーダー追加

デバイスタイプ	自動検知
デバイスリスト	RecorderB(192.168.0.12)
名前	RecorderB
アドレス	192.168.0.12
TCPポート	10152
ID	admin
パスワード	*****

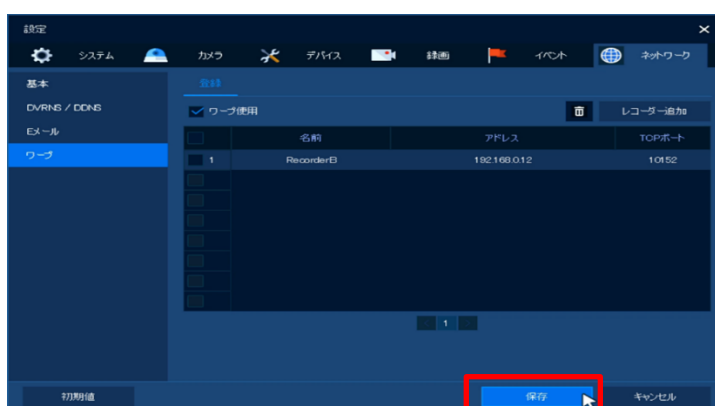
チェック

接続成功 ワープ対応

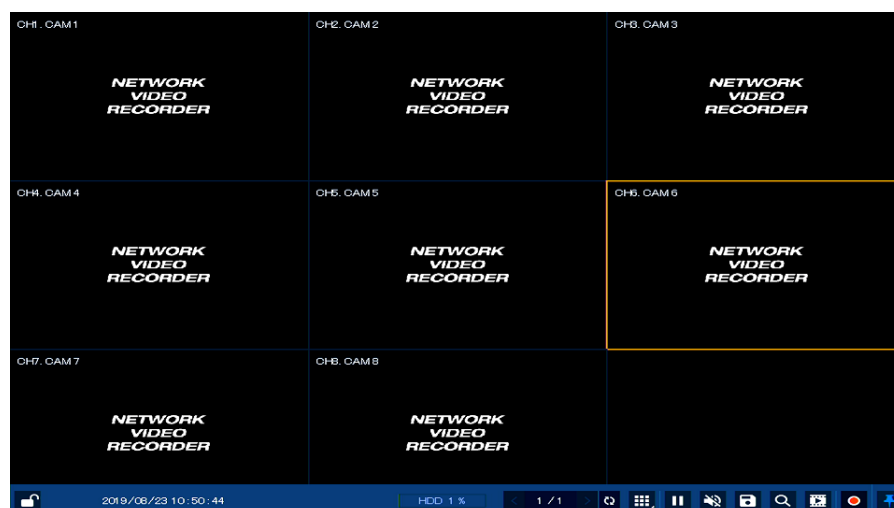
適用 閉じる

6. 「適用」をクリックし、追加画面を閉じます。

7. 登録画面にて「保存」をクリックします。



8. ライブ画面にてクイックメニュー内の「ワープ」をクリックして、接続先のレコーダーを選択するとワープ先の画面に切り替わります。



元のレコーダー画面に戻る場合は、制御中のレコーダーのライブ画面からクイックメニューを開き「ワープ」＞「ローカルに戻る」をクリックすると元のレコーダー画面に戻ります。

6. 検索と再生

本機に録画した映像を検索(サーチ)・再生を行います。

以下のいずれかの方法で検索画面に入ることができます。

- ステータスバーから検索画面へ

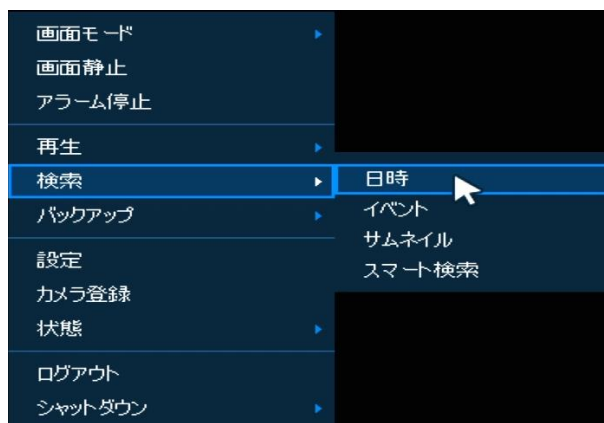


 をクリックすると、検索画面が表示されます。

ステータスバーから検索画面に移行した場合は、「日時検索」画面が自動的に表示されます。

- クイックメニューから検索画面へ

ライブ画面上で右クリックし、クイックメニューの「検索」から検索モードを選択できます。



日時 …… カレンダーやタイムラインから再生したい日時を検索できます。

イベント …… 指定した期間内に発生したイベントを検索できます。

サムネイル …… 指定した時間間隔で映像を一覧表示して検索できます。

スマート検索 …… 指定した時間および選択したエリア内でモーションを検知した時間帯のみをピックアップして検索します。

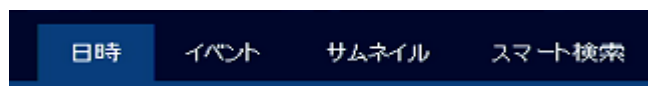
6.1 日時検索

➤ 検索 > 日時タブ



カレンダーとタイムバーを使用して録画映像を検索します。

1. 検索画面の「日時」タブをクリックします。



2. 画面左側のカレンダーから見たい映像の日付を選択します。

※録画映像がある日付は、緑文字で表示されます。

< カレンダーの操作・見方 >

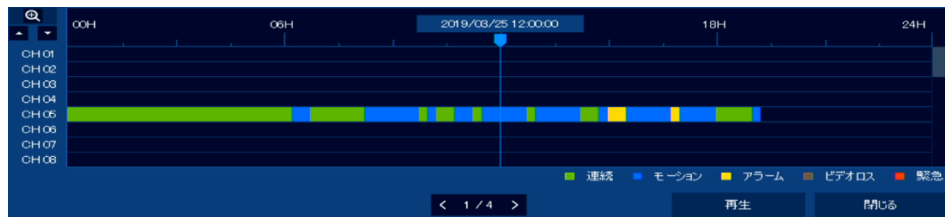
表示年を変更します。

表示月を変更します。



3. カレンダー上で日付を選択すると、画面下にタイムラインが表示されます。

ドラッグ & ドロップでタイムバーを移動させ、見たい映像の開始時間を選択してください。



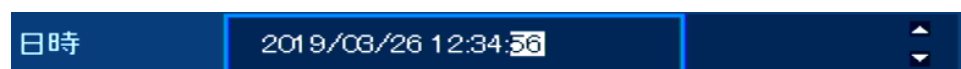
※タイムライン上では、映像のある時間帯が録画モードごとに色付きで表示されます。

アイコン	項目	効果・内容
—	連続(緑)	常時録画を行った範囲を表示します。
—	モーション(青)	モーション録画を行った範囲を表示します。
—	アラーム(黄)	アラーム録画を行った範囲を表示します。
—	ビデオロス(茶)	ビデオロス状態だった範囲を表示します。
—	緊急(赤)	緊急録画を行った範囲を表示します。
	—	タイムラインの表示範囲を変更します。
	CH 切り替え	検索対象のCHを切替えます。

※再生日時を細かく設定したい場合

再生する映像の日時が判明している場合は、直接日時を指定して再生を行うことができます。

- カレンダー右にある「日時」にて変更したい項目をクリックして、にて日時を設定します。



4. 検索日時設定後、「再生」をクリックすると、再生画面となり設定した時間からの録画映像を表示します。

再生画面での操作・見方については、「6.5 再生画面での操作・見方 (p.138)」をご覧ください。

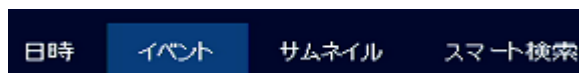
6.2 イベント検索

➤ 検索 ＞ イベントタブ



指定した時間帯に発生したイベントログを検索し、イベント発生時の録画映像を再生します。

1. 検索画面の「イベント」タブをクリックします。

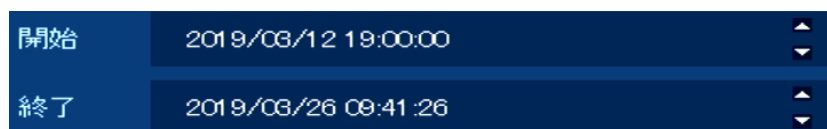


2. 「CH 選択」にて検索を行う CH を選択します。
「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。



チェックの入った CH が検索対象となります。

3. 「開始」および「終了」にて検索開始点/終了点となる日時を指定します。



年・月・日・時・分・秒をクリックし、上下アイコンにて数値を変更してください。

4. 「イベント」にて検索対象とするイベントを選択します。

「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。

イベント		全て選択解除
☒ 緊急	☒ モーション	☒ アラーム入力
☒ ビデオロス		

- 緊急 : 緊急録画を開始したログを検索します。
- モーション : モーション検知が発生したログを検索します。
- アラーム入力 : アラーム入力を検出したログを検索します。
- ビデオロス : ビデオロスを検出したログを検索します。

5. 各項目設定後、「検索」をクリックします。

検索完了後、画面右側に検索結果リストが表示されます。

検索			
Nb.	CH	イベント時刻	イベント
1	CH 9	2019/03/14 12:04:27	緊急
2	CH 15	2019/03/14 12:04:27	緊急
3	CH 9	2019/03/14 12:30:59	緊急
4	CH 15	2019/03/14 12:31:00	緊急
5	CH 9	2019/03/14 12:32:52	ビデオロス
6	CH 9	2019/03/14 19:23:39	アラーム入力
7	CH 15	2019/03/14 19:23:40	アラーム入力
8	CH 9	2019/03/14 19:25:36	アラーム入力
9	CH 15	2019/03/14 19:25:36	アラーム入力
10	CH 9	2019/03/15 13:21:55	アラーム入力
◀ 1 2 3 4 5 ▶▶			

※イベント発生前後に録画映像がない場合は、検索結果リストに表示されません。

6. 検索結果から再生したい項目をクリックします。

Nb.	CH	イベント時刻	イベント
1	CH 9	2019/03/14 12:04:27	緊急

選択した項目は、緑色で表示されます。

7. ログ選択後、「再生」をクリックすると、再生画面となりイベント発生時の録画映像を表示します。

再生画面での操作・見方については、「6.5 再生画面での操作・見方(p.138)」をご覧ください。

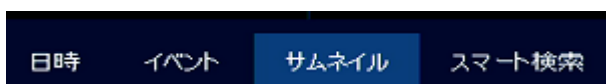
6.3 サムネイル検索

➤ 検索 ＞ サムネイルタブ



CH ごとにサムネイル一覧を表示して録画映像の検索できます。

1. 検索画面の「サムネイル」タブをクリックします。



2. 画面左側のカレンダーから見たい映像の日付を選択します。

※カレンダーの操作・見方については、「6.1 日時検索 手順 2(p.130)」をご覧ください。

3. カレンダー左側の項目を下記のように設定します。



- CH ... サムネイル検索を行う CH を選択します。
 - 日時 ... 表示するサムネイルの開始日時を設定します。
 - 間隔 ... 表示する時間間隔を選択します。
 - プレビュー ... クリックすると現在の設定内容でサムネイル表示画面にプレビュー表示を行います。
4. 各項目を設定後、「再生」をクリックすると、サムネイル表示画面にて設定した時間からの録画映像を表示します。



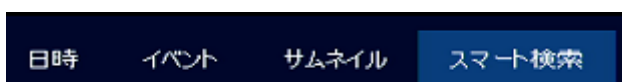
6.4 スマート検索

➤ 検索 > スマと検索タブ

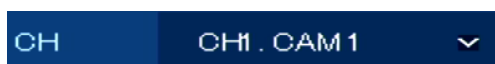


指定した時間および選択したエリア内でモーションを検知した時間帯のみをピックアップして検索します。

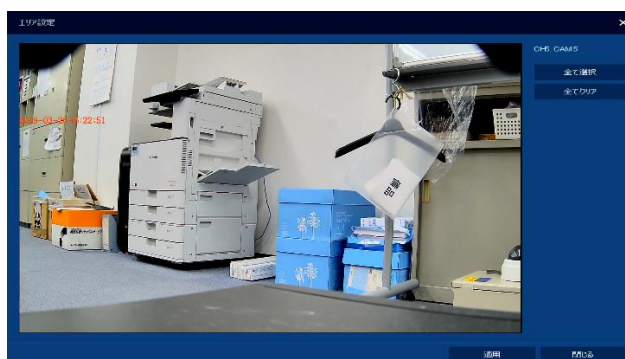
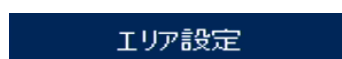
1. 検索画面の「スマート検索」タブをクリックします。



2. 「CH」にて検索を行う CH を選択します。



3. 「エリア設定」にて検索する検知エリアを設定します。



映像表示画面上でドラッグ & ドロップすることで検出範囲を設定できます。

- 選択 … 選択した範囲を検出エリアとして設定します。(ドラッグ & ドロップ操作時に選択可)
有効範囲は、赤枠で表示されます。
- クリア … 選択した範囲を非検出エリアとして設定します。(ドラッグ & ドロップ操作時に選択可)
有効範囲は、枠なしで表示されます。
- 反転 … 選択した範囲の有効/無効を逆転させます。(ドラッグ & ドロップ操作時に選択可)
- 全て選択 … 一括で全領域を検出範囲に設定します。
- 全てクリア … 一括で全領域を非検出範囲に設定します。
- 適用 … 現在の設定内容を保存します。
- 閉じる … 設定を保存せずに前の画面に戻ります。

4. 「開始」および「終了」にて検索開始点/終了点となる日時を指定します。

開始	2019/03/12 19:00:00	▲▼
終了	2019/03/26 09:41:26	▲▼

5. 各項目設定後、「検索」をクリックします。

検索完了後、画面右側に検索結果リストが表示されます。

検索	
↓	
No.	イベント時刻
1	2019/03/25 14:59:53
2	2019/03/25 15:00:05
3	2019/03/25 15:00:32
4	2019/03/25 15:00:50
5	2019/03/25 15:06:24
6	2019/03/25 15:08:28
7	2019/03/25 15:10:00
8	2019/03/25 15:10:54
9	2019/03/25 15:11:39
10	2019/03/25 15:20:53
< 1 2 3 4 5 >	

6. 検索結果から再生した項目をクリックします。

No.	イベント時刻
1	2019/03/25 14:59:53

選択した項目は、緑色で表示されます。

7. 各項目設定後、「再生」をクリックすると、再生画面に切り替わり設定した時間からの録画映像を表示します。

再生画面での操作・見方については、「6.5 再生画面での操作・見方 (p.138)」をご覧ください。

6.5 再生画面での操作・見方

6.5.1 各種アイコンのはたらき

再生画面内では、録画映像や再生・停止アイコンなどさまざまなアイコンが表示されています。

各アイコンと内容については、以下をご覧ください。

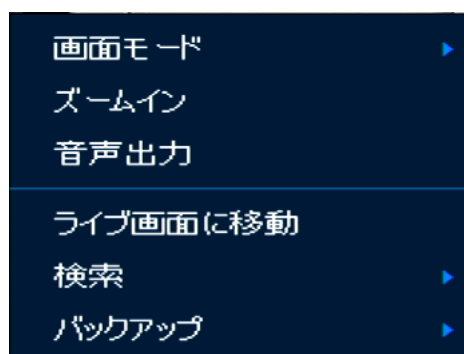


アイコン	効果・内容
	現在の動作状況を表示します。
日時	再生時刻を表示します。
	一番古い録画データの開始時点へジャンプします。
	早戻しを行います。 クリックするごとに早戻し速度を変更できます。 ※早戻しは、コマ飛ばしの再生になります。 ※倍速の数値はあくまで目安であり、再生速度を保証するものではありません。
	再生速度を減速します。 クリックするごとに再生速度を変更できます。 一時停止中にクリックすると、1コマ前の映像に戻ります。
	逆方向への再生を行います。 ※逆再生は、コマ飛ばしの再生になります。
	正方向への再生または一時停止を行います。 クリックするごとに動作が切り替わります。
	逆再生速度を減速します。 クリックするごとに再生速度を変更できます。 一時停止中にクリックすると、1コマ後の映像に進みます。
	倍速再生します。 クリックするごとに再生速度を変更できます。 ※倍速の数値はあくまで目安であり、再生速度を保証するものではありません。
	一番新しい録画データの開始時点へジャンプします。
	表示CHを変更します。
	画面の分割表示を切替えます。

アイコン	効果・内容
	検索画面に戻ります。
	ライブ画面に戻ります。
	タイムラインの表示/非表示を切替えます。
	ステータスバーの常時表示/自動非表示を切替えます。 非表示中は、マウスカーソルを画面下へ移動させることで、ステータスバーを再表示できます。

6.5.2 再生画面でのクイックメニュー操作

再生画面上で右クリックするとクイックメニューが表示されます。



項目	効果・内容
画面モード	分割表示数を変更できます。
ズームイン	選択したCHでデジタルズームを行えます。 1画面表示中にのみ選択可能です。
音声出力	録音データがある場合、映像と共に出力します。
ライブ画面に移動	ライブ画面に戻ります。
検索	検索モードを選択できます。
バックアップ	バックアップ画面に移行します。 バックアップ手順については、「7. バックアップ (p.140)」をご覧ください。

7. バックアップ

本機に録画した映像を USB メモリーへバックアップを行います。

以下のいずれかの方法でバックアップ画面に入ることができます。

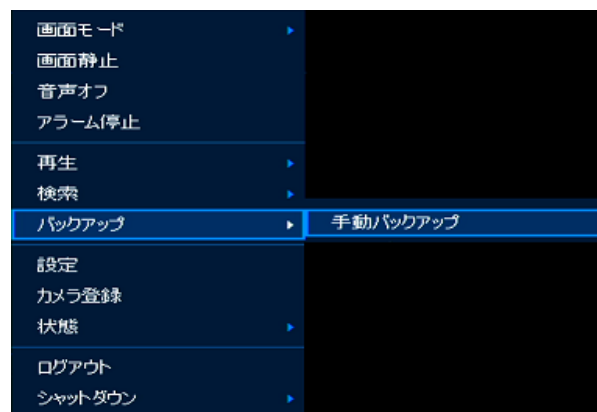
- ステータスバーからバックアップ画面へ



 をクリックすると、バックアップ画面が表示されます。

- クイックメニューからバックアップ画面へ

ライブ画面上で右クリックし、クイックメニューの「バックアップ > 手動バックアップ」をクリックします。



- 録画映像の再生画面からバックアップ画面へ

再生画面の映像表示エリア上で右クリックし、クイックメニューの「バックアップ > 手動バックアップ」をクリックします。



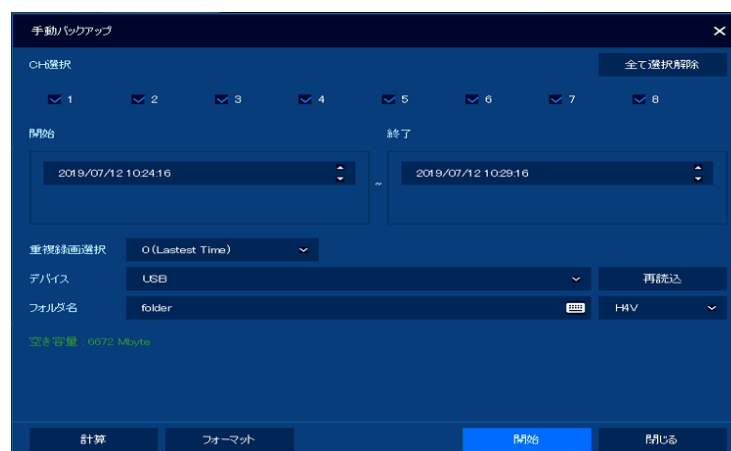
7.1 バックアップを行う

下記の手順に沿って録画映像のバックアップを行ってください。

<< 注意 >>

バックアップを行う際は、あらかじめ USB メモリーを本機の USB ポートへ接続してから行ってください。
また、本機に接続する USB メモリーのファイルシステムは、「FAT32」に設定した上でご使用ください。
NTFS などその他ファイルシステムで構築されている場合、本機ではご使用になれません。

1. p.124 を参照し、バックアップ画面を開きます。

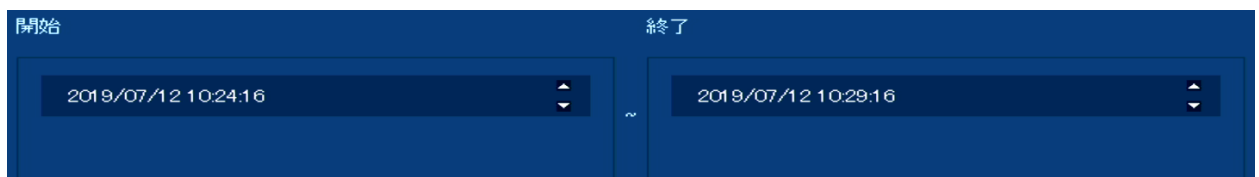


2. 「CH 選択」にてバックアップを行うチャンネルを選択します。
ボックスにチェックの入った CH がバックアップ対象となります。



「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。

3. 「開始」と「終了」にてバックアップを行う期間を設定します。



年月日時分秒のカテゴリーをクリックし、上下アイコンで数値を調整してください。

4. 「デバイス」に「USB」と表示されていることを確認します。



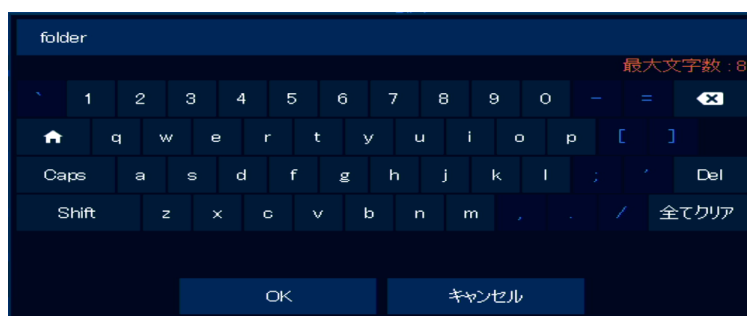
表示されていない場合は、「再読込」をクリックしてください。

5. 「フォルダ名」にてバックアップしたフォルダ名を設定します。



 をクリックして、バーチャルキーボード上の文字をクリックしてフォルダ名を入力してください。

最大 8 文字まで入力できます。



入力後は、「OK」をクリックしてバーチャルキーボードを閉じてください。

6. バックアップデータの形式を選択します。

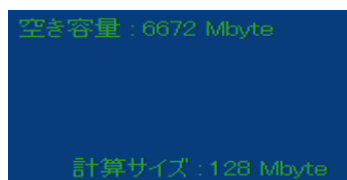


- H4V … バックアップデータを専用のアプリケーションとしてバックアップします。
- AVI … 汎用形式としてバックアップします。

7. 画面左下の「計算」をクリックします。



バックアップデータの総容量が表示されます。



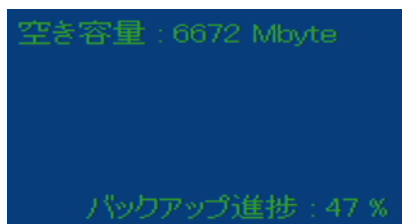
保存先 USB メモリーに空き容量があることを確認してください。

「フォーマット」をクリックすると、保存先 USB メモリー内のデータを全て消去します。

USB メモリー内の全てのデータが削除されますので、ご注意ください。

8. 「開始」をクリックします。

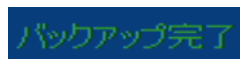
クリックすると、バックアップを開始します。



<<注意>>

バックアップ中は、絶対に USB メモリーを取り外したり、本機の電源を落とさないでください。

9. 「バックアップ完了」と表示されたらバックアップ完了です。



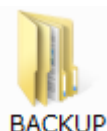
USB メモリーを本機から取り外してください。

7.2 バックアップデータを再生する

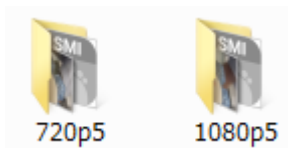
バックアップした映像データは、お使いの PC にて再生が可能です。

動作確認済み OS は、Windows7 / 8.1 / 10 です。

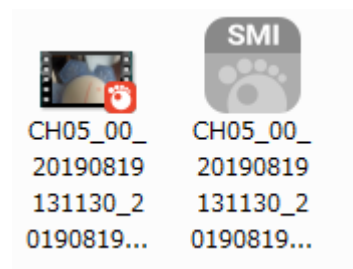
バックアップデータが入ったメディアを PC にて展開すると、以下のようなフォルダが作成されています。



このフォルダ内には、バックアップ時に設定したフォルダ名ごとに作成されています。



上記ファイル内に CH 毎の録画データが保存されています。



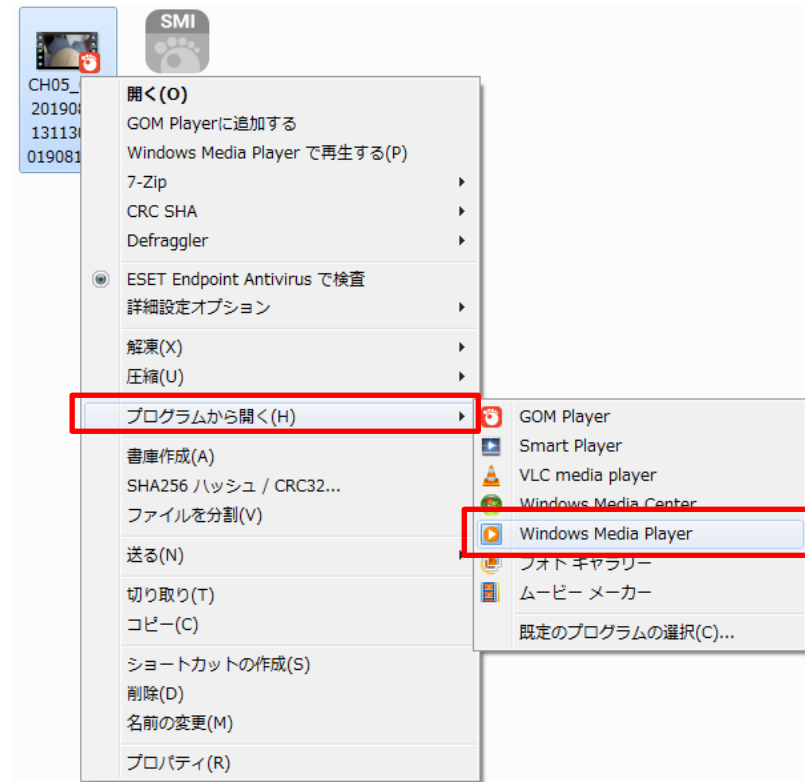
録画データの名前は、「CH 番号_00_映像開始点の年月日時分秒_映像終了点の年月日時分秒_カメラタイトル」となっています。

録画データの形式は、バックアップ時に選択したファイル形式によって異なり、再生方法も異なります。

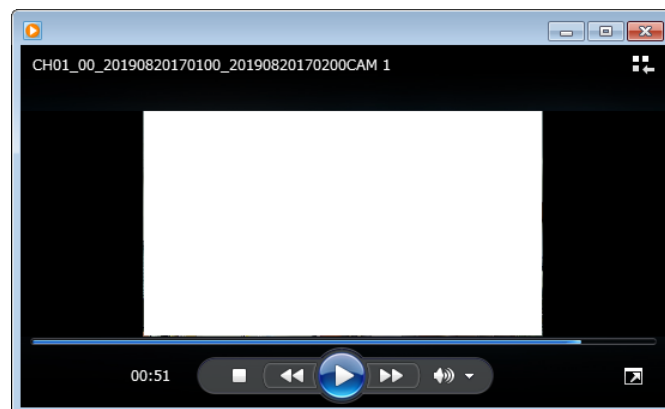
- H4V の場合 … Windows Media Player などの再生プレイヤーを使用せず、録画データをアプリケーションとして起動しバックアップ映像を再生できます。
- AVI の場合 … 汎用のデータ形式となります。映像を再生するには、Windows Media Player などの再生プレイヤーが必要になります。

7.3 Windows Media Player で再生する

1. AVI 形式でバックアップした録画データファイルを右クリックし、「プログラムから開く」>「Windows Media Player」の順に選択して、プレイヤーを起動してください。



2. バックアップ映像が再生されます。



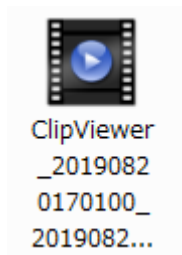
<< 注意 >>

Windows Media Player で再生できない場合は、VLC Media Player をご使用ください。
インストール手順については「8.6.1 VLC Media Player をインストールする(p.170)」をご覧ください。

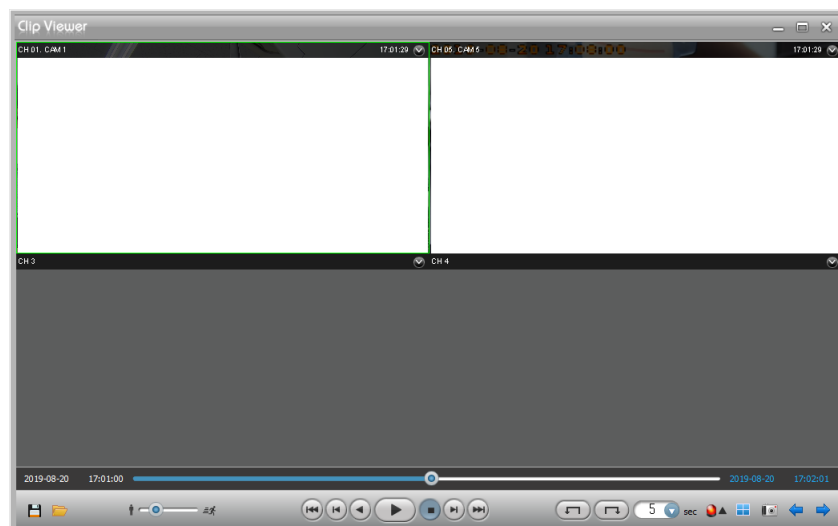
7.4 ClipViewer で再生する

H4V 形式でバックアップした録画データは、汎用プレイヤーを使わずに再生することができます。

H4V 形式でバックアップした録画データ名は、「ClipViewer_映像開始点の年月日時分秒_映像終了点の年月日時分秒」となります。

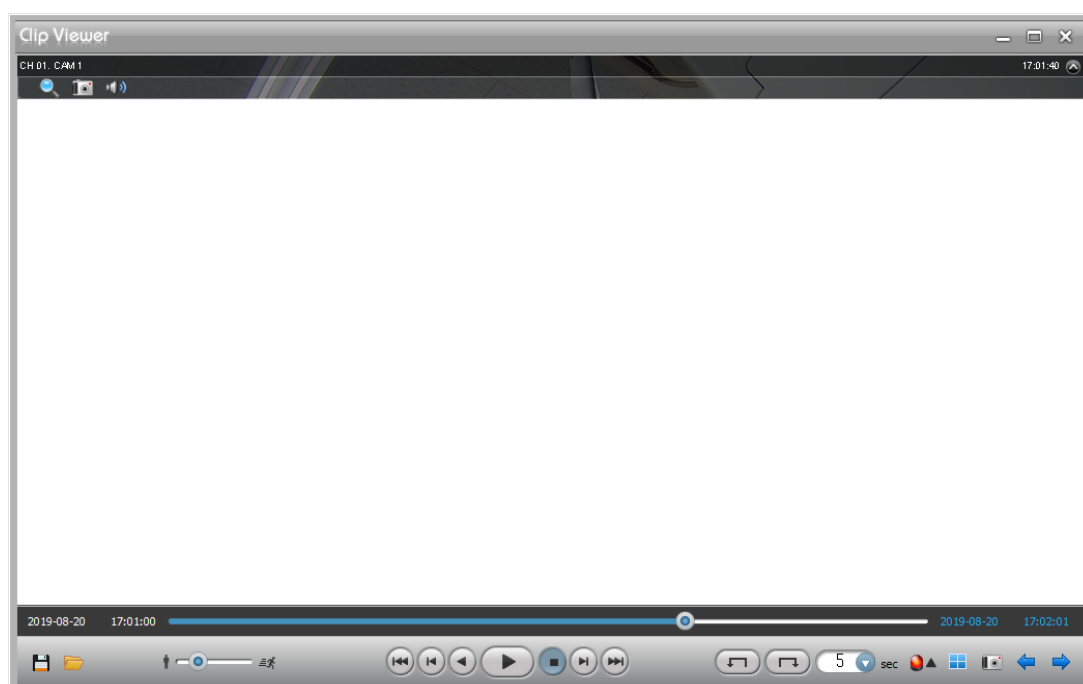


1. ClipViewer をダブルクリックすると、アプリケーションが起動しバックアップ映像を再生します。



2. 再生プレイヤーの操作方法は「7.4.1 ClipViewer での操作・見方 (p.147)」をご覧ください。

7.4.1 ClipViewer での操作・見方



アイコン	効果・内容
	CH番号とカメラタイトルを表示します。
	バックアップ映像の時刻を表示します。
	オプションアイコンを表示します。
	オプションアイコン① デジタルズームが行えます。 アイコンをクリックし、映像上で任意のエリアをドラッグ＆ドロップすることで拡大表示できます。
	オプションアイコン② 映像のスナップショット(静止画)を取得します。 アイコンをクリックし、スナップショットの保存場所を指定してください。
	オプションアイコン③ 音声データを再生します。
	バックアップ映像の中から指定した期間を外部出力します。 外部出力した映像データはWindows Media Playerなどで再生できます。
	再生したいバックアップ映像を選択できます。
	を動かすことで映像の再生速度を調整できます。

アイコン	効果・内容
	先頭のコマに移動します。
	クリックする度に1コマ巻戻します。 再生中の場合は、一時停止状態になります。
	逆再生します。
	再生します。
	一時停止します。
	クリックする度に1コマ再生します。 再生中の場合は、一時停止状態になります。
	最後のコマに移動します。
	指定した秒数だけ再生時点に移動します。 5secとした場合、5秒後(前)の映像に移動します。
	使用できません。
	分割表示数を変更します。
	映像のスナップショット(静止画)を取得します。 アイコンをクリックし、スナップショットの保存場所を指定してください。
	表示チャンネルを切替えます。

8. PC からの遠隔接続

PC を用いて遠隔地から本機へアクセスします。

PC 側の操作でライブ映像確認、検索・再生などの操作を行うことができます。

1 台のレコーダーに対し、最大 10 台のパソコンから同時接続が可能です。

<< 注意 >>

最大同時接続数に対して、制限する機能はありません。11 台以上接続すると、本機とブラウザの動作が遅くなったり、再起動するなど正常に動作しなくなる場合がありますのでご注意ください。

項目	推奨 PC スペック
OS	Microsoft® Windows® 10 x86(64bit) (Home Premium, Professional, Ultimate) 以上 Microsoft® Windows® 8(pro, Enterprise) 以上
CPU	Intel Core™ i5-2550 3.30GHz 以上
RAM	2GB 以上 (32bit)、4G 以上 (64bit)
VGA	ATI Radeon™ HD 3650 または NVIDIA GeForce 8400GS 以上 (1280x1024, 32bpp 以上)
HDD	6GB 以上の空き容量
LAN	1000BASE-T 以上

<< 注意 >>

本機は IPv4 のみ対応しており、IPv6 には対応していません。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel は、Intel Corporation の登録商標です。

その他の製品名および社名は、各社の商標または登録商標です。

8.1 遠隔接続する前に

本機に遠隔接続するには、お使いの PC に Java プログラムをインストールしておく必要があります。

以下の手順で、アクセスに必要なプログラムをインストールしてください。

1. ブラウザを起動し、下記アドレスにアクセスします。

<http://www.java.com/ja/download>



2. 「無料 Java のダウンロード」をクリックします。

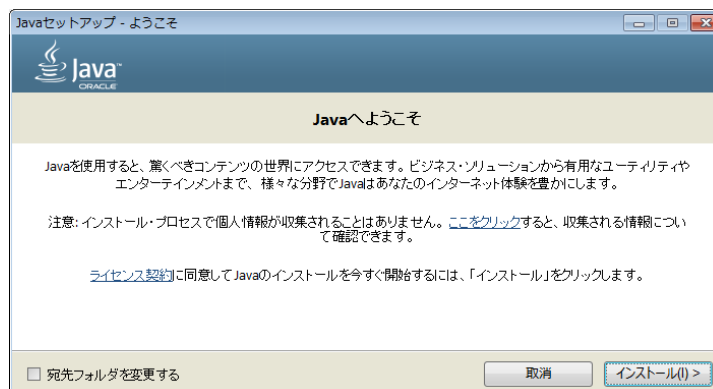


3. 「同意して無料ダウンロードを開始」をクリックします。

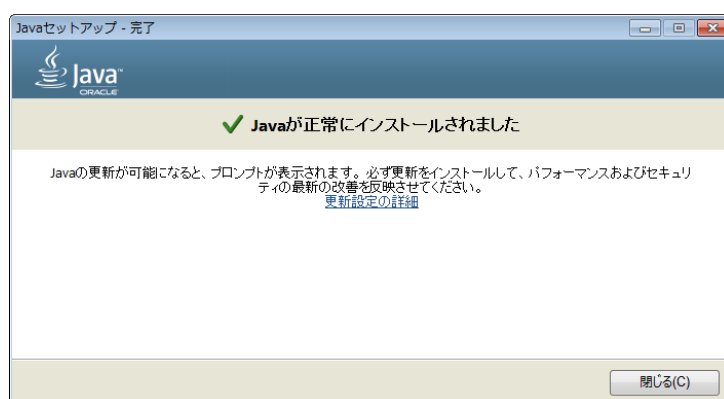


クリック後、自動的にダウンロードが始まります。

4. ダウンロードしたプログラムを起動し、画面の指示に従ってインストールします。



5. インストール完了画面が表示されたら、「閉じる」をクリックして完了です。



8.2 本機に遠隔接続する

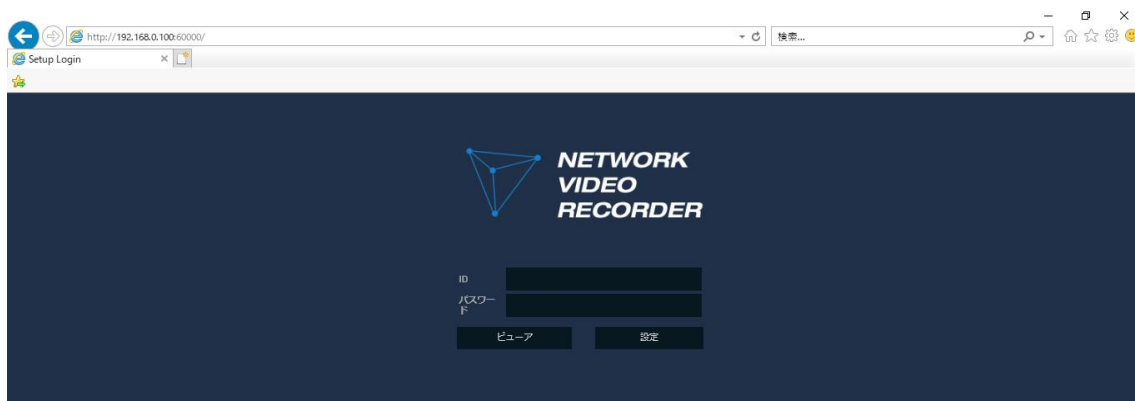
本機に遠隔接続するには、お使いの PC に最新版 Java プログラムがインストールされている必要があります。インストール手順については、「8.1 遠隔接続する前に(p.150)」をご覧ください。

また、WEB ブラウザでアクセスする際は、「Internet Exploere 11」をお使いください。

8.2.1 ローカル接続をする場合

本機がネットワークにつながっていない場合や、PC と本機が同一ネットワーク内にある場合は、下記手順で本機に接続できます。

1. ブラウザを起動し、本機のネットワークアドレスおよびポート番号を入力し、検索します。
検索後、ログイン画面に切り替わります。



2. 本機の「ID」および「パスワード」を入力します。



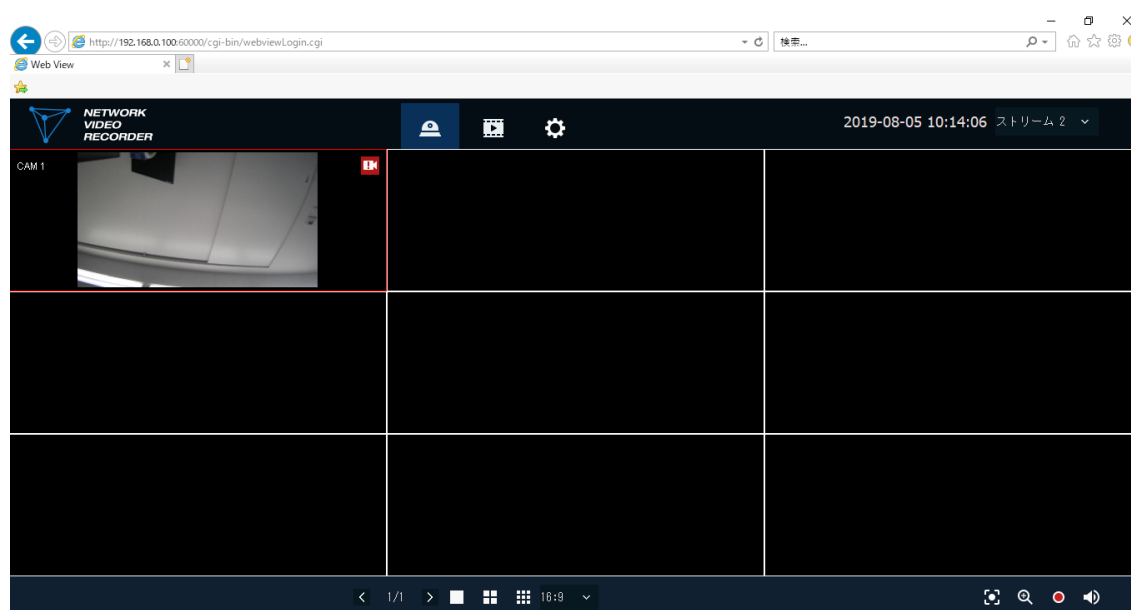
3. ID とパスワードを入力後、「ビューア」をクリックしてログインします。

ログイン後、お使いの PC によっては、Java アプリケーション実行の確認画面が表示される場合があります。

確認画面が表示されたら、「実行」をクリックしてください。



4. ログインに成功するとライブ画面に切り替わります。



※ログイン時に「設定」をクリックすると、本機のシステム設定画面に切り替わります。

設定内容については、「5. 各種設定 (p.50)」をご覧ください。

<< 注意 >>

本体のメニュー設定に対し、上記設定画面からは一部設定できない項目があります。

5. 遠隔接続時のライブ画面での操作方法については、「8.3 ライブ画面の操作・見方 (p.157)」をご覧ください。

8.2.2 DVRNS ID を使って接続する場合

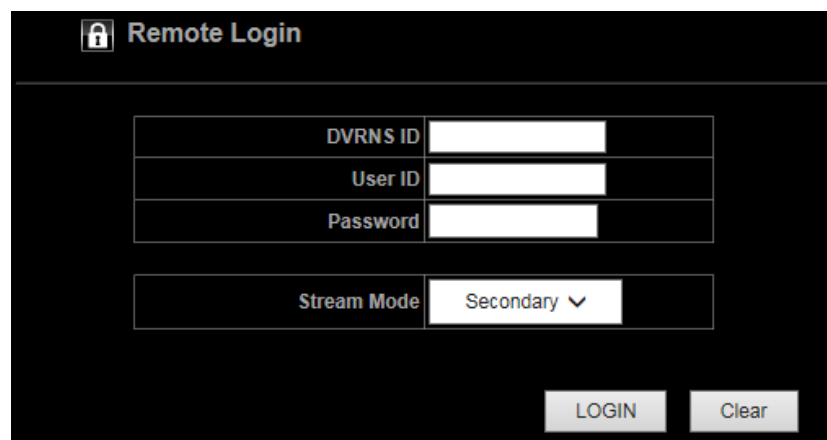
DVRNS アカウントを登録している場合は、遠隔接続時の手順が容易になります。

DVRNS アカウントの登録方法については、「5.7.2 DVRNS/DDNS > DVRNS -DVRNS アカウントを登録する-(p.120)」をご覧ください。

1. ブラウザを起動し、下記アドレスにアクセスします。

<http://securityddns.com>

2. 下記必要事項を入力し、「LOGIN」をクリックします。

A screenshot of a web form titled "Remote Login" with a lock icon. The form has a dark background with white text and input fields. It contains four input fields: "DVRNS ID", "User ID", "Password", and "Stream Mode". The "Stream Mode" field is a dropdown menu currently showing "Secondary". At the bottom right, there are two buttons: "LOGIN" and "Clear".

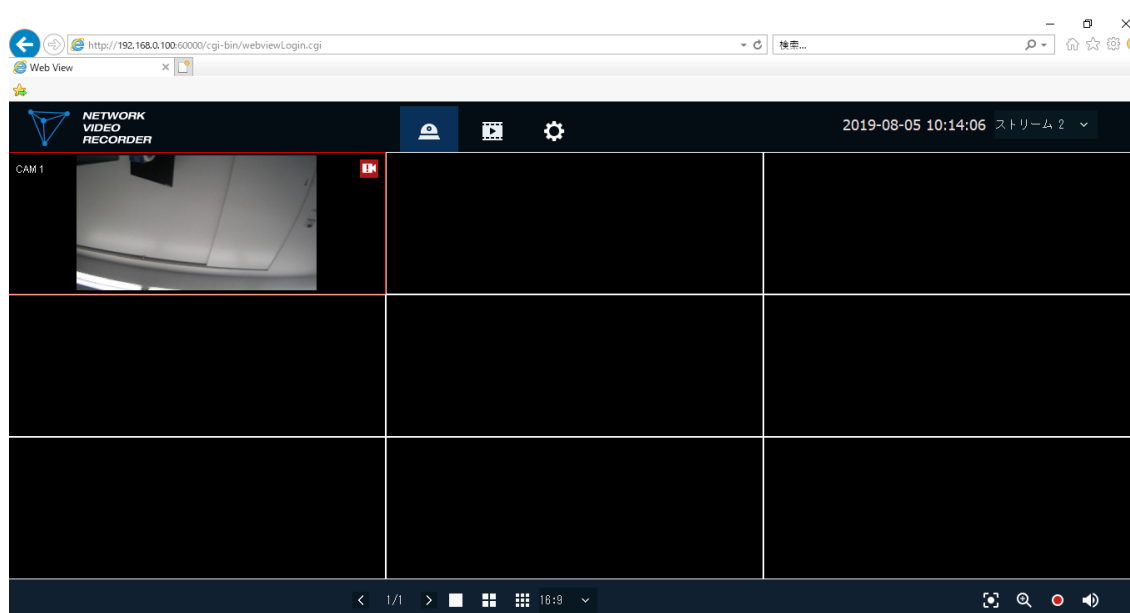
Remote Login	
DVRNS ID	
User ID	
Password	
Stream Mode	Secondary ▼
LOGIN Clear	

- DVRNS ID ... 登録済みの DVRNS ID を入力します。
- User ID ... 本機へのログイン ID を入力します。
- Password ... 本機へのログインパスワードを入力します。
- Stream Mode ... 「Primary」を選択してください。

3. Java アプリケーション実行の確認画面が表示されたら、「実行」をクリックします。

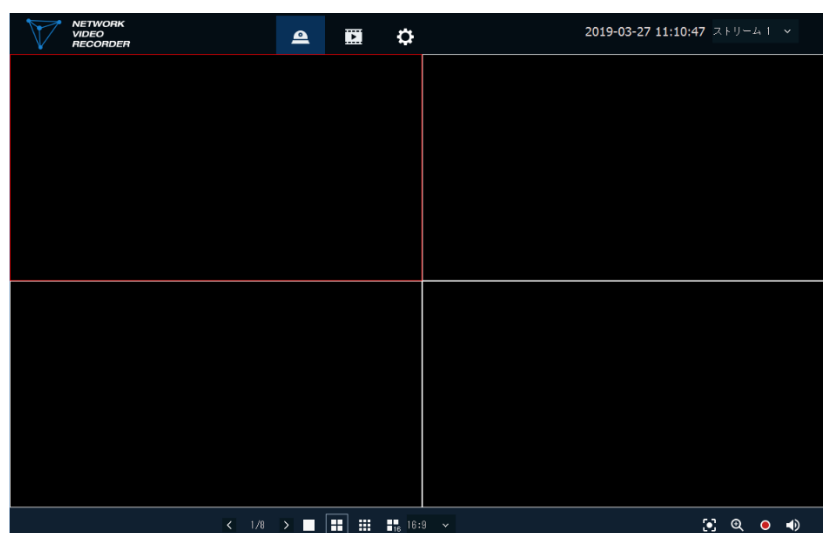


4. 実行後、ライブ画面が表示されます。



5. 遠隔接続時のライブ画面での操作方法については、「8.3 ライブ画面の操作・見方 (p.157)」をご覧ください。

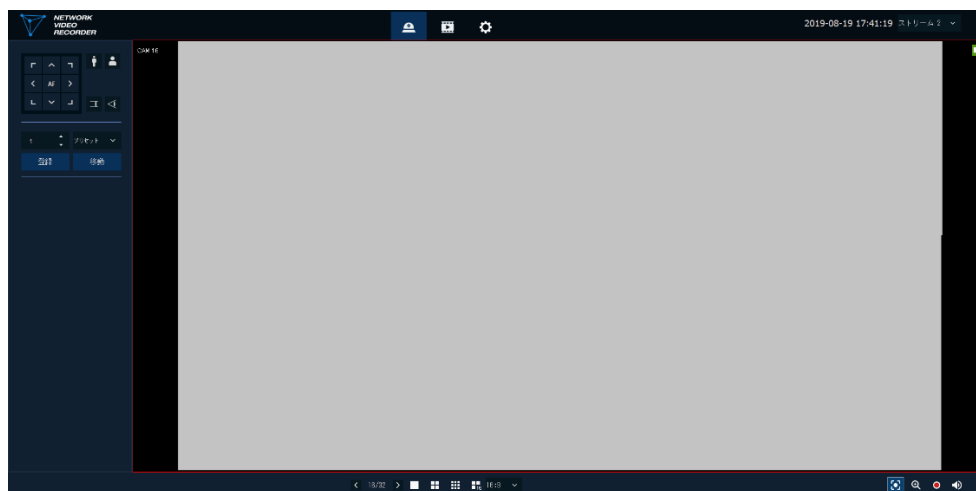
8.3 ライブ画面の操作・見方



アイコン	効果・内容
	ライブ画面に移行します。 各CH表示エリア内に表示されるアイコンについては、「4.1 映像表示エリアのアイコン一覧 (p.39)」をご覧ください。
	録画映像の検索・再生画面に移行します。
	本機の設定画面に移行します。 各設定内容については、「5. 各種設定 (p.50)」をご覧ください。
2019-03-27 12:23:51	現在の日時を表示します。
ストリーム 1 ▼	現在の配信ストリームを表示します。 プルダウンから使用ストリームを変更できます。
< >	CH表示を切替えます。
	分割表示数を切替えます。
16:9 ▼	映像表示エリアのアスペクト比を切替えます。
	PTZ操作画面に移行します。 詳しくは、「8.3.1 PTZコントロールモード (p.158)」をご覧ください。
	デジタルズーム操作画面に移行します。 詳しくは、「8.3.2 デジタルズームモード (p.159)」をご覧ください。
	緊急録画の開始/終了を切替えます。
	スピーカーへの音声出力の有効/無効を切替えます。

8.3.1 PTZ コントロールモード

 をクリックすると、PTZ コントロールモードに切り替わります。

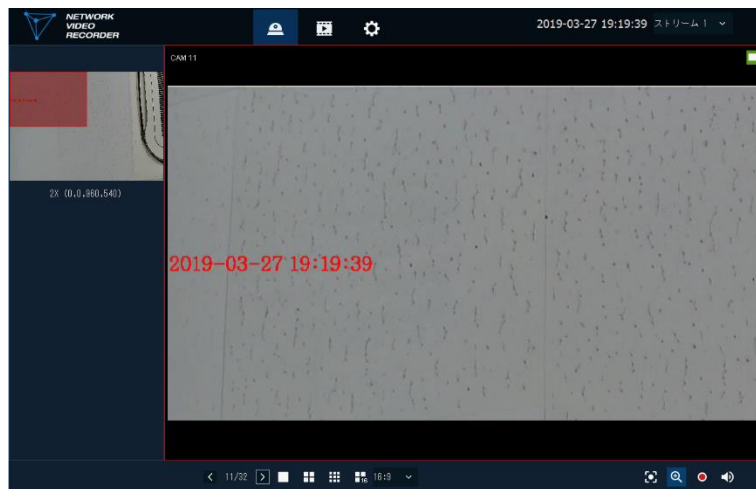


アイコン	効果・内容
	各アイコンの方向へPTZカメラの向きを調整します。
AF	フォーカスを自動調整します。
 ズームアウト	ズームアウト/ズームインします。
 ズームイン	
 フォーカス(近)	ピントを調整します。
 フォーカス(遠)	
	プリセット/ツアー/スキャン/パターンを登録し、登録済みの位置へ移動させます。

再度  をクリックすると、PTZ コントロールモードが終了します。

8.3.2 デジタルズームモード

ライブ画面上で任意の CH を選択し、 をクリックすると、デジタルズームモードに切り替わります。



画面左上のプレビュー画面内の赤枠部分が拡大表示エリアとなります。

赤枠部分は、マウスのドラッグ＆ドロップで自由に位置を移動できます。

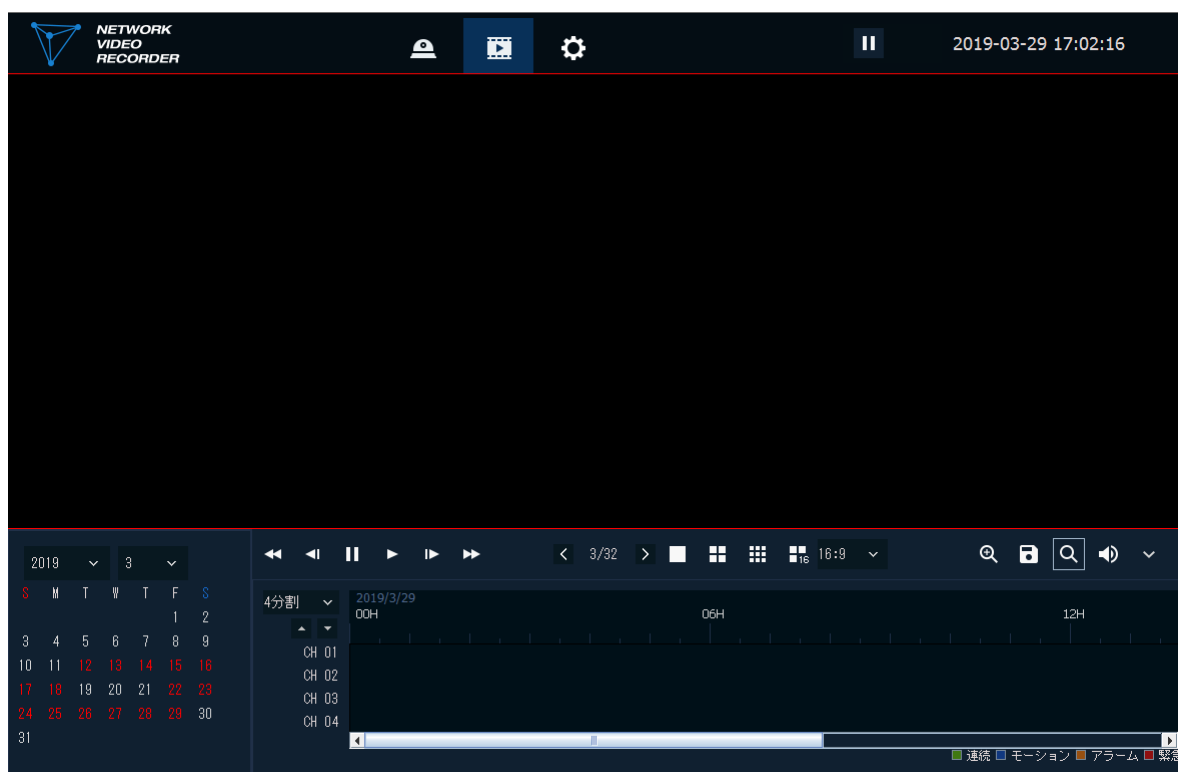
また、マウスホイールをスクロールすることで、倍率を変動できます。



再度  をクリックすると、デジタルズームモードが終了します。

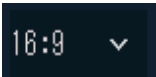
8.4 検索・再生

ブラウザ画面上の  をクリックすると、検索・再生画面に切り替わります。



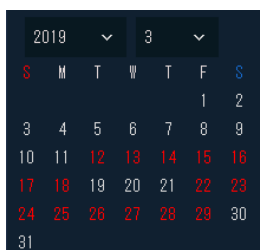
8.4.1 検索・再生画面の操作・見方

アイコン	効果・内容
	ライブ画面に移行します。 各CH表示エリア内に表示されるアイコンについては、「4.1 映像表示エリアのアイコン一覧 (p.39)」をご覧ください。
	録画映像の検索・再生画面に移行します。
	本機の設定画面に移行します。
	現在の再生状態を表示します。
2019-03-27 12:23:51	録画の再生時間を表示します。
カレンダー	録画データのある日付を表示します。
タイムバー	録画データのある時間帯を表示します。
4分割 ▼	タイムバーの表示数を変更します。

アイコン	効果・内容
	録画映像を早巻戻しします。 クリックする度に巻戻し速度が変わります。
	録画映像を1コマ前に巻戻しします。 再生中にクリックすると、映像は一時停止状態になります。
	録画映像を一時停止します。
	録画映像を再生します。
	録画映像の1コマ次へ移動します。 再生中にクリックすると、映像は一時停止状態になります。
	録画映像を早送りします。 クリックする度に早送り速度が変わります。
	分割表示中の表示CHを切替えます。
	再生画面の分割表示数を変更します。
	録画映像の表示アスペクト比を変更します。
	録画映像をデジタルズームします。
	録画映像のバックアップを行います。 詳しくは、「8.5 遠隔接続時のバックアップ(p.167)」をご覧ください。
	イベントサーチを行います。 詳しくは、「8.4.3 イベントサーチを行う(p.164)」をご覧ください。
	録音データ再生のON/OFFを切替えます。
	タイムバーの表示/非表示を切替えます。

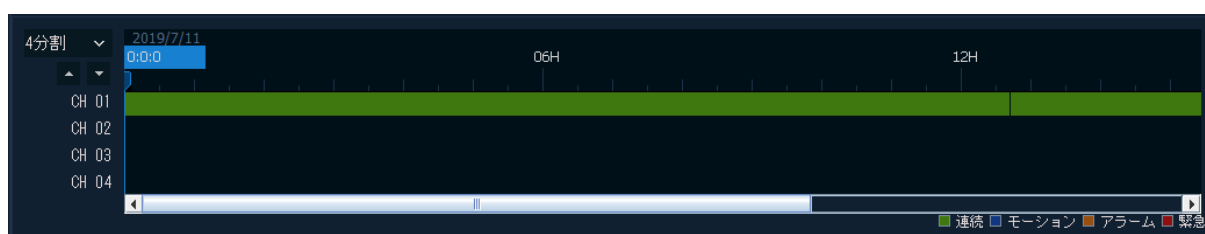
8.4.2 タイムサーチを行う

1. 画面左下のカレンダーにて、検索を行う日付を選択します。



記録データがある日は、赤文字で表示されます。

2. カレンダー上で日付を選択すると、画面下にタイムラインが表示されます。



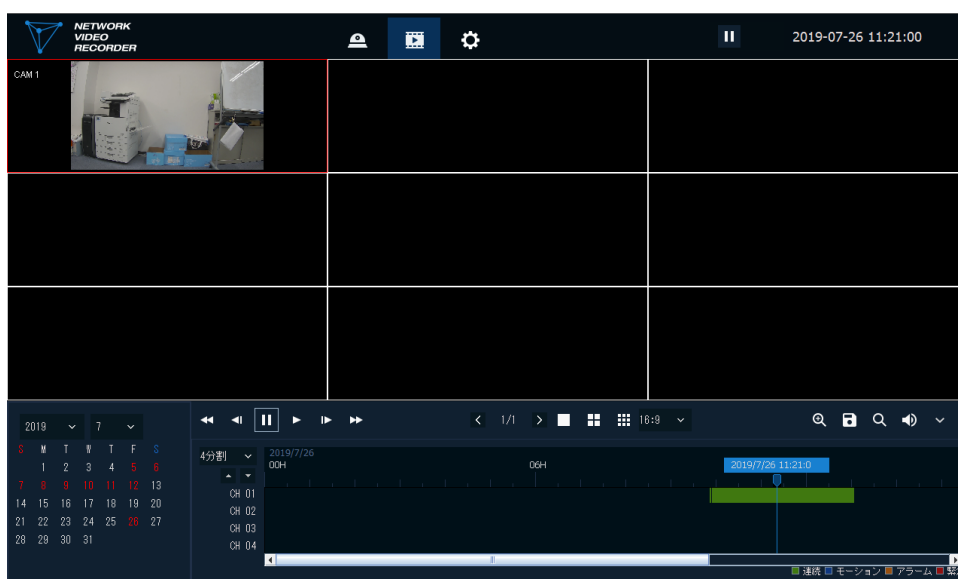
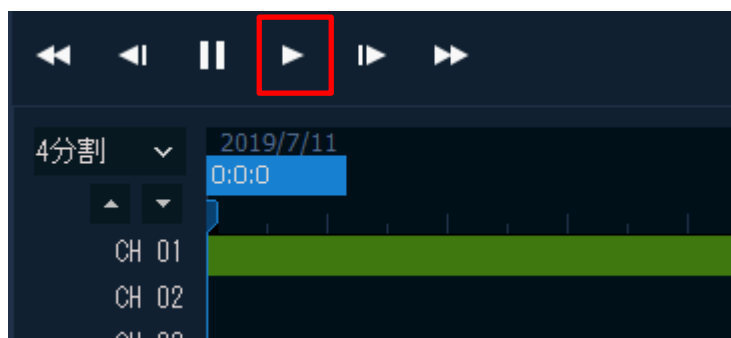
※タイムライン上では、映像のある時間帯が録画モードごとに色付きで表示されます。

アイコン	項目	効果・内容
—	連続(緑)	連続録画を行った範囲を表示します。
—	モーション(青)	モーション録画を行った範囲を表示します。
—	アラーム(茶)	アラーム録画を行った範囲を表示します。
—	緊急(赤)	緊急録画を行った範囲を表示します。
4分割 ▼ ▲ ▼		タイムライン上のCH表示数を変更します。

3. タイムライン上で開始したい地点をクリックします。

開始地点の映像が表示されます。

4. 再生アイコン  を押すと、録画映像の再生が始まります。

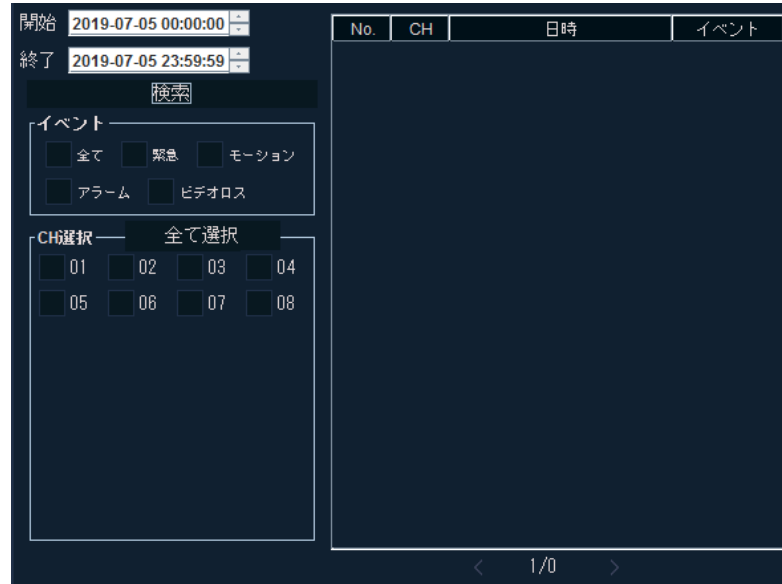


再生中の画面操作方法については、「8.4.1 検索・再生画面の操作・見方 (p.160)」をご覧ください。

8.4.3 イベントサーチを行う

1. 検索画面内の  をクリックします。

画面左側にイベントサーチ画面が表示されます。



開始 2019-07-05 00:00:00
終了 2019-07-05 23:59:59
検索

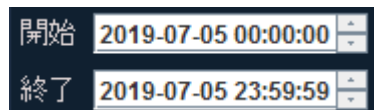
イベント
☐ 全て ☐ 緊急 ☐ モーション
☐ アラーム ☐ ビデオロス

CH選択 全て選択
☐ 01 ☐ 02 ☐ 03 ☐ 04
☐ 05 ☐ 06 ☐ 07 ☐ 08

No.	CH	日時	イベント
-----	----	----	------

1/0

2. 「開始」および「終了」にてイベントサーチを行う期間を設定します。



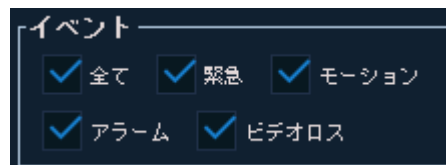
開始 2019-07-05 00:00:00
終了 2019-07-05 23:59:59

年月日時分秒の各セグメントをダブルクリックし、上下ボタンで時刻を変更できます。

<< 注意 >>

開始～終了期間は最大で 24 時間以内で設定してください。

3. 「イベント」欄にてサーチを行う条件を選択します。(複数選択可)



イベント
☒ 全て ☒ 緊急 ☒ モーション
☒ アラーム ☒ ビデオロス

- 全て … 全ての検索条件を一括で選択/非選択状態にできます。
- 緊急 … 緊急録画を行った映像を検索します。
- モーション … モーション録画を行った映像を検索します。
- アラーム … アラーム録画を行った映像を検索します。
- ビデオロス … ビデオロス発生時の映像を検索します。

4. 「CH 選択」にてサーチを行うチャンネルを選択します。(複数選択可)



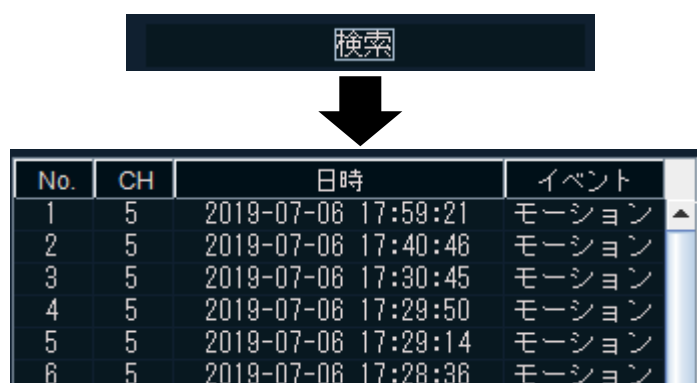
各 CH のボックスをクリックするとチェックが入ります。

チェックの入った CH が検索対象となります。

「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/非選択状態にできます。

5. 「検索」をクリックします。

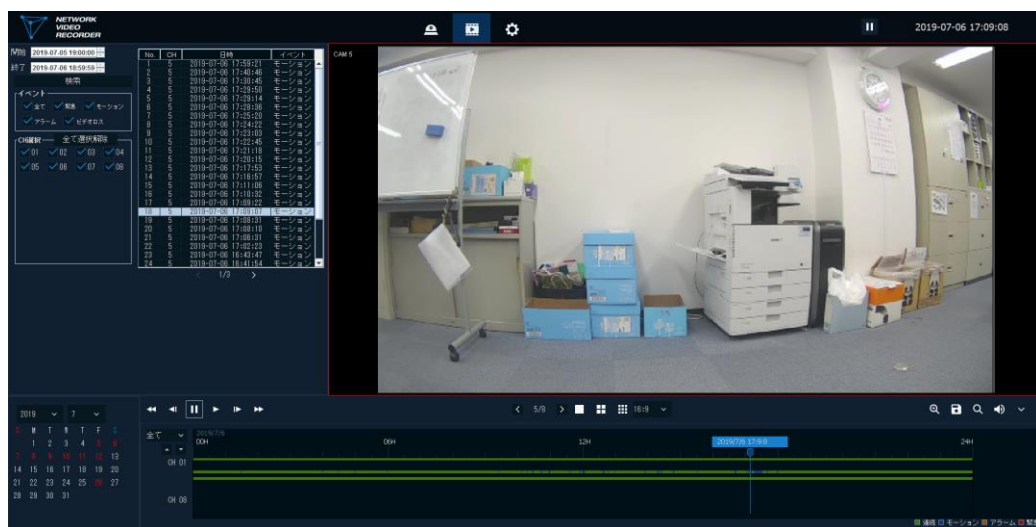
リストに検索結果が表示されます。



6. 検索リストから再生したい項目をダブルクリックします。

No.	CH	日時	イベント
1	5	2019-07-06 17:59:21	モーション
2	5	2019-07-06 17:40:46	モーション
3	5	2019-07-06 17:30:45	モーション
4	5	2019-07-06 17:29:50	モーション
5	5	2019-07-06 17:29:14	モーション
6	5	2019-07-06 17:28:36	モーション

7. 再生アイコン  をクリックします。



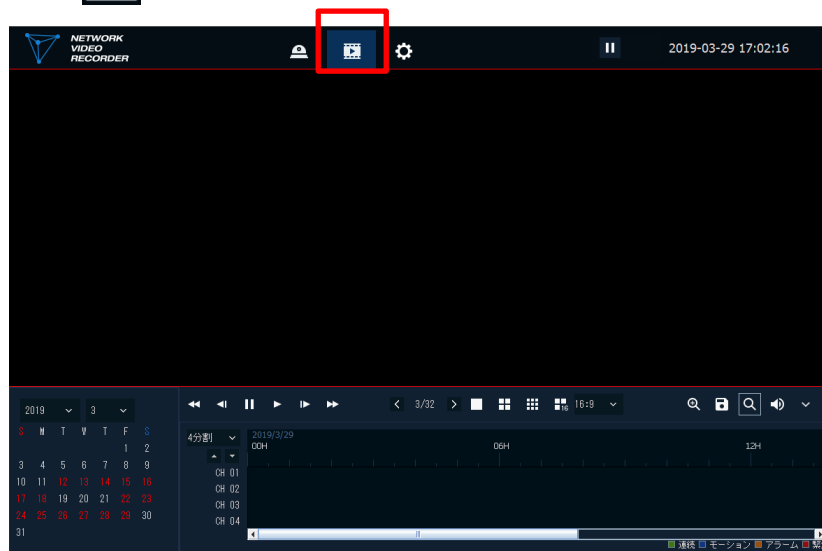
録画映像の再生が始まります。

再生中の画面操作方法については、「8.4.1 検索・再生画面の操作・見方 (p.160)」をご覧ください。

8.5 遠隔接続時のバックアップ

お使いの PC に録画映像のバックアップを行います。

1. ブラウザ画面上の  クリックし、検索・再生画面に切替えます。



2. 画面右下のバックアップアイコン  をクリックします。

画面左側にバックアップ設定画面が表示されます。

開始

2019-07-26 13:40:10

終了

2019-07-26 13:41:10

重複録画選択

リスト0

重複録画を取得する

チャンネル

全て選択

1

2

3

4

5

6

7

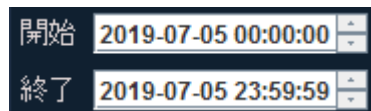
8

フォルダ

計算

開始

3. 「開始」および「終了」にてバックアップを行う期間を設定します。



年月日時分秒の各セグメントをダブルクリックし、上下ボタンで時刻を変更できます。

4. 「重複録画選択」および「重複録画を取得する」は本機では使用できません。

設定は変更しないでください。



5. 「チャンネル」欄にてバックアップを行うチャンネルを選択します。(複数選択可)

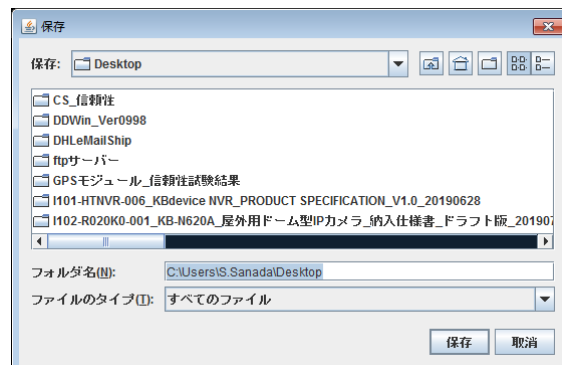


各 CH のボックスをクリックするとチェックが入ります。

チェックの入った CH がバックアップ対象となります。

「全て選択/選択解除」をクリックすると、全 CH を一括で選択/選択解除状態にできます。

6. 「フォルダ」アイコン  をクリックし、バックアップデータの保存先を指定します。



保存先を指定したら、「保存」をクリックします。

クリック後、ブラウザ画面上に保存先アドレスが表示されます。

7. 「計算」をクリックします。

バックアップデータの総容量が算出され表示されます。

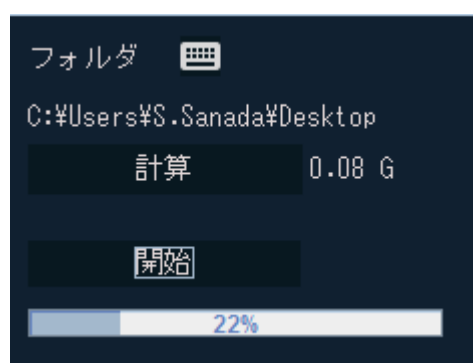


<< 注意 >>

バックアップ保存先の容量に十分空き容量があることを確認してください。

8. 「開始」をクリックします。

バックアップが始まります。



<< 注意 >>

バックアップ中は、ブラウザを閉じないでください。

9. 「成功」とメッセージが表示されたら、バックアップ完了です。

保存先にバックアップデータが保存されていることを確認してください。



8.6 バックアップデータを再生する

8.6.1 VLC Media Player をインストールする

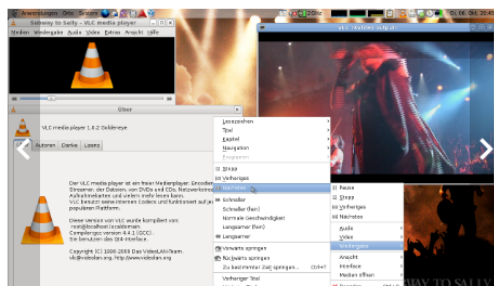
遠隔接続にてバックアップしたデータを再生するには、VLC Media Player が必要になります。

以下の手順にそって、Player をインストールしてください。

1. ブラウザにて、<https://www.videolan.org/vlc/index.ja.html> にアクセスします。
2. 「ダウンロード VLC」をクリックし、お使いの PC の OS にあったバージョンを選択します。



VideoLAN, このプロジェクト、および 非営利の組織について。



VLC media player

VLCはフリーなマルチプラットフォーム対応のマルチメディアプレイヤーであり、DVD、オーディオCD、VCDや様々なストリーミングプロトコルを再生可能なフレームワークです。

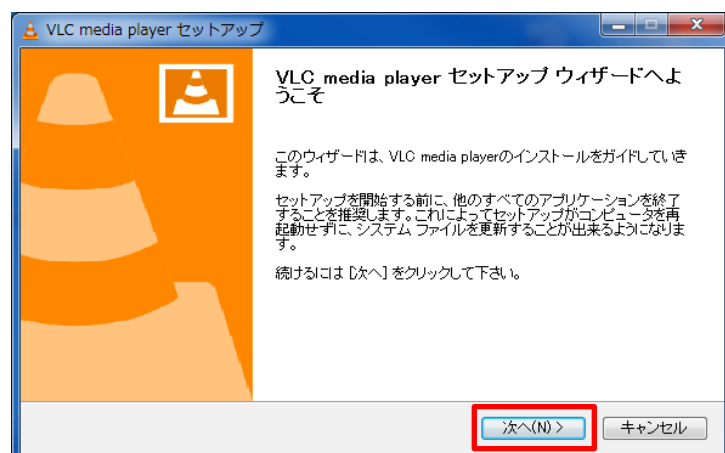
ダウンロード VLC

Windows
Windows 64bit
Windows Phone
macOS

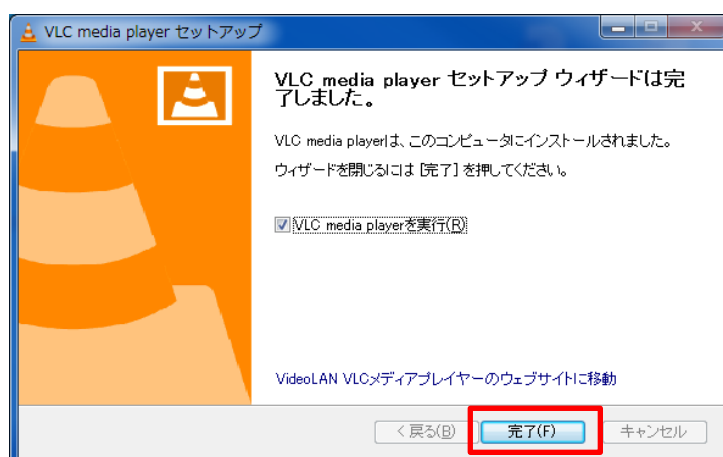
選択後、自動的にソフトインストーラーのダウンロードが始まります。

3. インストーラーを起動し、VLC Media Player をインストールします。

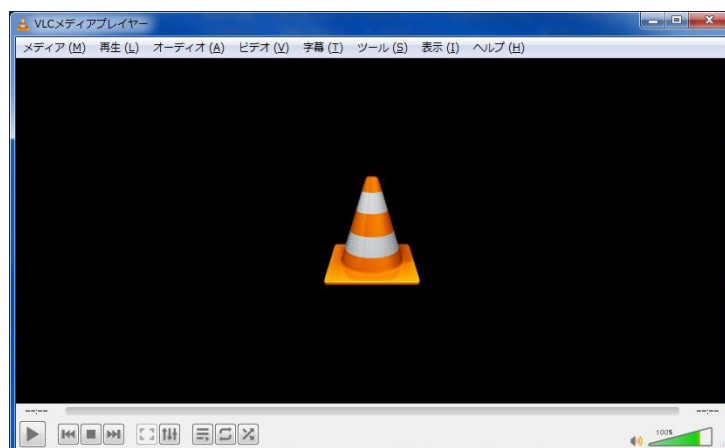
画面の指示に従って、インストールをしてください。



4. 「完了しました。」のメッセージが表示されたら、「完了」をクリックしてインストーラーを閉じます。

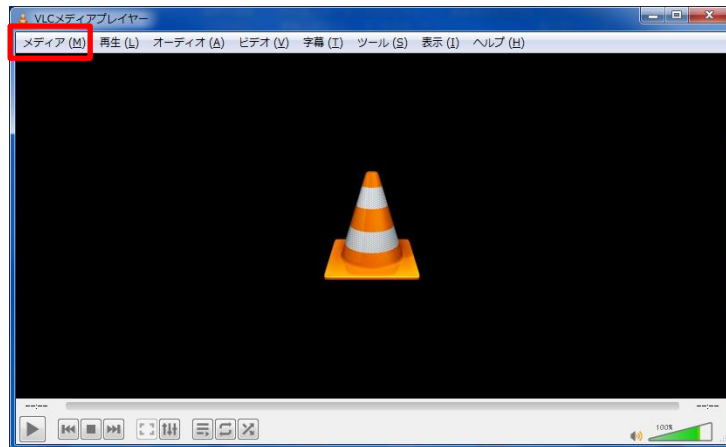


5. VLC media player のアイコンをクリックし、正常に起動することを確認して完了です。



8.6.2 VLC media player でバックアップデータを再生する

1. 「VLC media player」を起動し、メディア (M) > ファイルを開く の順にクリックします。



2. 再生したいバックアップデータを選択し、「開く」をクリックします。
3. バックアップ映像が表示されます。



再生中に映像エリア上で右クリックすると、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面では、再生や一時停止、早送り(巻戻し)などの操作ができます。

なお、アプリのツールバーからでも同様の操作が可能です。

9. スマートフォンからの遠隔接続

スマートフォンの専用アプリ「Titanium Mobile+」をダウンロードすることで、スマートフォンから本機へアクセスし、ライブ映像の確認ができます。

【 スマートフォンの推奨スペック 】

- iPhone (iPhone は Apple Inc.の登録商品です。)
iPhone5S 以上
iPhone OS9 以上
- Android (Android は Google Inc.の登録商品です。)
プロセッサ ... 1GHz以上
フラッシュ ... 512GB 以上
RAM ... 512MB 以上
SD カード ... 16GB 以上
OS ... Android4.0 以上

【 スマートフォン専用アプリ「Titanium Mobile+」のご利用について(免責事項) 】

Titanium Mobile+のご利用の際は、下記内容に同意した上でご利用ください。

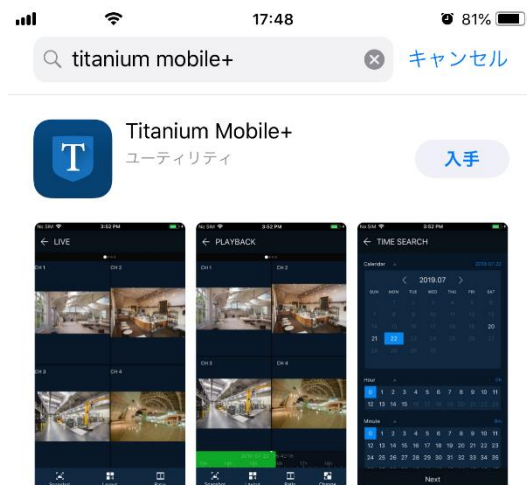
Titanium Mobile+のご利用はお客様の責任の下でご利用ください。

Titanium Mobile+のダウンロードおよびご利用には通信費が発生する場合がございます。

発生した通信費に関して、当社は一切の責任を負いません。

9.1 アプリをインストールする

AppStore または GooglePlay(Play ストア)にて「Titanium Mobile+」を検索し、アプリをインストールします。

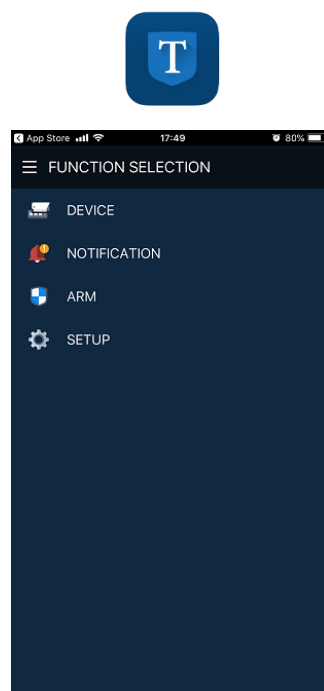


9.2 アプリ内の表示言語を変更する

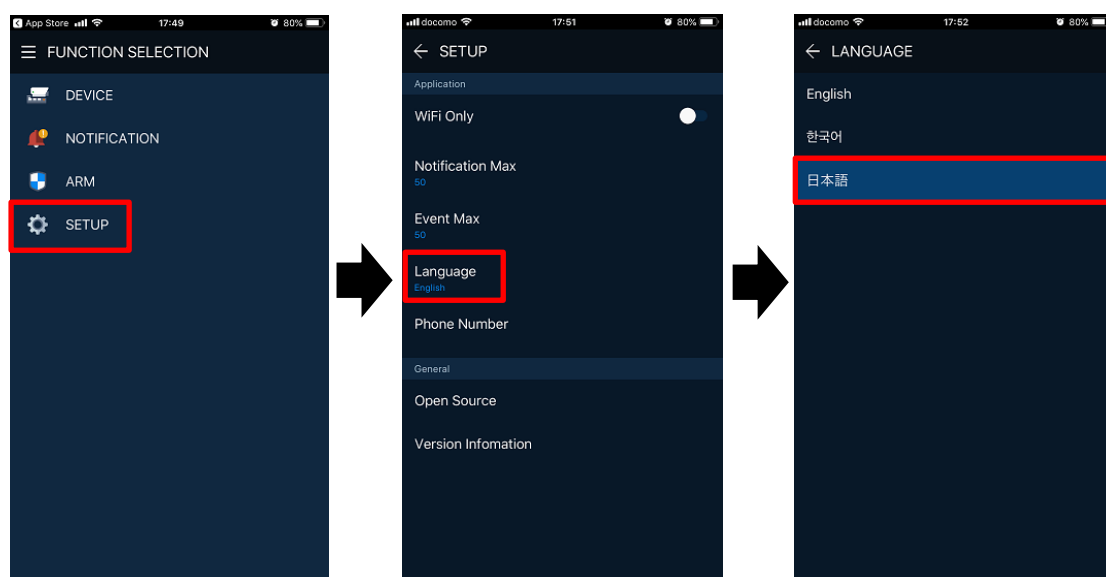
本アプリの初回起動時の表示言語は、英語となっています。

下記手順で、表示言語を日本語に変更できます。

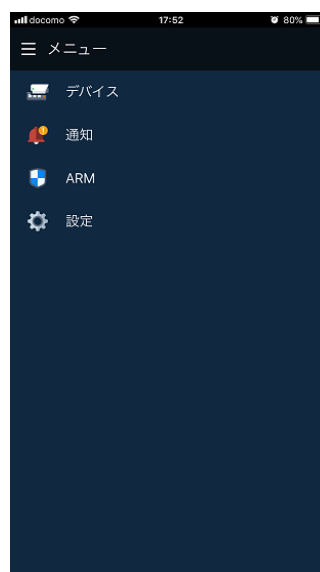
1. スマートフォンのスタート画面から「Titanium Mobile+」をタップし、アプリを起動します。



2. 「SETUP」 > 「Language」の順にタップし、「日本語」を選択します。

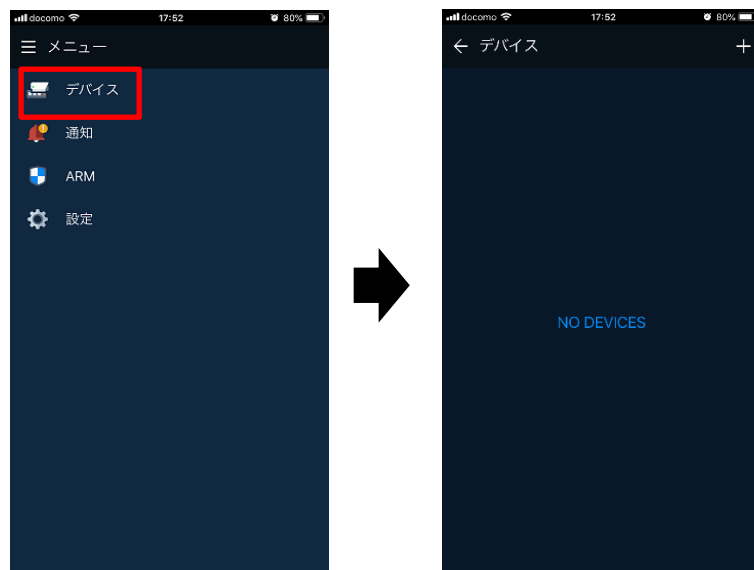


3.  リターンアイコンをタップすると、表示言語が日本語に切り替わります。

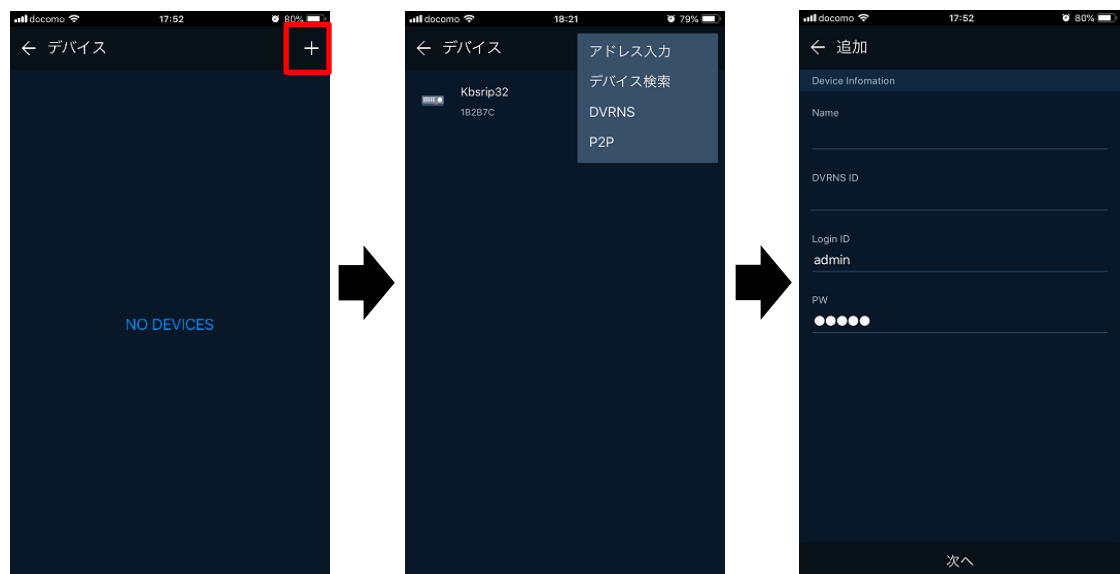


9.3 レコーダー情報を登録する

1. 「デバイス」をタップします。

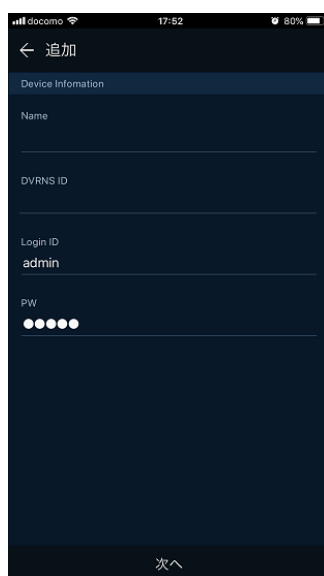


2.  追加アイコン > 「DVRNS」または「アドレス入力」の順にタップします。



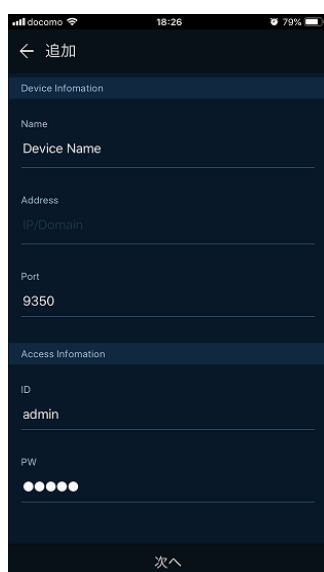
3. 下記情報を入力し、「次へ」をタップします。

【 DVRNS を選択した場合 】



- Name … リストに表示する接続先名を入力します。
- DVRNS ID … 登録済みの DVRNS ID を入力します。
- Login ID … 接続先レコーダーへのログイン ID を入力します。
- PW … 接続先レコーダーへのログインパスワードを入力します。

【 アドレス入力を選択した場合 】



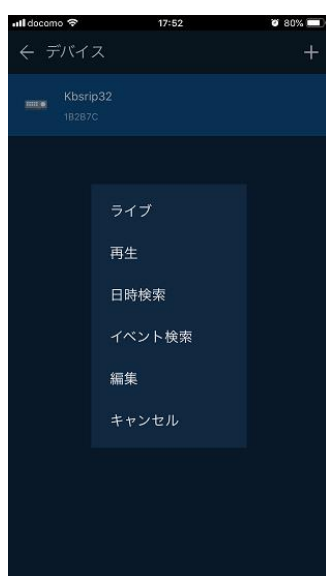
- Name … リストに表示する接続先名を入力します。
- Address … 接続先レコーダーの IP アドレスを入力します。
- Port … 接続先レコーダーの TCP ポートを入力します。
- Login ID … 接続先レコーダーへのログイン ID を入力します。
- PW … 接続先レコーダーへのログインパスワードを入力します。

4. デバイスリストに接続先情報が追加されます。



5. リストから接続を行う項目をタップします。

メニュー画面からライブ画面や検索・再生画面に移動できます。



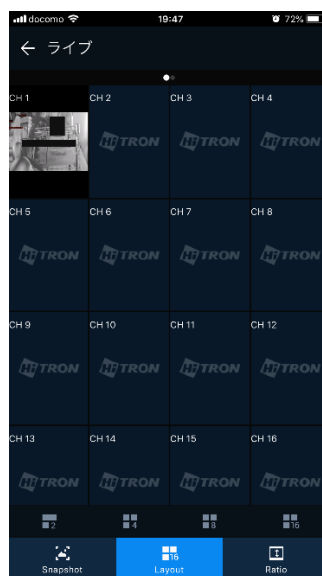
- ライブ … ライブ画面を表示します。
- 再生 … 10 分前の録画映像を表示します。
- 日時検索 … 時間を指定して録画映像を検索・再生します。
- イベント検索 … 指定した期間中に発生したイベントを検索・再生します。
- 編集 … 登録情報を編集します。
- キャンセル … 接続先リストに戻ります。

9.4 ライブ画面の操作・見方

登録済みのデバイスリストから接続する項目をタップし、「ライブ」をタップするとライブ画面が表示されます。

ライブ画面上の各アイコンについては表をご覧ください。

【 分割表示時の画面構成 】



アイコン	効果・内容
	デバイスリスト画面に戻ります。
 Snapshot	ライブ画面の静止画(スナップショット)を取得します。
 Layout	分割表示数を変更します。 KB-SRIP08AまたはKB-SRIP32Aに接続の場合、 分割表示中に画面を左右へスワイプすることで表示CHを 切替えます。
 Ratio	映像のアスペクト比を切替えます。

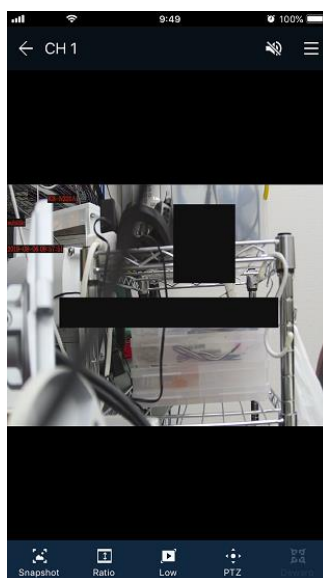
画像表示部分を長押しすると、上記アイコンが消して画像を大きく表示できます。

再度、長押しするとアイコンを再表示します。

各 CH 欄をダブルタップすると、選択した CH を 1 画面表示にします。

1 画面表示時の画面構成については、次ページをご覧ください。

【 1 画面表示時の画面構成 】



アイコン	効果・内容
	分割画面に戻ります。
CH 1	表示中のCH番号を表示します。
	本機からのライブ音声を出力のON/OFFを切替えます。 音声を出力するには、本機の音声設定が必要です。 詳しくは、「5.3.2 ライブ音声を出力する(p.67)」をご覧ください。
	メニュー画面に戻ります。
	ライブ画面の静止画(スナップショット)を取得します。
	映像のアスペクト比を切替えます。
	配信ストリームを切替えます。
	PTZ操作画面に切り替わります。
	使用できません。

9.5 デジタルズーム

1 画面表示中に画像を指先でピンチイン・ピンチアウトするとデジタルズームの操作ができます。



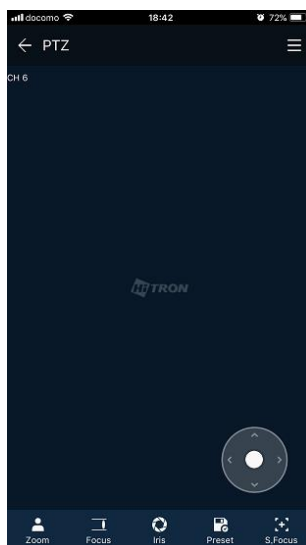
ピンチイン : 縮小表示します。



ピンチアウト : 拡大表示します。

9.6 PTZ カメラの操作

1 画面表示時に  をタップすると、PTZ 操作画面に切り替わります。

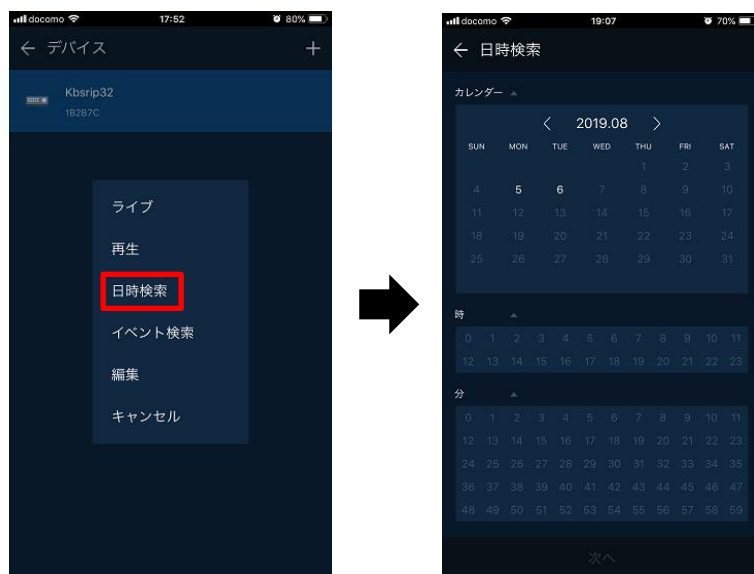


アイコン	効果・内容
	ライブ画面に戻ります。
	メニュー画面に戻ります。
	ズーム操作ボタンが表示されます。 スライダーを動かして、ズーム倍率を調整します。

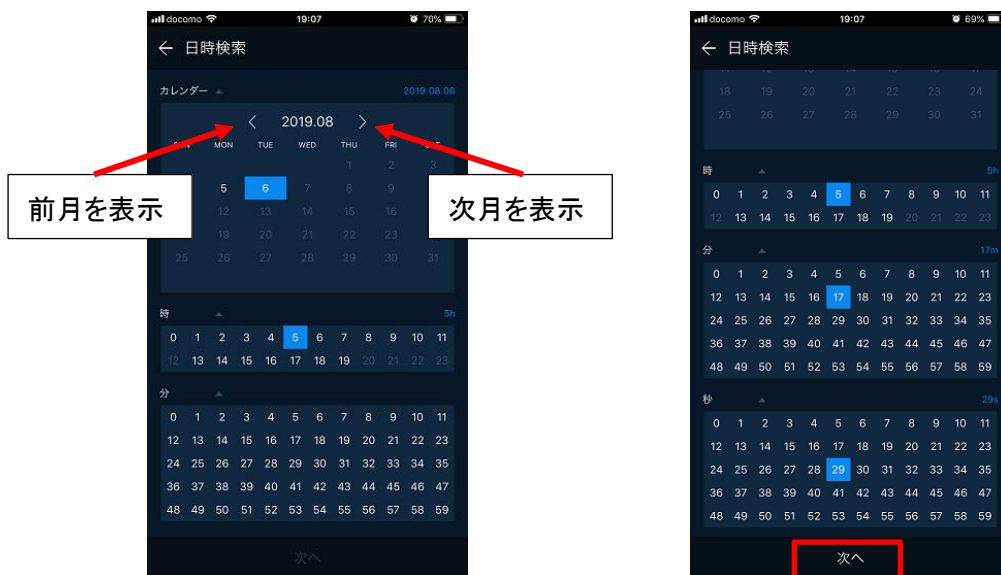
アイコン	効果・内容
	 : ズームアウト  : ズームイン
	フォーカス調整ボタンが表示されます。 スライダーを動かして、ピントを調整します。  : 近くの被写体にフォーカスを合わせます。  : 遠くの被写体にフォーカスを合わせます。
	アイリス位置調整ボタンが表示されます。 スライダーを動かして、アイリスを調整します。  : アイリスを閉じます。  : アイリスを開きます。
	プリセット位置に移動します。
	使用できません。
	パン・チルトの操作を行います。 エリア内でスライドした方向に動作します。

9.7 日時検索

1. メニュー画面から「日時検索」をタップします。



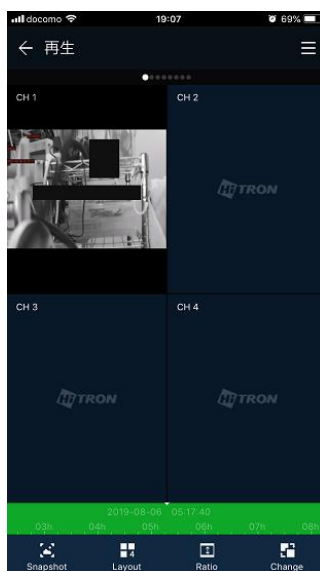
2. カレンダーから検索したい月日を選択しタップします。
続けて、時、分、秒を選択し「次へ」をタップします。
録画データある場合は、白文字で表示されます。
選択した日付や時間は、青色で表示されます。



3. 録画映像が表示されます。
再生画面での操作については、次ページをご覧ください。

9.8 再生画面の操作・見方

録画再生画面では、逆再生、早巻戻し、一時停止、再生、早送り、デジタルズーム、スナップショットの操作が可能です。



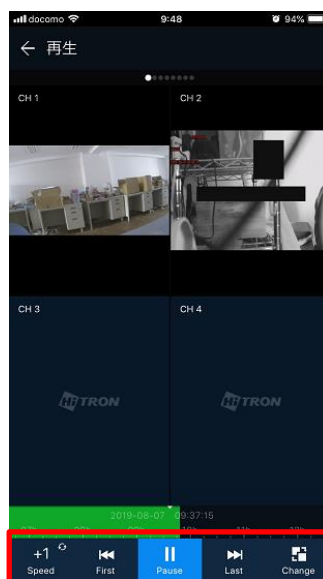
アイコン	効果・内容
	前の画面に戻ります。 1画面表示中の場合は、分割画面に戻ります。
	メニュー画面に戻ります。
	タイムラインを表示します。 録画映像がある時間帯は、緑色で表示されます。 ライン上を左右にスワイプすることで、再生時間を変更できます。
	再生映像の静止画(スナップショット)を取得します。
	分割表示数を変更します。 KB-SRIP08AまたはKB-SRIP32Aに接続の場合 分割表示中に画面を左右へスワイプすることで表示CHを切替えます。 また、分割表示中に任意のCHをダブルタップすると 1画面表示に切り替わります。

アイコン	効果・内容
 Ratio	映像のアスペクト比を切替えます。
 Change	再生操作アイコンに切替えます。 詳しくは、以降をご覧ください。

【 再生操作アイコンの操作・見方 】



をタップすると、録画再生画面下のアイコンが切り替わります。



← 再生操作アイコン

アイコン	効果・内容
 Speed	再生状態を表示します。 また、タップするたび再生操作アイコンの表示が切り替わります。
 First	一番古い録画映像に移動します。
 Backward	録画映像を逆再生します。 + / - をタップすると、逆再生速度を調整できます。 1/8、1/4、1/2、1、2、4、8、16、32、64倍速から選択できます。
 Previous	タップするたびに録画映像を1コマ戻します。
 Play	録画映像を再生します。

アイコン	効果・内容
 Pause	録画映像を一時停止します。
 Last	最新の録画映像に移動します。
 Forward	録画映像を早送りします。 + / - をタップすると、逆再生速度を調整できます。 1/8、1/4、1/2、1、2、4、8、16、32、64倍速から選択できます。
 Next	タップするたびに録画映像を1コマ進めます。
 Change	操作アイコンを切替えます。

9.9 イベント検索

1. メニュー画面から「イベント検索」をタップします。

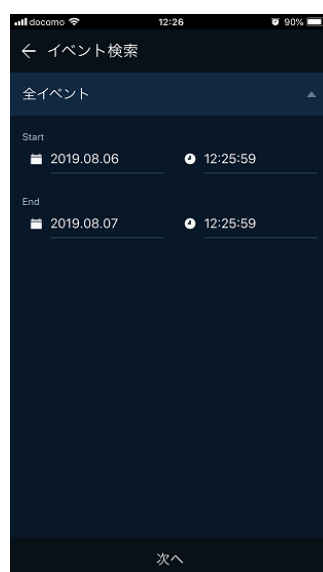


2. 「全イベント」をタップし、検索したいイベントをタップします。

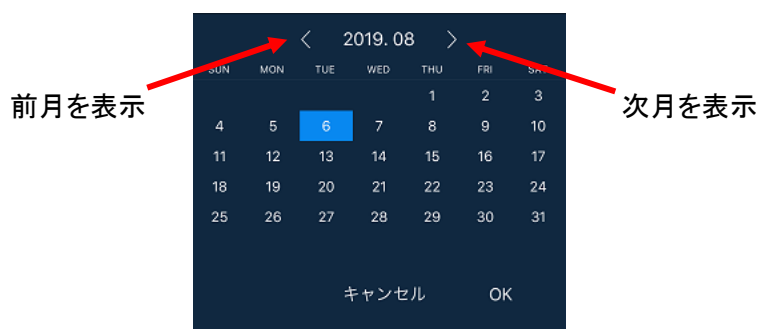


- 全イベント ... 全イベントを検索します。
- モーション ... モーション発生時の履歴を検索します。
- アラーム ... アラーム動作時の履歴を検索します。
- テキストPOS ... 使用できません。
- ビデオロス ... ビデオロス発生時の履歴を検索します。
- 緊急録画 ... 緊急録画開始時の履歴を検索します。
- ブックマーク ... 使用できません。

3. 「Start」および「End」にて検索期間を設定します。



… タップするとカレンダーが表示されます。検索月日を指定します。



選択中の日付は、青色で表示されます。

日付を選択後は、「OK」をタップします。



… タップすると時刻が表示されます。検索日時を指定します。



時分秒の各+/-で時間を指定し、「OK」をタップします。

4. 「次へ」をタップすると、イベント検索結果が表示されます。

検索できるイベント数は、最大で 50 件です。

また検索結果は、古いイベントから順に表示されます。



5. 結果から再生したい履歴をタップし、「次へ」をタップします。

選択中の履歴は青色で表示されます。



6. 再生画面に切り替わり、イベント発生時の録画映像が表示されます。

再生画面での操作については、「9.8 再生画面の操作・見方 (p.184)」をご覧ください。

9.10 アプリ内の設定について

メニュー画面から「設定」をタップします。



アイコン	効果・内容
Wi-Fi 通信のみ	オンにすると、携帯電話回線では本アプリが使用できないように制限できます。
最大通知数	使用できません。
言語選択	アプリ内の表示言語を設定します。
オープンソース	オープンソース情報を表示します。
バージョン情報	アプリのバージョン情報を表示します。

10. 初期設定リスト

工場出荷時の初期設定値は、以下のようになっています。

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
システム	システム	システムタブ	言語	日本語
			デバイス名	KB-SRIP04A / KB-SRIP08A / KB-SRIP32A
			ビデオタイプ	NTSC
			キーボードID	1
			リモコンID	0
			簡単設定	チェックあり
	日時	日時タブ	システム時刻 > 夏時	チェックなし
			表示方式	yyyy/MM/dd - 24時間
			標準時間帯	+09:00 Seoul, To kyo, Irkutsk, Osaka, Sapporo
			NTP時刻同期	チェックなし
			同期間隔	1時間
			NTPサーバー	チェックなし
		休日タブ		登録なし
	アカウント	ユーザータブ		Administratorのみ 登録済み
			ログアウト時は ライブ映像非表示 にする	チェックなし

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
システム	アカウント	ユーザータブ	自動ログアウト	なし
			パスワード変更 サイクル	未使用
カメラ	基本	基本タブ	タイトル	CAM1～CAM4/8/ 32
			画面非表示	全CHオフ
		音声入力/出力 タブ	有効	全CHチェックあり
			割当て	CH1～CH4/8/32
			録画	全CHチェックあり
			ライン入力	割当て無し
デバイス	画面	画面タブ	解像度	1024 x 768
			継続時間	オフ
		OSDタブ	カメラ名	CH+タイトル
			状態バー	常時ON
			画面アイコン	全てチェックあり
	ディスク	設定タブ	上書き録画	チェックあり
			自動消去	チェックなし
	PTZ	PTZタブ	プロトコル	全CH ONVIF-IPCAM
			スピード	全CH 5
	シリアルデバイス	シリアルデバイス タブ	ボーレート	9600
			パリティ	なし
			データ長	8
			ストップビット	1

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
デバイス	シリアルデバイス	シリアルデバイス タブ	タイプ	キーボード/PTZ
録画	スケジュール	スケジュールタブ		全CH 連続録画
	ストリーム	メインストリーム タブ	連続	メイン
			イベント	メイン
			アラーム前	5秒
			アラーム後	10秒
		サブストリーム タブ	アラーム前	5秒
			アラーム後	10秒
		緊急録画タブ	緊急録画	チェックあり
イベント	システム/ディスク	システムタブ	システム再起動	チェックなし
			通知	チェックなし
			ユーザーログイン	チェックなし
			通知	チェックなし
			緊急録画開始	チェックなし
			通知	チェックなし
			アラーム出力 タイプ	N.O
		ディスクタブ	ディスク未接続	有効、ブザーに チェックあり
			＞ アラーム出力	リレー1 / 保持
			＞ 通知	チェックなし
			ディスクフル	オフ ブザーはチェック なし
			＞ アラーム出力	なし / 保持
			＞ 通知	チェックなし

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
イベント	システム/ディスク	ディスクタブ	SMART故障検知	有効、ブザーにチェックあり
			> アラーム出力	リレー1 / 保持
			> 通知	チェックなし
	アラーム入力	設定タブ	有効	全CH チェックなし
			タイプ	全CH N.O
			ブザー	全CH なし
			アラーム	全CH なし
			通知	全CH なし
			プリセット	全CH なし
		スケジュールタブ		全センサー未設定
	モーション	設定タブ	有効	全CH オフ
			エリア	なし
			感度	全CH レベル5
			ブザー	全CH なし
			アラーム	全CH なし
			通知	全CH なし
			プリセット	全CH なし
		スケジュールタブ		全CH 未設定
	ビデオロス	設定タブ	有効	全CH チェックなし
			ブザー	全CH なし
			アラーム	全CH なし
			通知	全CH なし
			プリセット	全CH なし

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
イベント	通知	定期タブ	周期的通知	チェックなし
			サマリー	緊急録画、 イベント ともに チェックなし
			間隔	24時間
ネットワーク	基本	LANポートタブ	固定IP	チェックあり
			IPアドレス	192.168.0.100
			UPnP	チェックなし
			サブネットマスク	255.255.255.0
			ゲートウェイ	192.168.0.1
			DNS	8.8.8.8
			ポート (TCP/RTSP)	9350/554
			暗号化	チェックなし
			ポート (HTTP/HTTPS)	60000/443
			HTTPS接続	チェックなし
			ポート(IPカメラ)	50000
			帯域制限	制限なし
			Pingテスト	8.8.8.8
		PoEポートタブ	IPアドレス	192.168.30.1
			サブネットマスク	255.255.255.0
			ゲートウェイ	192.168.30.1
	ワープ	登録タブ	ワープ使用	チェックあり

11. 製品仕様

11.1 KB-SRIP04A

本体仕様	カメラ入力数	4
	カメラ入力信号	IP
	入力インターフェース	マウス
ハードウェア	電源電圧	DC48V(ACアダプター)
	消費電力	最大43W(PoE28W)
	外径寸法	376(幅)×44.9(高さ)×318(奥行)mm (突起物、ゴム足除く)
	質量	3.0kg(HDD1枚時)
	動作温度(湿度)	5℃～40℃(0%～90% ただし結露なきこと)
ライブ	メインモニター出力	HDMI、VGA (3840×2160※、1920×1080、1280×720、 1024×768) ※HDMI出力のみ対応
	スポットモニター出力	－
	シーケンス表示	○(最大4分割)
	PTZコントロール	○(パン・チルト・ズーム・プリセット・自動巡回)
	デジタルズーム	○
	静止画スナップショット	－
録画	圧縮形式	H.264/H.265
	録画モード	常時、モーション、センサー、手動
	解像度	最大800万画素(カメラに依存)
	録画フレーム数	最大30FPS(4CH 合計120FPS)

音声	音声入力	RCA × 1
	音声出力	RCA × 1またはHDMI(映像に重畳)
	音声双方向	○
再生	検索モード	タイムサーチ、イベントサーチ、サムネイルサーチ、スマートサーチ
	再生速度	最大64倍速
バックアップ	ファイル形式	AVI / 独自形式
	保存メディア	USBメモリー
イベント/ アラーム	接点入力	4(NC / NO 選択可)
	接点出力	1(NC / NO 選択可)
	モーション検知	○(領域選択可)
	イベント	接点入力、モーション、ビデオロス、HDD認識エラー、HDD使用量、SMARTエラー、手動録画、起動、ログイン、定期通知
	アクション	録画、接点出力、メール送信、ブザー、プリセット
ネットワーク	LAN端子(RJ-45)	LANポート:1(10/100/1000BASE-T) PoEポート:4(10/100BASE-T)
	クライアントソフト	－
	WEBブラウザ	ライブ、検索・再生、バックアップ、設定
	スマートフォン	ライブ、検索・再生
	ネットワークストリーム	－
その他	RAID	○
	多言語	○

その他	ファームウェア更新	USBメモリー
	ネットワーク時刻同期	○
推奨クライアントPC	動作確認済みOS	Windows7、8.1、10
	CPU	Intel Core i5 3.3GHz以上
	メモリー	2GB以上(32bit)、4GB以上(64bit)
	解像度	1920 × 1080
	ストレージ空き容量	6GB以上
	ネットワーク	1000BASE-T以上
	グラフィックカード	DirectX10以上、ビデオメモリー1GB以上
原産国	韓国	
セット内容	本体、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、取扱説明書、簡易取扱説明書、CD-R	

※1 動作確認済み OS は、iOS9 以降、Android4.0 以降となります。

(iOS は Apple.Inc の登録商標です。Android は Google.Inc の登録商標です。)

11.2 KB-SRIP08A

本体仕様	カメラ入力数	8
	カメラ入力信号	IP
	入カインターフェース	マウス
ハードウェア	電源電圧	DC48V(ACアダプター)
	消費電力	最大72W(PoE56W)
	外径寸法	376(幅)×44.9(高さ)×318(奥行)mm (突起物、ゴム足除く)
	質量	3.1kg(HDD1枚時)
	動作温度(湿度)	5℃～40℃(0%～90% ただし結露なきこと)
ライブ	メインモニター出力	HDMI、VGA (3840×2160※、1920×1080、1280×720、 1024×768) ※HDMI出力のみ対応
	スポットモニター出力	－
	シーケンス表示	○(最大9分割)
	PTZコントロール	○(パン・チルト・ズーム・プリセット・自動巡回)
	デジタルズーム	○
	静止画スナップショット	－
録画	圧縮形式	H.264/H.265
	録画モード	常時、モーション、センサー、手動
	解像度	最大800万画素(カメラに依存)
	録画フレーム数	最大30FPS(8CH 合計240FPS)
音声	音声入力	RCA×1
	音声出力	RCA×1またはHDMI(映像に重畳)

	音声双方向	○
再生	検索モード	タイムサーチ、イベントサーチ、サムネイルサーチ、スマートサーチ
	再生速度	最大64倍速
バックアップ	ファイル形式	AVI / 独自形式
	保存メディア	USBメモリー
イベント/ アラーム	接点入力	8(NC / NO 選択可)
	接点出力	1(NC / NO 選択可)
	モーション検知	○(領域選択可)
	イベント	接点入力、モーション、ビデオロス、HDD認識エラー、HDD使用量、SMARTエラー、手動録画、起動、ログイン、定期通知
	アクション	録画、接点出力、メール送信、ブザー、プリセット
ネットワーク	LAN端子(RJ-45)	LANポート:1(10/100/1000BASE-T) PoEポート:8(10/100BASE-T)
	クライアントソフト	－
	WEBブラウザ	ライブ、検索・再生、バックアップ、設定
	スマートフォン	ライブ※1
	ネットワークストリーム	－
その他	RAID	○
	多言語	○
	ファームウェア更新	USBメモリー
	ネットワーク時刻同期	○

推奨クライアントPC	動作確認済みOS	Windows7、8.1、10
	CPU	Intel Core i5 3.3GHz以上
	メモリー	2GB以上(32bit)、4GB以上(64bit)
	解像度	1920 × 1080
	ストレージ空き容量	6GB以上
	ネットワーク	1000BASE-T以上
	グラフィックカード	DirectX10以上、ビデオメモリー1GB以上
原産国	韓国	
セット内容	本体、ACアダプター、電源ケーブル、マウス、取扱説明書、簡易取扱説明書、CD-R	

※1 動作確認済み OS は、iOS9 以降、Android4.0 以降となります。

(iOS は Apple.Inc の登録商標です。Android は Google.Inc の登録商標です。)

11.3 KB-SRIP32A

本体仕様	カメラ入力数	32(ただし、内蔵PoEポート数は16)
	カメラ入力信号	IP
	入力インターフェース	マウス
ハードウェア	電源電圧	AC100V
	消費電力	最大141W(PoE111W)
	外径寸法	440(幅)×89.5(高さ)×356(奥行)mm (突起物、ゴム足除く)
	質量	6.5kg(HDD1枚時)
	動作温度(湿度)	5℃～40℃(0%～90% ただし結露なきこと)
ライブ	メインモニター出力	HDMI、VGA (3840×2160※、1920×1080、1280×720、 1024×768) ※HDMI出力のみ対応
	スポットモニター出力	－
	シーケンス表示	○(最大36分割)
	PTZコントロール	○(パン・チルト・ズーム・プリセット・自動巡回)
	デジタルズーム	○
	静止画スナップショット	－
録画	圧縮形式	H.264/H.265
	録画モード	常時、モーション、センサー、手動
	解像度	最大800万画素(カメラに依存)
	録画フレーム数	最大30FPS(32CH 合計960FPS)
音声	音声入力	RCA×1
	音声出力	RCA×1またはHDMI(映像に重畳)

	音声双方向	○
再生	検索モード	タイムサーチ、イベントサーチ、サムネイルサーチ、スマートサーチ
	再生速度	最大64倍速
バックアップ	ファイル形式	AVI / 独自形式
	保存メディア	USBメモリー
イベント/ アラーム	接点入力	16(NC / NO 選択可)
	接点出力	1(NC / NO 選択可)
	モーション検知	○(領域選択可)
	イベント	接点入力、モーション、ビデオロス、HDD認識エラー、HDD使用量、SMARTエラー、手動録画、起動、ログイン、定期通知
	アクション	録画、接点出力、メール送信、ブザー、プリセット
ネットワーク	LAN端子(RJ-45)	LANポート:1(10/100/1000BASE-T) PoEポート:16(10/100BASE-T)
	クライアントソフト	－
	WEBブラウザ	ライブ、検索・再生、バックアップ、設定
	スマートフォン	ライブ※1
	ネットワークストリーム	－
その他	RAID	○
	多言語	○
	ファームウェア更新	USBメモリー
	ネットワーク時刻同期	○

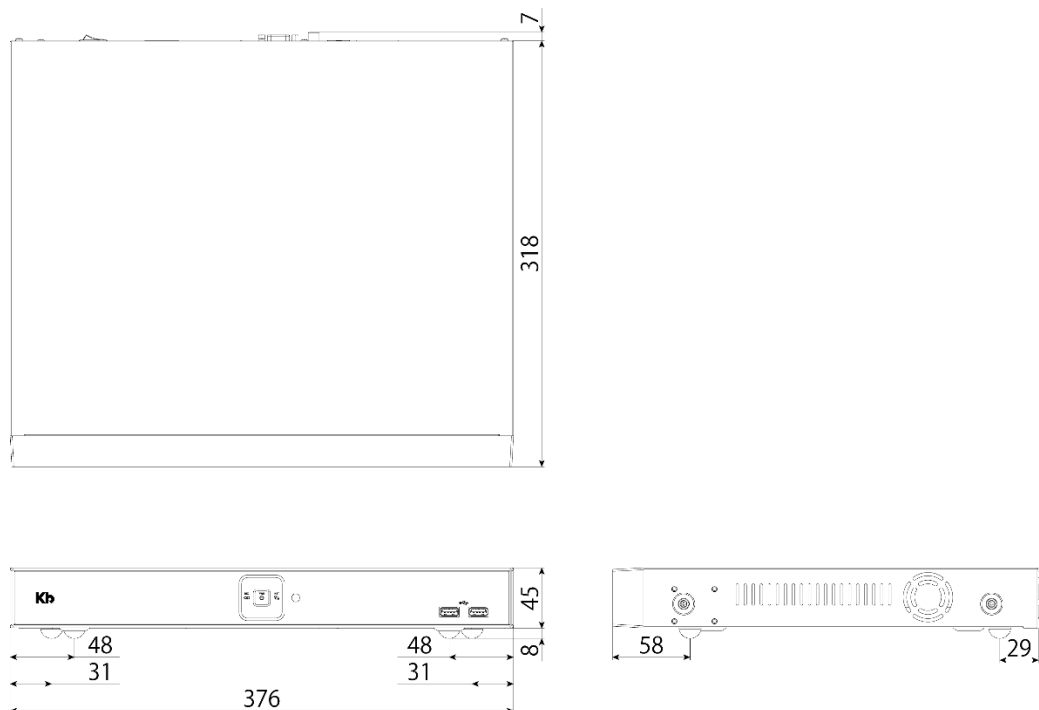
推奨クライアントPC	動作確認済みOS	Windows7、8.1、10
	CPU	Intel Core i5 3.3GHz以上
	メモリー	2GB以上(32bit)、4GB以上(64bit)
	解像度	1920 × 1080
	ストレージ空き容量	6GB以上
	ネットワーク	1000BASE-T以上
	グラフィックカード	DirectX10以上、ビデオメモリー1GB以上
原産国	韓国	
セット内容	本体、電源ケーブル、マウス、端子ブロック、取扱説明書、簡易取扱説明書、CD-R	

※1 動作確認済み OS は、iOS9 以降、Android4.0 以降となります。

(iOS は Apple.Inc の登録商標です。Android は Google.Inc の登録商標です。)

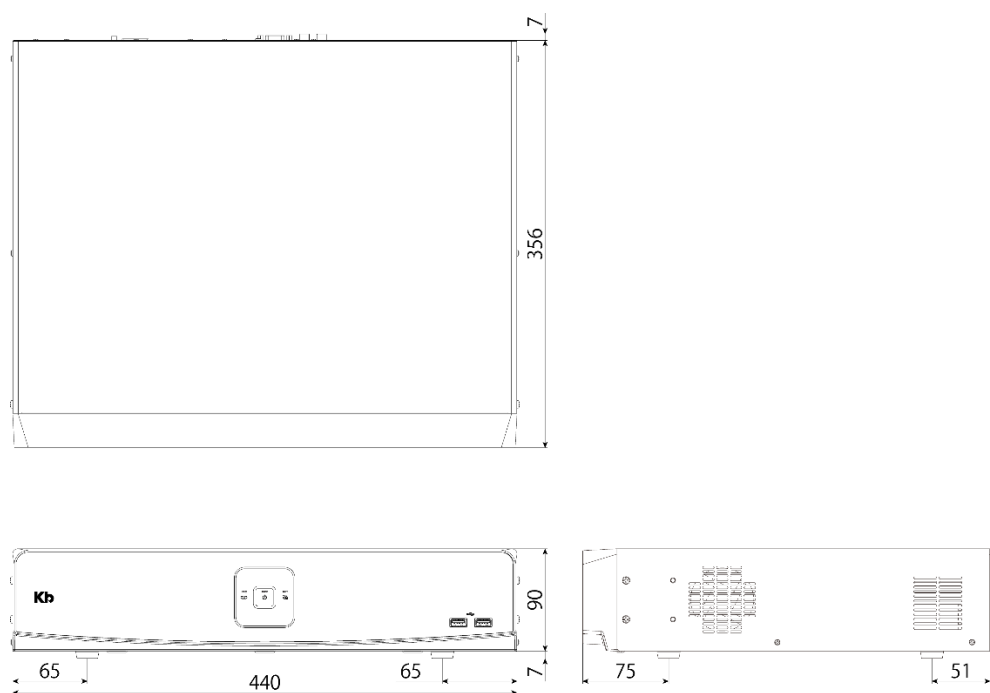
12. 外径寸法図

12.1 KB-SRIP04A / KB-SRIP08A



単位:mm

12.2 KB-SRIP32A



単位:mm